

**かつやま恐竜の森（長尾山総合公園）における
官民連携事業調査 報告書**

令和3年3月

勝山市

株式会社三菱総合研究所

目次

1. 本調査の概要	1
(1) 調査の目的	1
(2) 本市の概要	1
(3) 対象施設及び対象地の概要	2
(4) 事業発案に至った経緯・課題	2
1) 本市が抱えている課題	2
2) 上位計画との関連性	2
3) これまで実施している施策や調査等	3
4) 本事業の発案経緯	3
5) 本事業の必要性	3
(5) 検討体制	3
2. 本調査の内容	4
3. 事業化検討	5
(1) 現況調査・利用者マーケティング調査	5
1) 公園利用状況	5
2) 公園の課題解決・利用促進に係る取り組み	18
3) 周辺環境の整理	24
4) アンケート調査	50
(2) 公園再整備・運営方針案の検討	78
1) 参考事例調査	78
2) 関係主体へのヒアリング調査	101
3) 公園再整備の方向性の検討	104
4) 地域への波及効果の整理	109
(3) 民間事業者サウンディング調査	110
1) サウンディング調査の実施概要	110
2) 調査結果	112
3) 調査結果の要点と公募設置等指針の方針	120
(4) 事業スキームと収支シミュレーションの検討	122
1) 事業スキームの検討	122
2) 収支シミュレーションの検討	133
3) 経済波及効果	135
(5) PPP 導入可能性評価	136
1) 公園再整備・運営方針の整理	136
2) 公募設置等指針の作成	136
3) PPP 導入可能性の評価	137

4. 今後の進め方	138
(1) 事業化に向けてのスケジュール.....	138
(2) 今後の検討課題等.....	138

1. 本調査の概要

(1) 調査の目的

本調査では、以下に示す事項の達成を目指し、かつやま恐竜の森（長尾山総合公園）における官民連携手法の検討を行う。本事業において想定する官民連携手法として、都市公園法における公募設置管理制度（Park-PFI）の導入を念頭に、実現可能な事業スキームを構築することを本調査の目的とする。

- 多様化するニーズに応えるべく、民設民営による宿泊施設、飲食物販施設、恐竜ブランドを活かした新たなアミューズメント施設など、収益を見込むことができる施設の整備を実施することによって、市が負担する公園整備費や公園管理費の削減を図る。
- 当公園は、里山を活かした環境負荷の少ない施設整備の展開を目指しており、国が推進するグリーンスローモビリティの導入によって、広大な園内における施設間の移動や周遊に関連する付加価値の向上を図り、観光資源となるような体制の導入を検討する。
- 公園の意思決定の統一を図り、公園全体の一体的運営を導入すべく、SPC の設立を視野に入れるとともに、SPC に現指定管理者も含めることによってノウハウを引き続き活かしていく。

(2) 本市の概要

勝山市は、福井県の北東部に位置し、市の中心は福井市の東方約 28km の地点にあり、南東は大野市に、南西は福井市、北西に坂井市、西に永平寺町、北は石川県に隣接している。また、市の周辺は 1,000m 級の山々に囲まれ、中心部は県下最大の河川である九頭竜川の中流域に位置している。

勝山市の人口は 24,125 人、平均年齢は 50.8 歳（平成 27 年国勢調査）である。人口が減少するとともに、65 歳以上が占める割合も大きくなっており、少子高齢化が進展する傾向にある。

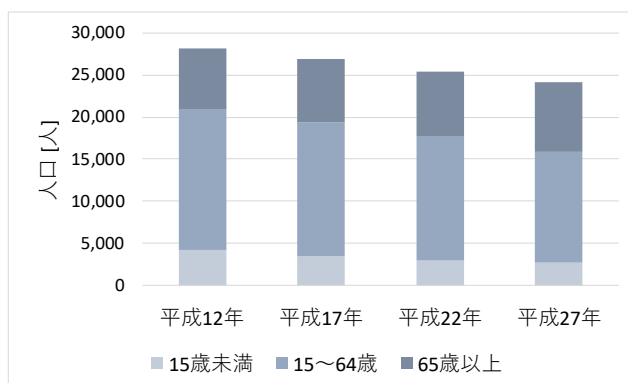


図 1 勝山市の人口推移

出所) 国勢調査

(3) 対象施設及び対象地の概要

かつやま恐竜の森（長尾山総合公園）は、総面積 135.9ha（供用面積 79.6ha）の広大な敷地に世界三大恐竜博物館と称される「福井県立恐竜博物館」を有する都市公園である。開園当初は来園者を 40 万人と想定し、園内施設の整備を行ったが、2015 年には 100 万人を超え、その後も年々来園者が増加している人気の高い公園である。

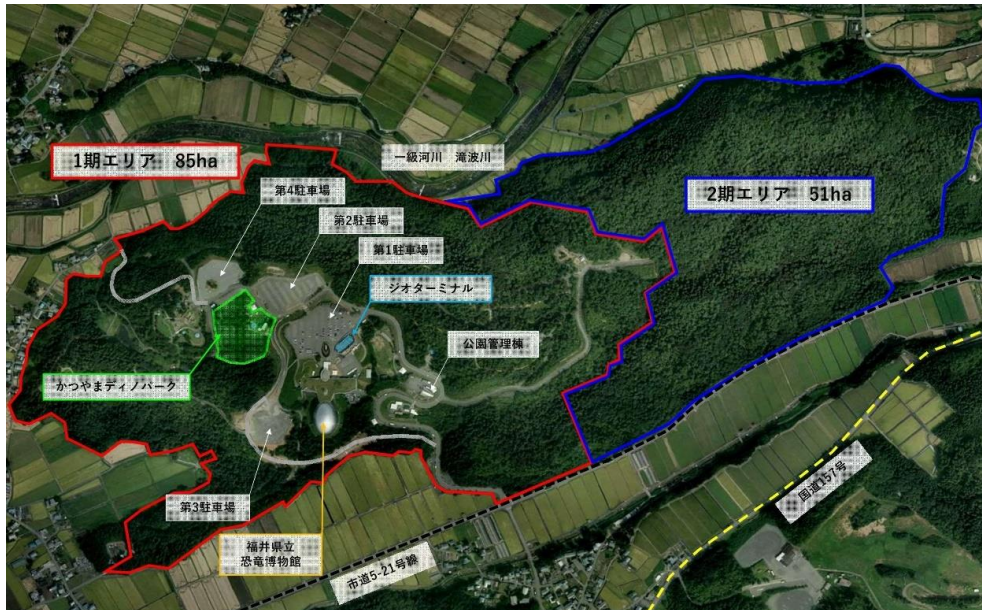


図 2 かつやま恐竜の森（長尾山総合公園）鳥観図

出所) 勝山市提供

(4) 事業発案に至った経緯・課題

1) 本市が抱えている課題

当公園は開園から 20 年が経過し、毎年の公園管理費に加え、今後施設修繕・更新費用を要することから、市の財政を圧迫することが懸念される。

GW やお盆などのピーク期間の来園者に対応すべく、園内駐車場を増設するとともに、無料シャトルバスを活用した周辺駐車場からのパーク＆ライドを実施しているが、年々増加している来園者による周辺道路の渋滞は、地元住民の日常生活に支障を来している。

園内の施設配置は、福井県立恐竜博物館を中心としているが、年々増加している来園者数を考慮すれば、低未利用地を活用した事業展開に可能性がある。その一方で、既存施設から離れた低未利用地での事業展開を検討する場合、遠方となる駐車場から既存園内施設への移動方法が課題となる。

2) 上位計画との関連性

第 5 次勝山市総合計画（平成 29 年 3 月改定）では、観光資源の活用による経済の活性化の重点項目として「福井県立恐竜博物館等との連携による恐竜を活かした観光誘客の推進」を掲げている。都市公園や公園緑地の整備については、地域の特色を活かした整備を推進し、

老朽化した施設の長寿命化計画に基づく計画的な修繕等を行い、市民のニーズにマッチした公園としてリニューアルを図るとした。その中でも、かつやま恐竜の森（長尾山総合公園）については里山を活かした自然公園として重点的に整備を進めるとした。施策指標として「かつやま恐竜の森（長尾山総合公園）の年間入園者数」を掲げ、2016年度に92万人、以降毎年2万人増を目標としている。

勝山市都市計画マスタープラン（平成23年3月改訂）では、第2期事業エリアについて、里山の生態系をできるだけ活かした自然公園の森としての整備を進め、第1期事業エリアについては遊具の機能更新を進め、花の名所としての活用を図る等、環境負荷の少ない施設整備と持続可能な維持管理体制づくりを目指すとした。

3) これまで実施している施策や調査等

都市再生整備計画事業を活用し、来園者のニーズに応えるべく渋滞対策としての駐車場拡充や便益施設の増設などの公園再整備を行い、利便性の向上を図った。具体的には、第2、第3、第4駐車場の造成により計837台分の駐車場を整備し、観光交流施設（ジオターミナル）の建設、園内トイレの増設、園内道路の整備を行った。

4) 本事業の発案経緯

かつやま恐竜の森（長尾山総合公園）内に位置する福井県立恐竜博物館には年間90万人近くの観光客が訪れており、福井県は2023年の中部縦貫自動車道の県内全線開通や2024年春ごろに予定されている北陸新幹線福井・敦賀開業を見据え、福井県立恐竜博物館の機能強化を含めたりリニューアルにより、来館者140万人を目指している。そこで勝山市は、今後の高速交通網の整備を千載一遇のチャンスと捉え、市内に点在する観光施設を活かした、観光の産業化を促進している。

5) 本事業の必要性

現在、公園管理、整備として約69百万円/年の財政支出があるが、園内の便益施設、遊戯施設からの使用料として約19百万円/年ほどの収入がある。今後は、現在の支出に加え、大規模な施設の修繕、更新が必要となることが予想されるが、民設民営による宿泊・飲食物販施設、遊戯施設等の収益を見込むことで、収支の差を限りなくゼロにすることを目標としている。

更に、宿泊施設整備により、滞在型観光が促進され、地域（市街地）への波及効果として、観光消費額の増大も期待できる。

(5) 検討体制

勝山市都市建設課6名（課長1名、係員5名）が担当し、「ふくい地域プラットフォーム」の事務局と連携してサウンディング調査を実施する。

2. 本調査の内容

業務フローを図 3 に示す。利用者マーケティング調査や民間事業者を行い、利用者だけでなく未訪問者を含めたニーズや、民間事業者の参入意向を把握する。

これらを踏まえ、公園再整備・運営方針案を検討し、事業スキームについては複数案を比較検討した上で、想定される事業スキームを踏まえて公募設置等指針を作成する。

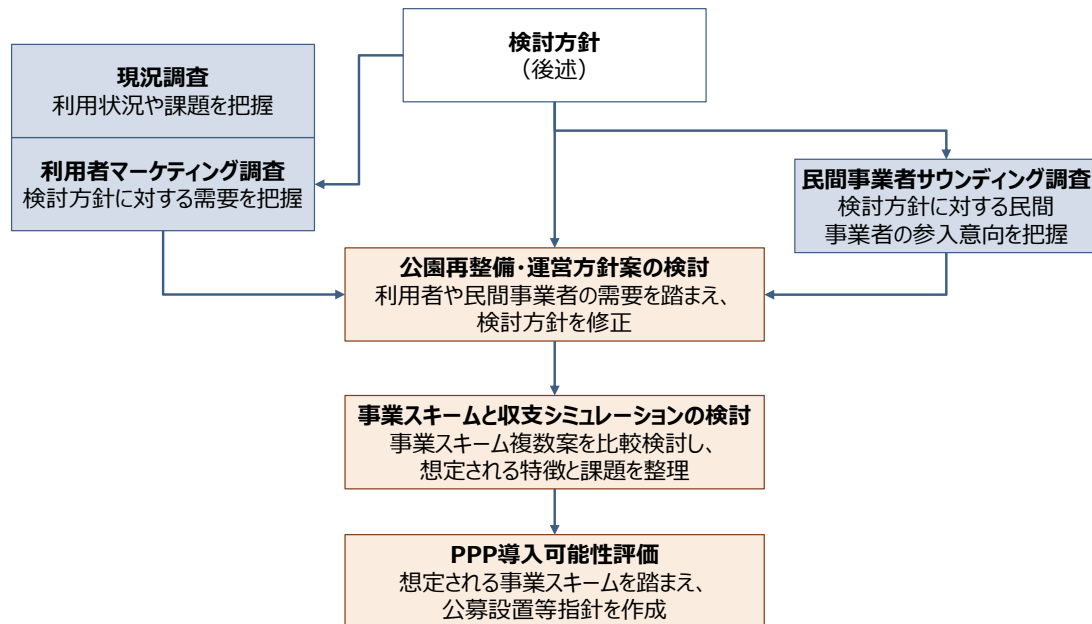


図 3 業務フロー

3. 事業化検討

(1) 現況調査・利用者マーケティング調査

1) 公園利用状況

① 公園の特徴

- かつやま恐竜の森は勝山市中心部から北北東約 2.5km に位置する、自然豊かな都市公園（図 4）である。最寄りの勝山駅からは約 4km 離れているが、駅から公園まで路線バスや直通バスが運行されている。福井駅からは東へ約 26km の位置にあり、電車とバスを乗り継いだ場合は約 65 分、車の場合は約 50 分の所要時間である。
- 巨木林や湧水湿地が保全すべき環境とされており、巨木林の生える尾根部には県域絶滅危惧Ⅱ類であるオオタカやハチクマ等の猛禽類が生息し、谷奥の湧水湿地には県域絶滅危惧Ⅱ類であるサクラバハハンノキが生育している。その他、県域準絶滅危惧であるサンコウチョウやニホンリスなどが生息している。



図 4 村岡山山頂から見たかつやま恐竜の森

出所) 福井ふるさと百景「恐竜が眠る大地 ジオパーク 勝山」

- 1988年に北谷町にある手取層群の一部で1億2千万年前の肉食恐竜の化石が発見されて以来、この地域一帯は全国でも貴重な恐竜化石の宝庫としてクローズアップされている。2006年に日本で初めて恐竜の皮膚痕化石が発見され話題となり、2009年には勝山市全域が「日本ジオパーク」に認定された。
- 2000年に福井県立恐竜博物館が開館して以来、発掘体験施設である「どきどき恐竜発掘ランド」及び「野外恐竜博物館」や、ウォークスルー型恐竜パーク「かつやまディノパーク」といった恐竜にまつわる施設が整備されている。園内マップを図5に、整備の経過を表1に示す。



図5 かつやま恐竜の森 MAP

出所) かつやま恐竜の森「園内マップ」<https://kyoryunomori.net/guide/map/>, 2020年11月6日閲覧

表1 公園内の集客施設整備

年	概要
2000年	福井県立恐竜博物館開館・恐竜エキスポふくい2000開催
2004年	どきどき恐竜発掘ランド開業
2014年	野外恐竜博物館開業
2015年	かつやまディノパーク開業
2018年	勝山市ジオターミナル開業

② 公園へのアクセス

かつやま恐竜の森のある勝山市と、主要な交通網の位置関係を図 6 に示す。

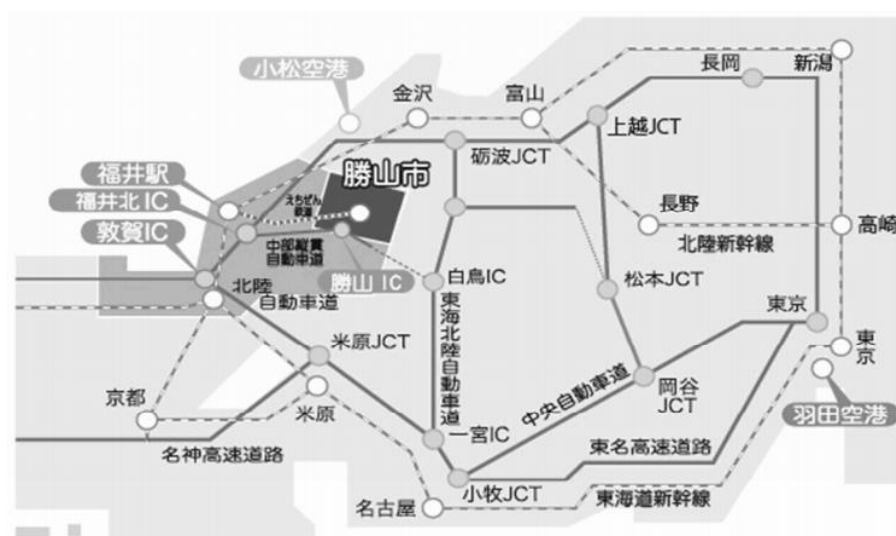


図 6 かつやま恐竜の森（勝山市）へのアクセス

出所) 勝山市「勝山市のすがた」

<https://www.city.katsuyama.fukui.jp/uploaded/attachment/17626.pdf>

a. 周辺の主要 IC・駅・空港からの所要時間

◆ 車利用の場合

- ・ 北陸自動車道 福井北 IC から約 30 分
- ・ 東海北陸自動車道 白鳥 IC から約 90 分
- ・ 小松空港から約 60 分

◆ 公共交通機関利用の場合

- ・ 福井駅から約 65 分（えちぜん鉄道・バス）
- ・ 小松空港から約 2 時間半（福井駅経由）


b. 主要都市からの所要時間

- ・ 大阪や名古屋からのアクセスが良く 3 時間程度の所要時間であるのに対し、東京からは太平洋側若しくは日本海側から迂回する形となり、約 4 時間半を要する。（表 2）

表 2 主要都市からの所要時間

	車	公共交通機関(鉄道利用)
東京	約 7 時間	約 4 時間半
大阪	約 2 時間半	約 3 時間
名古屋	約 2 時間半	約 3 時間

③ 公園内の各施設

名称	福井県立恐竜博物館
写真	 <p data-bbox="469 831 1091 920">出所) 福井県立恐竜博物館 HP https://www.dinosaur.pref.fukui.jp/museum/exhibit.html 2020年10月21日閲覧</p>
特徴	<ul style="list-style-type: none"> ・ 恐竜化石の一大産地である福井県勝山市に建てられた恐竜を中心とする地質・古生物学博物館。 ・ ドーム型の常設展示室を持ち、展示面積は4,500㎡。 ・ 広大な無柱空間には恐竜骨格や化石、標本、ジオラマ、復元模型などが展示されており、恐竜を始めとする地質・古生物の世界を堪能することができる。 ・ 2023年夏に増改築を予定している。
開館	2000年7月
事業主体	福井県

出所) 福井県立恐竜博物館 HP <https://www.dinosaur.pref.fukui.jp/> 2020年10月21日閲覧

名称	野外恐竜博物館
写真	 <p>出所) 福井県立恐竜博物館 HP https://www.dinosaur.pref.fukui.jp/news/archives/15 2020年10月21日閲覧</p>
特徴	<ul style="list-style-type: none"> ・日本最大の恐竜化石発掘現場である勝山市北谷町に2014年7月にオープン。恐竜化石発掘現場の一部は国の天然記念物に指定。 ・恐竜博物館から専用バスに乗りツアー形式（所要時間約2時間）で予約制。 ・実際の発掘の様子を眺めながら、同じように発掘体験を行うことができ、「観察広場」「展示場」「化石発掘体験広場」の3つのゾーンに分かれている。 ・冬季（11月～3月）は休業。
開業	2014年7月
事業主体	福井県


出所) 福井県立恐竜博物館 HP <https://www.dinosaur.pref.fukui.jp/visit/fieldstation> 2020年10月21日閲覧

名称	かつやまディノパーク
写真	 <p>出所) かつやまディノパーク HP https://www.dinopark.jp/news/1475.html 2020年10月21日閲覧</p>
特徴	<ul style="list-style-type: none"> ・総面積 1.5 ヘクタール、全長約 460mのウォークスルーで、精密に復元された実物大のロボット恐竜と生息環境を味わえる冒険アトラクション。 ・パーク内には全長 20mのマメンチサウルスや全長 13mのティラノサウルスなどライフサイズ（実物大）の恐竜 44 頭を展示。 ・受付・休憩棟を発着駅とする、約 1.3 kmのトラムコースを専用トラムに乗って、森の自然とともに全長 4mのカブトムシや全長 5mのオオスズメバチなど 22 種類の巨大昆虫が棲む世界を楽しめる巨大昆虫冒険ツアーがある。 ・子供向けにガオガオトレイン、ガオガオライド、ガオガオボートと呼ばれる乗り物（遊具）を配置したガオガオ広場がある。 ・お盆の時期には、ナイトディノパークの開催や巨大昆虫冒険ツアーのナイター運行がされる。（19時～21時） ・冬季（11月～3月）は休業。
開業	2015年4月
事業主体	株式会社 ワック

出所) かつやまディノパーク HP <https://www.dinopark.jp> 2020年10月21日閲覧

名称	どきどき恐竜発掘ランド
写真	 <p>出所) ふくいドットコムどきどき恐竜発掘ランド HP https://www.fuku-e.com/020_experience/?id=9999 2020年10月21日閲覧</p>
特徴	<ul style="list-style-type: none"> ・ かつやま恐竜の森（長尾山総合公園）内の施設で、発掘現場から運ばれた岩で道具を使って化石発掘体験ができる。 ・ 予約制で1日4回開催される。 ・ 冬季（11月～3月）は休業。
開業	2004年
事業主体	NPO 法人恐竜のまち勝山応援隊

出所) かつやま恐竜の森 HP https://kyoryunomori.net/dig_experience/ 2020年10月21日閲覧
ふくいドットコムどきどき恐竜発掘ランド HP
https://www.fuku-e.com/020_experience/?id=9999 2020年10月21日閲覧

名称	BBQ ガーデン
写真	 <p>出所) かつやま恐竜の森 BBQ ガーデン HP https://kyoryunomori.net/bbq/ 2020年10月21日閲覧</p>
特徴	<ul style="list-style-type: none"> ・ かつやま恐竜の森ティラノサウルス広場内の全席日避け用屋根付きバーベキューサイト（15ブロック）。 ・ テーブルやイスがあり、デイキャンプ気分が味わえる。 ・ 完全予約制。午前9時から午後4時まで。 ・ 冬季（11月～3月）は閉鎖。
開館	2002年
事業主体	NPO 法人恐竜のまち勝山応援隊

出所) かつやま恐竜の森 HP https://kyoryunomori.net/dig_experience/ 2020年10月21日閲覧

名称	広場（ティラノサウルス広場・チャマゴン広場）
写真	 <p>出所) かつやま恐竜の森ティラノサウルス広場 HP https://kyoryunomori.net/guide/asobu/#gcont632 かつやま恐竜の森チャマゴン広場 HP https://kyoryunomori.net/guide/asobu/#gcont45 2020年10月21日閲覧</p>
特徴	<ul style="list-style-type: none"> ・ティラノサウルス広場は、公園内で一番広くて大きな遊具が人気。BBQ ガーデン・ビッグターザンロープ・芝生広場・恐竜の水辺がある。 ・チャマゴン広場は、スギヤマリュウの滑り台とターザンロープ・広い芝生広場・クライミングウォールなどの遊び場と、フォトスポットなどがある。
開館	2001年11月
事業主体	NPO 法人恐竜のまち勝山応援隊

出所) かつやま恐竜の森 HP https://kyoryunomori.net/dig_experience/ 2020年10月21日閲覧

名称	ウォーキングコース（君原健二ロード）
写真	 <p>出所) NPO 法人恐竜のまち勝山応援隊提供</p>
特徴	<ul style="list-style-type: none"> ・森林浴に最適な公園内を一周できるコース。 ・遊歩道の一部については、メキシコ五輪マラソン銀メダリストで、かつやまマラソン大使の君原健二氏が監修した「君原健二ロード（4.2195 km）」の整備を実施し、2018年の第14回勝山恐竜クロカンマラソンの際に完成記念式典が行われ、運用を開始している。 ・君原健二ロードの整備に関しては、ガバメントクラウドファンディングによって整備費の寄付を募り活用された。
開館	2002年
事業主体	NPO 法人恐竜のまち勝山応援隊

出所) かつやま恐竜の森 HP https://kyoryunomori.net/dig_experience/ 2020年10月21日閲覧

名称	勝山市ジオターミナル
写真	  <p>出所) 勝山観光ナビジオターミナル HP https://katsuyama-navi.jp/geoterminal/ 2020年10月21日閲覧</p>
特徴	<ul style="list-style-type: none"> ・恐竜渓谷ふくい勝山ジオパークの拠点施設。 ・恐竜博物館前駐車場（第1駐車場）内の観光案内所を併設した飲食物販施設。公共バス発着所。 ・「スーベニアショップ ラプトル」や「レストラン ザウルスキッチン」、「ツーリストインフォメーションセンター」など、普段手に入れることができない恐竜のお土産や、観光案内、オリジナルのメニューが楽しめるレストランなどお客様が楽しめる空間を提供。
開館	2018年4月
事業主体	勝山市、勝山市観光まちづくり株式会社

出所) 勝山観光ナビジオターミナル HP <https://katsuyama-navi.jp/geoterminal/> 2020年10月21日閲覧

④ 管理運営形態

- 公園用地は勝山市が所有している。
- 公園内の施設のうち、福井県立恐竜博物館は福井県が所有、管理している。勝山市ジオターミナルは勝山市及び勝山市観光まちづくり(株) (以下、DMO) が所有し、DMO が管理している。かつやまディノパークは(株)ワックが所有、管理している。
- その他の公園内の建築物は勝山市が所有し、NPO 法人恐竜のまち勝山応援隊 (以下、NPO) が管理している。
- 福井県立恐竜博物館、勝山市ジオターミナル、かつやまディノパークについては表 3 に示すとおり、設置管理許可制度が導入されている。

表 3 公園の既存施設

施設名称	施設種別	用地／施設所有者	現在の管理者
福井県立恐竜博物館	教養施設 (設置管理許可)	勝山市／ 福井県	福井県
館内ショップ・レストラン	便益施設		東急リゾート& ステイ(株) (県委託)
勝山市ジオターミナル	観光交流便益施設 (設置管理許可)	勝山市／ 勝山市・勝山市観光 まちづくり(株)	勝山市観光 まちづくり(株) (指定管理)
かつやまディノパーク	遊戯施設 (設置管理許可)	勝山市／ (株)ワック	(株)ワック (NPO に管理業務 委託)
BBQ ガーデン	便益施設	勝山市／ 勝山市	NPO (指定管理)
どきどき恐竜発掘ランド (化石発掘体験)	教養施設	勝山市／ 勝山市	NPO (指定管理)
駐車場	便益施設	勝山市／ 勝山市	NPO (指定管理)

- 公園使用料は表 4 に示すとおり、施設種別に応じて徴収している。

表 4 公園使用料

施設種別	公園使用料	備考
遊戯施設	収入額の 10%	かつやまディノパークは遊戯施設であり、(株)ワックより使用料を徴収
教養施設	収入額の 10%	恐竜博物館は教養施設であるが、減免としている。ただし、館内の便益機能分(飲食物販機能)については、便益施設とみなし使用料(収入額の 5%)を徴収(R2.7~)
便益施設	収入額の 5%	ジオターミナルはまちづくり会社が建設した部分については便益施設(飲食物販施設)であり、使用料を徴収

⑤ 施設利用者数の推移

- かつやま恐竜の森への来園者数は年々増加しており、福井県立恐竜博物館の来館者数は90万人を超えている。

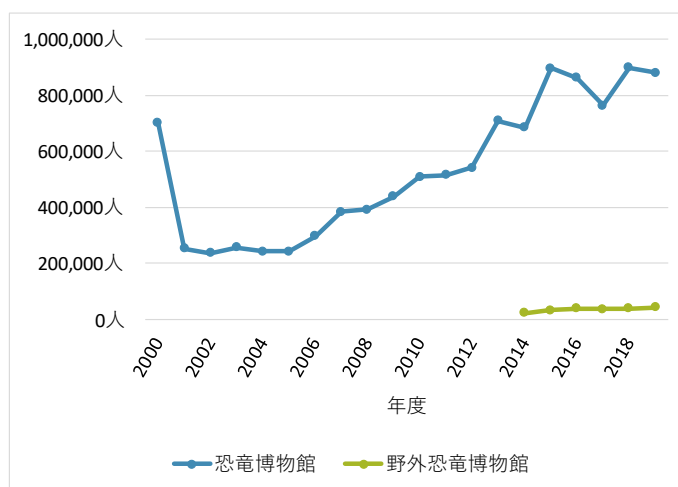


図7 福井県立恐竜博物館の入館者数

出所) 勝山市提供資料より三菱総合研究所作成

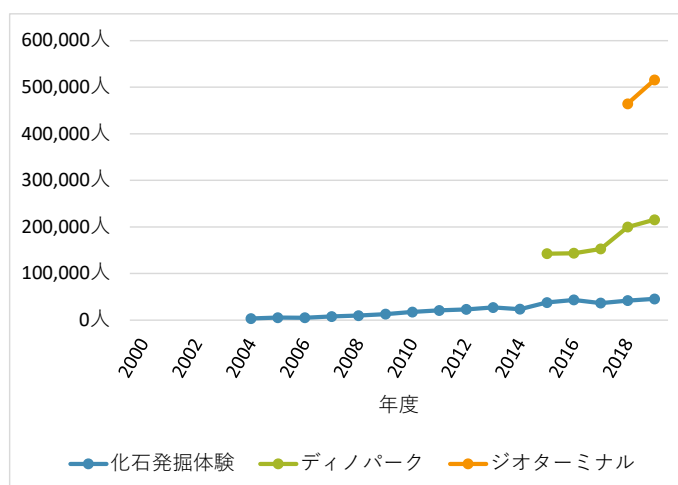


図8 公園内各施設の利用者数

出所) 勝山市提供資料より三菱総合研究所作成

- 2013年に大きく増加している要因としては、スーパー戦隊シリーズ「キョウリュウジャー」の放映(2013年2月17日～2014年2月9日)が考えられる。
- 2015年に大きく増加している要因としては、北陸新幹線の金沢延伸、かつやまディノパーク開業が考えられる。
- 2018年に増加している要因としては、映画「ジュラシック・ワールド炎の王国」の公開、福井国体の開催が考えられる。

2) 公園の課題解決・利用促進に係る取り組み

① 課題解決に向けた取り組み

a. 渋滞対策

- 駐車場の拡充や、市内周辺駐車場からのパークアンドライドの導入を行ったが、抜本的な解決には至っておらず、GWやお盆に約3kmの渋滞が発生している。

表 5 渋滞対策の取り組みと渋滞状況

	取り組み	第1駐車場入口からの渋滞長
2016年GW	パークアンドライド2か所 (JA中支店と越前大仏) 長尾山総合公園内で駐車場を増設 「恐竜博物館直通便」の運行を開始 (電車利用者8割増)	最長3.2km
2016年お盆	パークアンドライド2か所 (JA中支店と越前大仏)	最長約3.6km 渋滞は一日のみ
2017年GW	パークアンドライド2か所 (JA中支店と越前大仏)	最長約3.6km (布市ロードパーキング付近まで)
2017年お盆	パークアンドライド2か所 (ジオアリーナと越前大仏) 公園内の駐車場を整備拡充	最長約2.7km (JAテラル越前中支店まで)
2018年GW	パークアンドライド2か所 (JA中支店と越前大仏) 長尾山総合公園内での道路、駐車場整備	最長約3km(滝波交差点まで) 勝山インター線の新保交差点(かじ惣交 差点)において、信号待ちによる渋滞が 新たに発生
2019年GW	パークアンドライド2か所 (JA中支店と越前大仏)	最長約4km(新保交差点まで)

表 6 パークアンドライドの利用状況

	実施日数	利用人数
2015年度	16日	20,691人
2016年度	12日	15,720人
2017年度	9日	12,577人
2018年度	11日	19,499人
2019年度	15日	30,249人



図 9 パークアンドライド実施の様子

出所) 勝山市 都市建設課 提供

b. クマ対策

- 園内でクマの痕跡や出没が確認された場合、安全確保のために開園時間の短縮や出没エリアの閉鎖を行い、クマ檻を設置するとともに公園指定管理者によるパトロール強化を図っている。
- 例年、秋に開催していた勝山恐竜クロカンマラソンについて開催時期を見直し、2013年からは春の開催とした。
- 2019年は特にクマの出没が相次いだことから、林内に設置しているカメラ、スピーカーを増設した。同年6月に予定され中止となった勝山恐竜クロカンマラソン前には猟友会による巻狩を実施した。

c. 新型コロナウイルス感染症対策

- 新型コロナウイルス感染症の流行により福井県立恐竜博物館が休館、発掘体験やディノパークも休止となった。2020年3月から来園者が大きく減少している。福井県立恐竜博物館は予約・入替制を導入し、6月15日に営業を再開した。現在は、入替制を廃止し、感染状況を注視しつつ予約定員の見直しを行っている。
- 福井県立恐竜博物館が休館している間も、かつやま恐竜の森は開園し、スタッフ全員のマスクの着用、ドア等のこまめな消毒を徹底した上で、市民の運動不足解消の場として開放した。

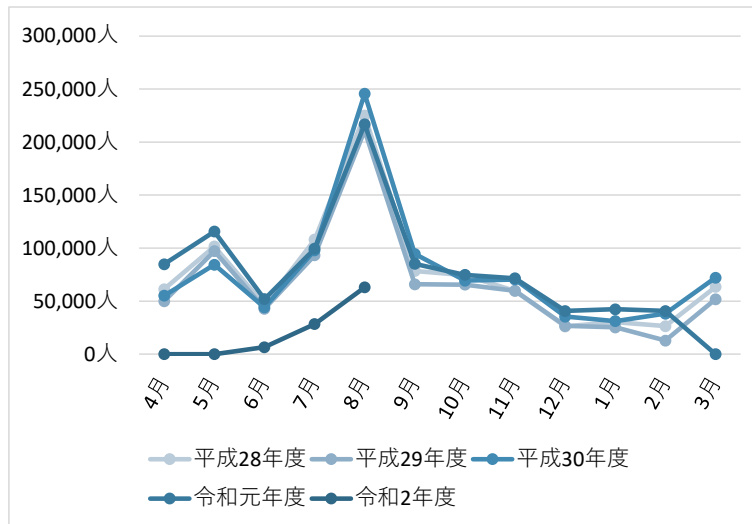


図 10 福井県立恐竜博物館来館者数（野外恐竜博物館との合算値）

② 集客に向けた NPO の取り組み

- ホームページによる情報発信
- パンフレットの作成や各種広報
- クロスカントリースキー、スノーシューハイク、スノーモービル雪上タイヤソリ、そり滑り等（2018 年度及び 2019 年度は雪不足により開催できず）



図 11 冬のイベント

出所) 平成 28 年度 NPO 法人事業報告書

- 自然観察会



図 12 自然観察会

出所) 平成 28 年度 NPO 法人事業報告書

- 恐竜を描こう（図画作品コンクール）



図 13 「恐竜を描こう」入賞作品展示の様子

出所) Facebook 「かつやま恐竜の森」

<https://ja-jp.facebook.com/kyoryunomori/posts/1215545461968152/> 2020年11月19日閲覧

- 体験学習事業（2016年度：キックバイク恐竜CUP2016、恐竜大声コンテスト）



図 14 体験学習事業

出所) 平成 28 年度 NPO 法人事業報告書

- 2020年「バイオームランド」

スマホカメラでいきものを撮影するだけで名前を判定できる、いきものコレクションアプリ「Biome（バイオーム）」内において、JR3社沿線の回遊を促す期間限定のオープンワールド型クエスト企画「バイオームランド」を実施します。参加者は150を超えるクエストで対象となるいきものを見つけ、撮影してアプリへ投稿、クエストをクリアしながらゲーム感覚でいきものをコレクションすることができます。また、クエストを達成してポイントを貯めると豪華賞品があたるチャンスも。さらに日本全国の参加者が集めたデータは、環境保全の基盤情報として活用されます。

出所) JR西日本「JR3社×Biome 日本初！国内最大級の実証実験「バイオームランド」」
https://www.westjr.co.jp/press/article/2020/02/page_15603.html 2020年11月6日閲覧

- 恐竜クロカンマラソン(勝山恐竜クロカンマラソン実行委員会事務局の一員としての取り組み)

- ※ 第15回(2019年) クマの痕跡、目撃が確認されたことに伴い中止
- 第16回(2020年) 新型コロナウイルス感染症の流行に伴い中止



図 15 第14回勝山恐竜クロカンマラソン

出所) 勝山市「第16回勝山恐竜クロカンマラソン」

<https://www.city.katsuyama.fukui.jp/site/kurokan/> 2020年11月19日閲覧

3) 周辺環境の整理

① 恐竜渓谷ふくい勝山ジオパーク

「恐竜渓谷ふくい勝山ジオパーク」は、福井県の勝山市全域をエリアとするジオパーク¹である。「恐竜はどこにいたのか？大地が動き大陸から勝山へ」をメインテーマとし、恐竜が大陸で生息していた「恐竜時代」から「現代」までの時間軸の中で起こった大地の活動や、その影響を受けた自然、それらを利用して人々が育んできた歴史・文化などを、目で見て肌で感じ取ることができるジオパークである。

①「恐竜・恐竜化石」②「火山と火山活動」③「九頭竜川などの河川とその地形」という3つのサブテーマを設けている。①については、恐竜をはじめとする古生物研究の拠点であり、世界三大恐竜博物館に数えられる福井県立恐竜博物館や、約1億2千万年前の前期白亜紀の地層を実際に見ることができ、これまで6種の恐竜化石等が発掘されている恐竜化石発掘現場が見どころである。②については、第四紀火山である法恩寺山、経ヶ岳一体を中心に、柱状節理が観察できる滝や溶岩原面である芳野ヶ原台地（スキージャム勝山のゲレンデ）などの地質遺産がある。大矢谷白山神社では経ヶ岳の山体崩壊に伴う「岩屑（がんせつ）なだれ」によって運ばれてきた巨大岩塊を見ることができる。③については、九頭竜川右岸の河岸段丘に「七里壁」と呼ばれる段丘崖や、「大清水（おおしょうず）」と呼ばれる伏流水の湧水を見ることができる。



図 16 恐竜渓谷ふくい勝山ジオパークの特徴

出所) 勝山市 ジオパークまちづくり課 提供


¹ ジオパークとは、地域の地形・地質遺産から、地球活動の歴史、自然と生き物の関わり、大地の恵みを利用する人々の暮らしや歴史・文化、産業などを楽しく学ぶことができる場所（大地の公園）のことを言う。

出所) 恐竜渓谷ふくい勝山ジオパーク HP

<https://www.city.katsuyama.fukui.jp/geopark/index.html> 2020年11月19日閲覧

② 公園周辺の観光施設

a. 市内

名称	はたや記念館 ゆめおーれ勝山
写真	 <p>出所) ふるさとチョイス HP https://www.furusato-tax.jp/gcf/690 2020年10月21日閲覧</p>
特徴	<ul style="list-style-type: none"> 近代化産業遺産にも認定された勝山市指定文化財施設。 昭和時代に活躍した織物関連の機械を展示、機織り機を動かしたり繭から糸を取ったり、体験しながら織物産業の歴史や織物の仕組みを学べる。 資料の展示や体験を通して、繊維産業の歴史や織物のまちである勝山を再認識していただくことがねらい。
開館	2009年7月
年間入場者数	約8.2万人（観光客入込数 2019年）
事業主体	福井県勝山市
住所・アクセス	〒911-0802 福井県勝山市昭和町1丁目7-40 車：福井北JCT・ICから勝山IC下車 約10分 丸岡ICから国道416号経由 約35分

出所) ゆめおーれ勝山 HP <https://www.city.katsuyama.fukui.jp/hataya/> 2020年10月21日閲覧
 ふるさとチョイス HP「近代化産業遺産「はたや記念館ゆめおーれ勝山」をイルミネーションで銀世界へ」 <https://www.furusato-tax.jp/gcf/690> 2020年10月21日閲覧
 令和元年 福井県観光客入込数（推計）
https://www.pref.fukui.lg.jp/doc/kankou/fukuiken-kankoukyakusu_d/fil/018.pdf

名称	国史跡 白山平泉寺
写真	 <p>出所) 白山平泉寺 HP http://heisenji.jp/#7-1 2020年10月21日閲覧</p>
特徴	<ul style="list-style-type: none"> ・白山信仰の拠点で国史跡。 ・一帯は最盛期の戦国時代には8,000人もの僧兵がいたと伝えられ、当時の日本では最大規模の宗教都市となり繁栄、天正2年(1574)に越前一向一揆勢に攻められ、全山焼失。 ・白山国立公園に含まれ、1989年からの発掘調査では、中世宗教都市の遺構が発掘されている。参道は「日本の道100選」にも選ばれている。
開館	717年
年間入場者数	21.6万人(観光客入込数 2019年)
事業主体	—
住所・アクセス	〒911-0822 福井県勝山市平泉寺町平泉寺 車：勝山ICより約15分、丸岡ICより約50分

出所) 白山平泉寺 HP <http://heisenji.jp/> 2020年10月21日閲覧

あわら市観光協会

<http://awara.info/cat-sightseeing/%E5%B9%B3%E6%B3%89%E5%AF%BA%E3%80%8C%E7%99%BD%E5%B1%B1%E7%A5%9E%E7%A4%BE%E3%80%8D> 2020年10月21日閲覧

令和元年 福井県観光客入込数(推計)

https://www.pref.fukui.lg.jp/doc/kankou/fukuiken-kankoukyakusu_d/fil/018.pdf

名称	勝山城博物館
写真	 <p>出所) 勝山観光ナビ勝山城博物館 HP https://katsuyama-navi.jp/spot/203.html 2020年10月21日閲覧</p>
特徴	<ul style="list-style-type: none"> ・日本一の高さ（57.8m）を誇る5層6階の天守閣内に設けられた歴史博物館。 ・最上層の展望室からは、旧石器時代からの歴史を持つ勝山の風景や、日本ジオパークにも登録されている美しい自然が見渡せる。 ・大名武具や合戦図屏風のコレクションの他、書家西脇呉石関連の作品を収蔵・展示。
開館	1992年
年間入場者数	12.5万人（越前大仏を含む。観光客入込数 2019年）
事業主体	公益財団法人多田清文化教育記念財団
住所・アクセス	〒911-0822 福井県勝山市平泉寺町平泉寺 85-26-1 車：勝山 IC より約 15 分、丸岡 IC より約 40 分

出所) 勝山観光ナビ勝山城博物館 HP <https://katsuyama-navi.jp/spot/203.html> / 2020年10月21日閲覧
勝山城博物館 HP <http://www.katsuyamajyou.com/> 2020年10月21日閲覧
令和元年 福井県観光客入込数（推計）
https://www.pref.fukui.lg.jp/doc/kankou/fukuiken-kankoukyakusu_d/fil/018.pdf

名称	スキージャム勝山
写真	 <p>出所) スキージャム勝山 HP https://www.skijam.jp/winter/event/ 2020年10月21日閲覧</p>
特徴	<ul style="list-style-type: none"> ・西日本最大級ゲレンデのあるスキー場。夏はアクティブな高原リゾートとして一年を通して満喫できる本格リゾート。 ・最長滑走距離 5,800m、3つのマウンテンパークに初心者から上級者用まで 14 コース設置、年間 30 万人が訪れる。
開館	1993年12月
年間入場者数	29.1万人(観光客入込数 2019年)
事業主体	東急リゾート&ステイ株式会社
住所・アクセス	〒911-0000 福井県勝山市 170-70 車：勝山 IC より約 20 分、丸岡 IC より約 45 分

出所) スキージャム勝山 HP <https://www.skijam.jp/winter/> 2020年10月21日閲覧

令和元年 福井県観光客入込数(推計)

https://www.pref.fukui.lg.jp/doc/kankou/fukuiken-kankoukyakusu_d/fil/018.pdf 2020年10月21日閲覧

名称	越前大仏（清大寺）
写真	 <p>出所) 越前大仏 HP http://etizendaibutsu.com/ 2020年10月21日閲覧</p>
特徴	<ul style="list-style-type: none"> ・越前大仏（清大寺）は奈良の大仏を上回る日本一の大きさの座高17m。その左右に4体の脇侍仏、壁面には1,281体の諸仏が安置されている。 ・地元大実業家である多田清翁の一大願心で建立、2002年末に宗教法人として認証。
開館	1987年5月
年間入場者数	12.5万人（勝山城博物館を含む。観光客入込数 2019年）
事業主体	宗教法人 臨済宗妙心寺派大師山清大寺
住所・アクセス	〒911-0811 福井県勝山市片瀬 50-1-1 車：勝山 IC より約10分、丸岡 IC より約35分

出所) 越前大仏 HP <http://etizendaibutsu.com/> 2020年10月21日閲覧

令和元年 福井県観光客入込数（推計）

https://www.pref.fukui.lg.jp/doc/kankou/fukuiken-kankoukyakusu_d/fil/018.pdf 2020年10月21日閲覧

b. 市外

名称	曹洞宗大本山 永平寺
写真	 <p>出所) 大本山永平寺 HP https://daihonzan-eiheiji.com/news6.html 2020年10月21日閲覧</p>
特徴	<ul style="list-style-type: none"> ・ 總持寺と並ぶ日本曹洞宗の中心寺院（大本山）である。1244（寛元2年）年に傘松峰大仏寺として建立、その後吉祥山永平寺と改められた。 ・ 773年の伝統を誇る仏道修行の根本道場。今もつねに200名余りの僧侶が日夜修行に励んでいる。
開館	1244年
年間入場者数	52.2万人（観光客入込数 2019年）
事業主体	—
住所・アクセス	〒910-1228 福井県吉田郡永平寺町志比 5-15 車：永平寺参道 IC から約 5km 約 10分


出所) 大本山永平寺 HP <https://daihonzan-eiheiji.com/> 2020年10月21日閲覧

令和元年 福井県観光客入込数（推計）

https://www.pref.fukui.lg.jp/doc/kankou/fukuiken-kankoukyakusu_d/fil/018.pdf 2020年10月21日閲覧

名称	丸岡城
写真	 <p>出所) 福井県坂井市観光ガイド WEB 旅ナビ坂井 HP http://www.maruoka-kanko.org/400_special/010_castle/ 2020年10月21日閲覧</p>
特徴	<ul style="list-style-type: none"> ・現存天守閣では最古の建築様式を持つ平山城。 ・戦国時代の天正4年(1576)一向一揆の備えとして織田信長の命により柴田勝家が甥の勝豊に築かせた。 ・園内には400本のソメイヨシノが植えられ、日本のさくら名所100選に認定されており、4月には城下で丸岡城桜まつりが行われる。
開館	1576年
年間入場者数	41.3万人(観光客入込数 2019年)
事業主体	公益財団法人 丸岡文化財団
住所・アクセス	〒910-0231 福井県坂井市丸岡町霞町1丁目59 車:丸岡ICより約10分

出所) 丸岡城 HP <https://maruoka-castle.jp/company> 2020年10月21日閲覧
福井県坂井市観光ガイド WEB 旅ナビ坂井 HP
http://www.maruoka-kanko.org/400_special/010_castle/ 2020年10月21日閲覧
令和元年 福井県観光客入込数(推計)
https://www.pref.fukui.lg.jp/doc/kankou/fukuiken-kankoukyakusu_d/fil/018.pdf 2020年10月21日閲覧


名称	芦原温泉
写真	 <p>出所) 越前・あわら温泉 芦原温泉旅館協同組合 HP https://www.awara-onsen.org/ 2020年10月21日閲覧</p>
特徴	<ul style="list-style-type: none"> ・あわら温泉の開湯は明治16年、『関西の奥座敷』として中京・京阪神のお客様に親しまれており、年間82万人を越す浴客が訪れる北陸有数・福井屈指の温泉。 ・芦原町と金津町が合併してあわら市が発足してからは「あわら温泉」と表記されることも多い。
開館	1883年
年間入場者数	83.8万人（観光客入込数 2019年）
事業主体	芦原温泉旅館協同組合
住所・アクセス	〒910-4105 福井県あわら市舟津第48号19番地-1 車：金津ICより約15分

出所) 芦原温泉旅館協同組合 HP <https://www.awara-onsen.org/> 2020年10月21日閲覧


あわら市観光協会 HP

<http://awara.info/cat-convenience/%E8%8A%A6%E5%8E%9F%E6%B8%A9%E6%B3%89%E6%97%85%E9%A4%A8%E5%8D%94%E5%90%8C%E7%B5%84%E5%90%88> 2020年10月21日閲覧
令和元年 福井県観光客入込数（推計）

https://www.pref.fukui.lg.jp/doc/kankou/fukuiken-kankoukyakusu_d/fil/018.pdf 2020年10月21日閲覧

名称	東尋坊
写真	 <p>出所) 福井県坂井市観光ガイド WEB 旅ナビ坂井 東尋坊 HP http://www.mikuni.org/010_spot/tojinbo/spot.php 2020年10月21日閲覧</p>
特徴	<ul style="list-style-type: none"> ・日本随一の奇勝。間近にみる断崖は迫力満点。 ・古くから名勝として称えられてきた断崖絶壁はゴツゴツとした岩が約1kmにわたって続き、「輝石安山岩の柱状節理」という地質学的にも珍しい奇岩で、世界にも東尋坊を含め3箇所しかない。 ・水面から25mもの高さ（ビルの8～9階に相当）から見下ろす景色はまさに絶景。東尋坊先端に浮かぶ雄島とともに、日本の天然記念物に指定されている。
開館	—
年間入場者数	141.4万人（観光客入込数 2019年）
事業主体	東尋坊観光協会
住所・アクセス	〒913-0063 福井県坂井市三国町安島 64-1-166 車：金津ICより約20分

出所) 福井県坂井市観光ガイド WEB 旅ナビ坂井 東尋坊 HP <http://www.mikuni.org/tojinbo/> 2020年10月21日閲覧
令和元年 福井県観光客入込数（推計）
https://www.pref.fukui.lg.jp/doc/kankou/fukuiken-kankoukyakusu_d/fil/018.pdf 2020年10月21日閲覧

名称	越前松島水族館
写真	 <p>出所) 越前松島水族館 HP https://www.echizen-aquarium.com/ 2020年10月21日閲覧</p>
特徴	<ul style="list-style-type: none"> ・施設全体が越前加賀海岸国定公園内に位置し、1959年（昭和34）に開館した60年以上の歴史を持つ水族館。 ・「東尋坊」からもほど近く、年間30万人ほどが県内外から訪れる。 ・日本海の魚を中心に約350種類に及ぶ珍しい海の魚がいる。
開館	1959年
年間入場者数	30.2万人（観光客入込数 2019年）
事業主体	三国観光産業(株)
住所・アクセス	〒913-0065 福井県坂井市三国町崎 74-2-3 車：加賀ICより約30分


出所) 越前松島水族館 HP <https://www.echizen-aquarium.com/> 2020年10月21日閲覧
令和元年 福井県観光客入込数（推計）
https://www.pref.fukui.lg.jp/doc/kankou/fukuiken-kankoukyakusu_d/fil/018.pdf 2020年10月21日閲覧

③ 公園周辺の宿泊施設

名称	あまごの宿
写真	 
施設の概要	<p>出所) あまごの宿 HP https://amago.jp/ 2020年11月19日閲覧</p> <p>・山の中の一軒宿。山・里・川の幸に舌鼓。自社養魚場で育てた新鮮なあまご・いわなを使った各種料理と、地元で採れた山菜を組み合わせた色々なメニューを取り揃える。</p>
オープン	—
施設の規模	<p>本間 6帖～14帖、その他、別館あり</p> <p>客室:11室</p>
住所・アクセス	<p>〒911-0017 福井県勝山市野向町横倉 56-35</p> <p>車：勝山 IC より車で約 15 分</p> <p>電車：勝山駅より車で約 20 分</p>
アクティビティ	—

出所) あまごの宿 HP <https://amago.jp/> 2020年11月19日閲覧

勝山観光ナビ 泊まる・温泉 HP https://katsuyama-navi.jp/genre/stay_spa/ 2020年11月19日閲覧

名称	ペンション UPO
写真	 <p>出所) ペンション UPO HP https://pensionupo.jimdofree.com/ 2020年11月19日閲覧</p>
施設の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・恐竜博物館やスキー場からも近く、8種類のオムライスが看板メニュー。 ・お子様向けのメニューもあり、家族での利用向き。
オープン	—
施設の規模	客室: 8室 (洋室5・和室3)
住所・アクセス	〒911-0021 福井県勝山市村岡町栃神谷 11-6-1 車: 勝山 IC より車で約 15 分 電車: 勝山駅より車で約 10 分
アクティビティ	—

出所) ペンション UPO HP <https://resort-hotel-tateshina.jp/sculpture-park/https://pensionupo.jimdofree.com/>
2020年11月19日閲覧

勝山観光ナビ 泊まる・温泉 HP https://katsuyama-navi.jp/genre/stay_spa/ 2020年11月19日閲覧

名称	東山いこいの森
写真	 <p>出所) 勝山観光ナビ 東山いこいの森 HP https://katsuyama-navi.jp/spot/138.html、 東山いこいの森 HP http://ikoinomori.sunnyday.jp/ 2020年11月19日閲覧</p>
施設の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・奥越高原、県立自然公園内のテニスコート、アスレチック、ミニグランドなどのスポーツ施設をはじめ、キャンプ場や閑静な杉木立の間に建つ、別荘風のコテージ、山小屋風のバンガロー、テントサイトなどを持つ宿泊施設。 ・自然植物も豊富で取立山や大滝へのハイキング、白山や大日山も一望できる多目的に楽しめるキャンプ場。
オープン	—
施設の規模	コテージ (6棟、10～15名の利用可) バンガロー (20棟、5～7名の利用可) テントサイト (12区画)
住所・アクセス	〒911-0006 勝山市北谷町谷 117-3-1 車：勝山 IC より車で約 30 分 電車：勝山駅より車で約 30 分
アクティビティ	<ul style="list-style-type: none"> ・テニスコート ・アスレチック ・ミニグランド ・BBQ 施設 (12 人掛けテーブル 5 つ)


出所) 勝山観光ナビ 泊まる・温泉 HP https://katsuyama-navi.jp/genre/stay_spa/ 2020年11月19日閲覧

名称	ホテルハーヴェスト スキージャム勝山
写真	 <p>出所) Hotel Harvest HP https://www.resorthotels109.com/skijam/index.php 2020年11月19日閲覧</p>
施設の概要	<ul style="list-style-type: none"> 西日本最大級のスノーリゾート「スキージャム勝山」のゲレンデフロントに位置し、冬は純白のスノーワールドを存分に楽しめる。春夏秋の季節を満喫できる本格リゾート。
オープン	—
施設の規模	客室面積：34㎡～61㎡ 総客室数 100室 定員：3～8名
住所・アクセス	〒911-0000 勝山市勝山 170-70 車：勝山ICより車で約20分 電車：勝山駅より車で約20分
アクティビティ	<ul style="list-style-type: none"> スキー・スノーボード 屋内温水プール ドッグランパーク・バーベキューガーデン・パラグライダー・芝ソリ・トレッキング・パークゴルフ・ガーデンカフェ・わんぱく恐竜ランド・セグウェイ体験・サイクリング

出所) 勝山観光ナビ 泊まる・温泉 HP https://katsuyama-navi.jp/genre/stay_spa/ 2020年11月19日閲覧
 Hotel HarvestHP <https://www.resorthotels109.com/skijam/index.php> 2020年11月19日閲覧

名称	勝山温泉センター水芭蕉
写真	 <p>出所) 勝山市 商工観光・ふるさと創生課 提供</p>
施設の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・サウナ付天然温泉施設に、気軽に泊まれる簡易宿所が併設されている。泉質はナトリウム炭酸水素塩で、疲労回復はもちろんのこと神経痛や慢性皮膚病、関節痛にも効果がある。 ・2020年12月31日にリニューアルオープンした。
オープン	—
施設の規模	客室：和室8室、バリアフリー対応貸室1室
住所・アクセス	〒911-0024 福井県勝山市村岡町浄土寺 30-11 車：勝山ICより車で約10分 電車：勝山駅より車で約10分
アクティビティ	・テニスコート


出所) 勝山観光ナビ 泊まる・温泉 HP https://katsuyama-navi.jp/genre/stay_spa/ 2020年11月19日閲覧
勝山温泉センター水芭蕉 HP <http://mizubasyo.jp/index.html> 2020年11月19日閲覧

名称	ペンション星の子
写真	 <p>出所) 勝山観光ナビ ペンション星の子 HP https://katsuyama-navi.jp/spot/156.html 2020年11月19日閲覧</p>
施設の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・ゲレンデまで徒歩2分。創業はスキージャムのオープンと同じ1996年。澄み切った夜空に輝く星達が名前の由来。窓からは勝山の山並みが楽しめ、反射望遠鏡での星空鑑賞も旅の心を和ませてくれる。
オープン	1996年
施設の規模	総客室数：11室
住所・アクセス	〒911-0000 福井県勝山市 178-1-6 車：勝山ICより車で約20分 電車：勝山駅より車で約20分
アクティビティ	<ul style="list-style-type: none"> ・スキー・スノーボード ・テニスコート


出所) 勝山観光ナビ 泊まる・温泉 HP https://katsuyama-navi.jp/genre/stay_spa/ 2020年11月19日閲覧
じゃらん ペンション星の子 HP <https://www.jalan.net/yad342036/> 2020年11月19日閲覧

名称	ビジネス・観光ホテル やなぎ屋
写真	  <p>出所) ふくいドットコム ホテルやなぎ屋 HP http://mizubasyo.jp/index.html 2020年11月19日閲覧、勝山観光ナビ ビジネス・観光ホテル やなぎ屋 HP https://katsuyama-navi.jp/genre/stay_spa/ 2020年11月19日閲覧</p>
施設の概要	・今勝山で最も新しいビジネスホテル。国道416号線沿いで福井県、岐阜県、石川県方面への「交通の要」に位置し、最もフレキシブルに行動できる。客室は和と洋ともにゆったり落ちついた雰囲気。どの部屋からも美しい奥越の峰々を一望できる。
オープン	—
施設の規模	収容人数：15～30人未満
住所・アクセス	〒911-0043 勝山市荒土町新保 4-129 車：勝山ICより車で約5分 電車：勝山駅より車で約5分
アクティビティ	—

出所) 勝山観光ナビ 泊まる・温泉 HP https://katsuyama-navi.jp/genre/stay_spa/ 2020年11月19日閲覧
ふくいドットコム やなぎ屋 HP <http://mizubasyo.jp/index.html> 2020年11月19日閲覧

名称	松原旅館
写真	 <p>出所) ふくいドットコム 松原旅館 HP https://www.fuku-e.com/060_stay/?id=444 2020年11月19日閲覧</p>
施設の概要	・家庭的な手作り料理が自慢の旅館。スキージャンプへは車で15分、県立恐竜博物館へは徒歩で15分と便利な場所にある。
オープン	—
施設の規模	総客室数：8室
住所・アクセス	〒911-0023 勝山市村岡町寺尾 26-28 車：勝山ICより車で約10分 電車：勝山駅より寺尾バス停下車徒歩2分
アクティビティ	—

出所) 勝山観光ナビ 泊まる・温泉 HP https://katsuyama-navi.jp/genre/stay_spa/ 2020年11月19日閲覧
ふくいドットコム 民宿 松原旅館 HP https://www.fuku-e.com/060_stay/?id=444 2020年11月19日閲覧

名称	平尾ペンション
写真	  <p>出所) 平尾ペンション HP http://www.hirao-pension.com/ 2020年11月19日閲覧</p>
施設の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・旬の味を盛り込んだ和洋折衷の料理が自慢。冬季は洋食のコースディナーをスキーやスノーボードを楽しんだあと、暖炉のあるダイニングで楽しめる。九頭竜川での鮎釣りや、恐竜博物館などの観光、取立山などの登山、ビジネス滞在に利用できる。 ・全室バストイレ付き、無料インターネットLAN接続完備。
オープン	—
施設の規模	総客室数：10室
住所・アクセス	〒911-0000 福井県勝山市滝波町 19-15-2 車：勝山ICより車で約7分 電車：勝山駅よりタクシーで約7分
アクティビティ	—

出所) 勝山観光ナビ 泊まる・温泉 HP https://katsuyama-navi.jp/genre/stay_spa/ 2020年11月19日閲覧
ふくいドットコム 平尾ペンション HP https://www.fuku-e.com/060_stay/?id=438 2020年11月19日閲覧

名称	料亭・旅館 板甚
写真	 
施設の概要	<p>出所) 料亭・旅館 板甚 HP https://itajin.com/ 2020年11月19日閲覧</p> <p>・福井県奥越前に位置する、国登録有形文化財指定された約400年続く奥越前の老舗旅館。300年前の「殿様料理」が福井県で唯一食べられる宿としても有名。</p>
オープン	—
施設の規模	総客室数：10室
住所・アクセス	<p>〒911-0806 勝山市本町2丁目5-14</p> <p>車：勝山ICより車で約10分</p> <p>電車：勝山駅より徒歩7分</p> <p>飛行機：小松空港より車で約1時間半</p>
アクティビティ	—

出所) 勝山観光ナビ 泊まる・温泉 HP https://katsuyama-navi.jp/genre/stay_spa/ 2020年11月19日閲覧
料亭・旅館 板甚 HP <https://itajin.com/> 2020年11月19日閲覧

名称	六呂師高原温泉 ピクニックガーデン
写真	 
	<p>出所) 近畿日本ツーリスト 六呂師高原温泉ピクニックガーデン HP https://yado.knt.co.jp/st/S180098/ 2020年11月19日閲覧、勝山観光ナビ 六呂師高原温泉 ピクニックガーデン HP https://katsuyama-navi.jp/spot/397.html 2020年11月19日閲覧</p>
施設の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・ 福井六呂師高原の中にある温泉は北陸有数の温泉成分を含んだ炭酸水素塩化物混合泉。 ・ 夏は大自然を眺めながらのBBQ、冬はスキー、しぼりたての新鮮な牛乳や手造りアイスクリームも楽しめる。100名山の荒島岳、200名山の経ヶ岳登山にも利用される。
オープン	—
施設の規模	総客室数：9室
住所・アクセス	〒911-0822 福井県勝山市平泉寺 230 池が原 50 車：福井北 IC より車で約 40 分 電車：JR 越美北線 越前大野駅より車で約 30 分
アクティビティ	—

出所) 勝山観光ナビ 泊まる・温泉 HP https://katsuyama-navi.jp/genre/stay_spa/ 2020年11月19日閲覧
近畿日本ツーリスト 六呂師高原温泉ピクニックガーデン HP <https://yado.knt.co.jp/st/S180098/> 2020年11月19日閲覧

名称	米伊旅館
写真	  <p>出所) ふくいドットコム 米伊旅館 HP https://www.fuku-e.com/060_stay/?id=436 2020年11月19日閲覧、勝山観光ナビ 米伊旅館 HP https://katsuyama-navi.jp/spot/995.html/ 2020年11月19日閲覧</p>
施設の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・勝山市の中心に位置、近くを流れる九頭竜川には、春には弁天桜が咲き乱れ、夏は鮎釣り、多くの太公望たちが訪れる。 ・冬はスキージャム勝山へのアクセスが容易。ビジネス滞在にも利用できる。
オープン	—
施設の規模	総客室数：6室
住所・アクセス	〒911-0806 福井県勝山市本町 2-3-6 車：勝山 IC より車で約 10 分 電車：勝山駅より徒歩約 7 分
アクティビティ	—

出所) 勝山観光ナビ 泊まる・温泉 HP https://katsuyama-navi.jp/genre/stay_spa/ 2020年11月19日閲覧
ふくいドットコム 米伊旅館 HP https://www.fuku-e.com/060_stay/?id=436 2020年11月19日閲覧

名称	勝山ニューホテル
写真	 <p>出所) 勝山市 商工観光・ふるさと創生課 提供</p>
施設の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・勝山の自然に包まれた大浴場付きシティホテル。 ・恐竜博物館へ車で10分、白山平泉寺へ車で5分、スキージャム勝山へ車で15分と抜群の観光アクセス。ご宿泊やお食事、宴会に利用できる。 ・ホテル内の4部屋については、恐竜の世界をコンセプトとした「Dino Amazing Room」に改装した。(2020年12月25日運用開始)
オープン	—
施設の規模	1部屋あたりの面積 約26㎡ 総客室数：60室
住所・アクセス	〒911-0811 福井県勝山市片瀬町2丁目114 車：勝山ICより車で約10分 電車：勝山駅より車で約10分
アクティビティ	—

出所) 勝山観光ナビ 泊まる・温泉 HP https://katsuyama-navi.jp/genre/stay_spa/ 2020年11月19日閲覧
勝山ニューホテル HP <https://www.katsuyama-newhotel.jp/> 2020年11月19日閲覧

名称	横倉鉱泉
写真	  <p>出所) 楽天トラベル 横倉鉱泉 HP https://travel.rakuten.co.jp/HOTEL/138070/138070.html ふくいドットコム 横倉鉱泉 HP https://www.fuku-e.com/050_spa/?id=445 2020年12月15日閲覧</p>
施設の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭的な雰囲気の中で、ゆっくりくつろぐことのできる宿。 ・夕食用などに飲食物の持ち込みをすることもできる。 ・恐竜博物館へ車で5分、白山平泉寺へ車で10分、スキージャンプ勝山へ車で15分。
オープン	—
施設の規模	総客室数：6室
住所・アクセス	〒911-0035 福井県勝山市郡町2丁目9-6 車：勝山ICより車で約10分 電車：勝山駅より車で約5分
アクティビティ	—

④ 勝山市周辺の今後の交通網整備

- 2022 年度末に、中部縦貫自動車道の大野 IC～和泉 IC が開通する予定であり、中部方面から勝山市への利便性が向上する。

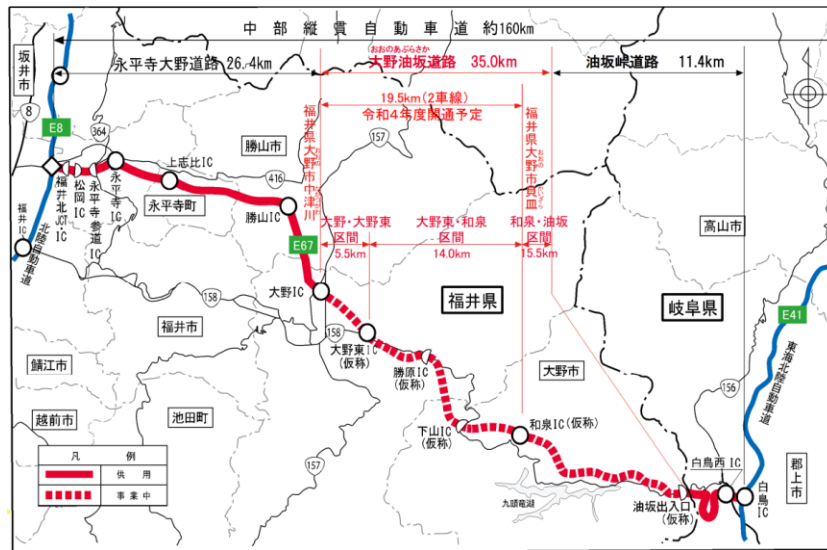


図 17 中部縦貫自動車道延伸の概要

出所) 国土交通省近畿地方整備局(2020)「令和 4 年度に和泉 IC (仮称) まで開通へ」
<https://www-1.kkr.mlit.go.jp/fukui/press/r02/pdf/2020041701.pdf>, 2020 年 11 月 6 日閲覧

- 2024 年春ごろには、北陸新幹線の金沢駅～敦賀駅の開通が予定されており、東京方面から福井への利便性が向上する。
 ※ 当初、2022 年度末の開通を予定。



図 18 北陸新幹線延伸の概要

出所) 福井県「北陸新幹線パンフレット」
https://www.pref.fukui.lg.jp/doc/shinkansen/panfu0203_d/fil/panfu0203.pdf, 2020 年 11 月 6 日閲覧

4) アンケート調査

① アンケート調査の概要

a. 調査目的

- かつやま恐竜の森の再整備・運営方針案の検討の参考とするため、「新しい生活様式」での観光需要や新たなアクティビティに対する観光客の嗜好を把握する。

b. 調査対象

- 直近2年間にかつやま恐竜の森への訪問経験がある20代以上の男女
(回収目標 500 サンプル)
- 直近2年間にかつやま恐竜の森への訪問経験がない20代以上の男女
(回収目標 2,000 サンプル：全国5地域²×400 サンプル)

c. 調査手法

- Web アンケート調査

d. 調査時期

- 10月8日(木) アンケート内容の確定・調査画面作成
- 10月13日(火) 調査画面の確認
- 10月16日(金) 調査開始
- 10月18日(日) 調査終了

² 北陸圏、中部圏、近畿圏、首都圏、その他の5地域とした。それぞれの該当都道府県は下記のとおり。

- ・北陸圏：富山県、石川県、福井県
- ・中部圏：長野県、岐阜県、静岡県、愛知県、三重県
- ・近畿圏：滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県
- ・首都圏：茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、山梨県
- ・その他：上記以外の都道府県

② 回答者の基礎情報

- 本調査ではスクリーニング調査により割り付けを行った。直近2年間にかつやま恐竜の森を訪問した回答者数が515、訪問していない回答者数が各地域（首都圏、中部圏、近畿圏、北陸圏、その他）で412である。

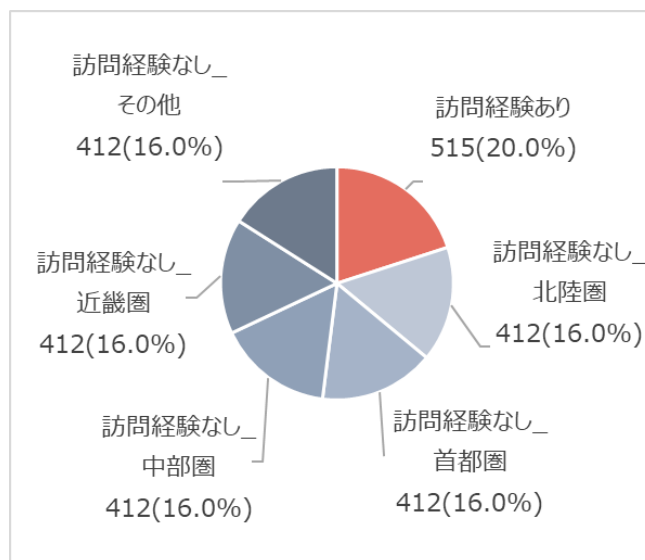


図 19 訪問有無、地域ごとの回答者数

- 年代は30歳代～50歳代がほぼ均等であり、性別比はほぼ1:1である。職業は40%以上が会社員であり、その他では専業主婦（主夫）、パート・アルバイトが多い。
- 回答者の居住地については、北陸圏の3県に居住する回答者が多い。これは訪問経験なしの場合に各地域で同じサンプル数となるようにサンプリングを行ったためであり、1地域当たりの都道府県数が少ない北陸圏において、1都道府県当たりの回答者数が多い結果となった。

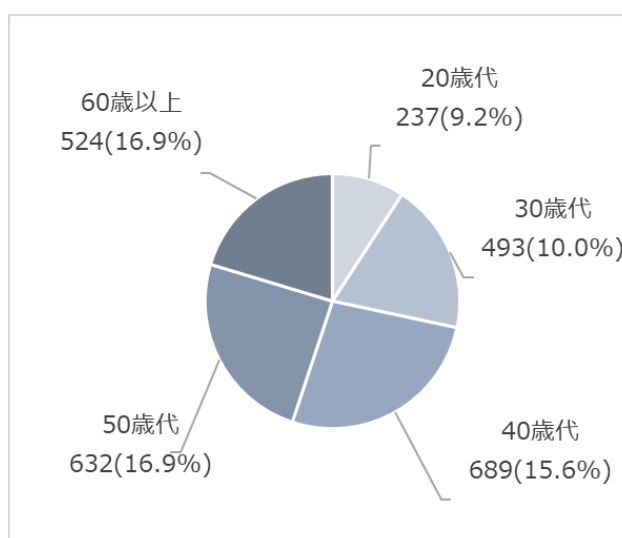


図 20 回答者の年代

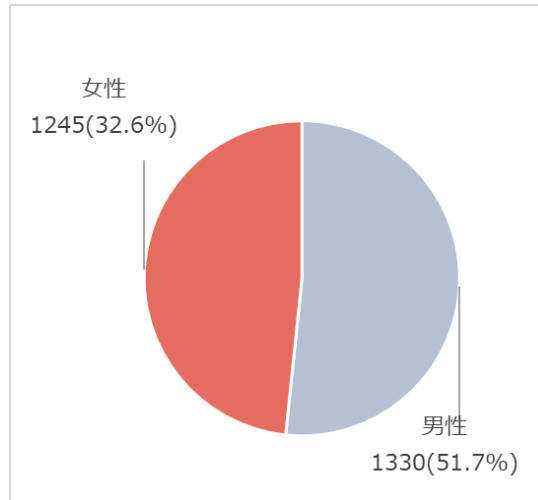


図 21 回答者の性別

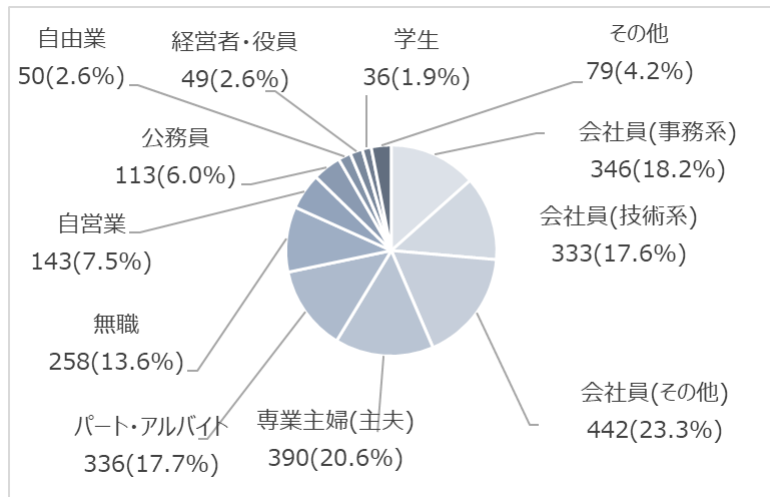


図 22 回答者の職業

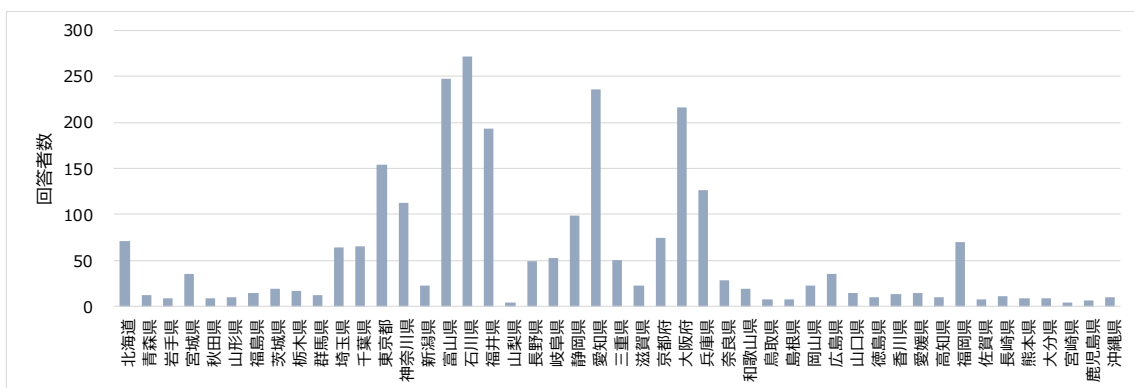


図 23 居住地(都道府県)ごとの回答者数

③ アンケート回答結果

Q1 昨年（2019年）までの、あなたの旅行頻度についてお尋ねします。以下に示す旅行目的ごとに、最も近いものを選択してください。

(n=2,575)

- 回答者のうち8割は定期的に国内旅行に行っていたと回答した。

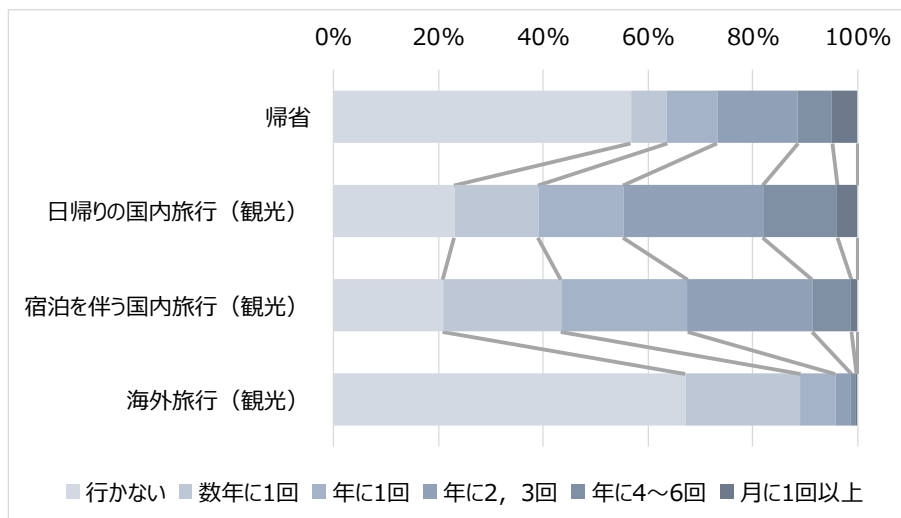


図 24 2019年以前の旅行頻度

表 7 2019年以前の旅行頻度（回答数・割合）

	行かない	数年に1回	年に1回	年に2, 3回	年に4~6回	月に1回以上
帰省	236 45.8%	31 6.0%	67 13.0%	95 18.4%	48 9.3%	38 7.4%
日帰りの国内旅行(観光)	40 7.8%	48 9.3%	76 14.8%	169 32.8%	139 27.0%	43 8.3%
宿泊を伴う国内旅行(観光)	30 5.8%	85 16.5%	136 26.4%	179 34.8%	69 13.4%	16 3.1%
海外旅行(観光)	278 54.0%	124 24.1%	69 13.4%	26 5.0%	14 2.7%	4 0.8%

Q2 かつやま恐竜の森には何回程度訪問したことがありますか。
 (訪問有りのみ・n=515)

- 来園回数は1回のみが最も多いが、半数以上は複数回かつやま恐竜の森を訪れている。

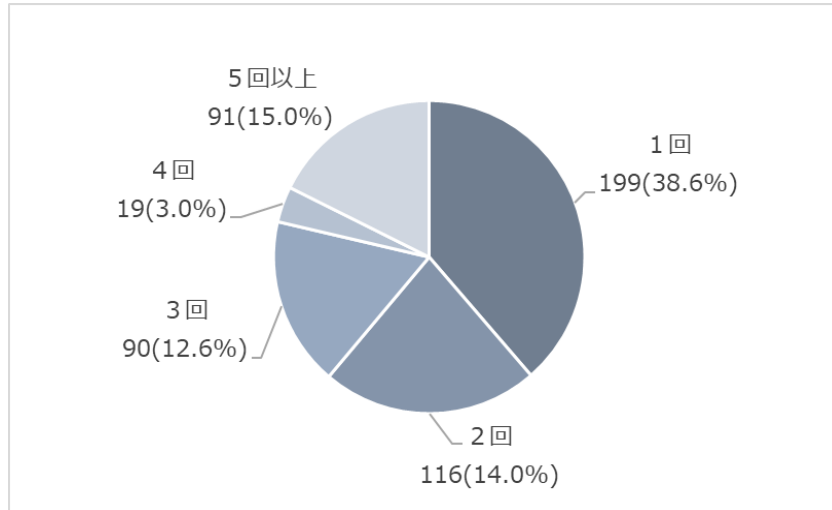


図 25 来園回数

Q3 かつやま恐竜の森を訪れた際、あなたの主な居住地はどちらでしたか。
 ※複数回訪問している場合は、直近訪問した際のことについてお答えください。
 (訪問有りのみ・n=515)

- 来園者の居住地は、北陸圏の3県が半数以上を占める一方で、首都圏などの遠方からの来園者が少ない。

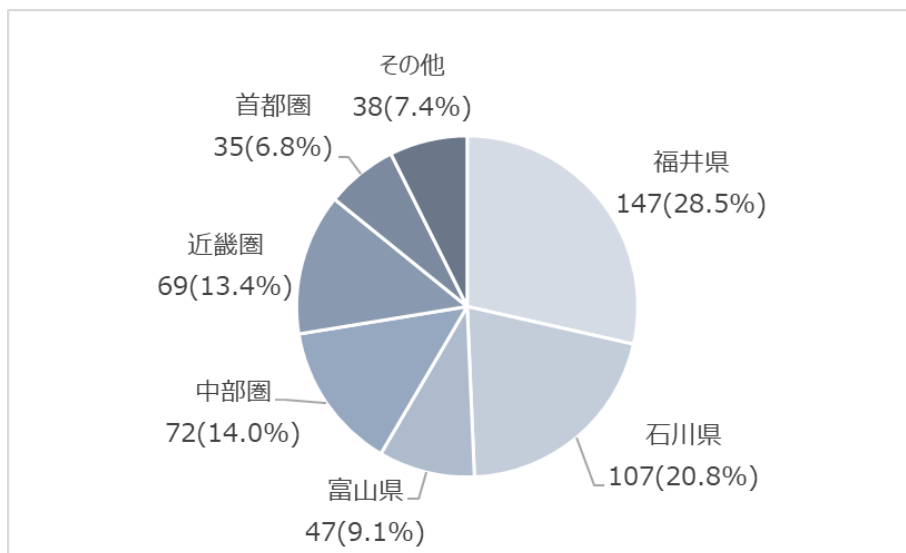


図 26 来園時点での居住地

Q4 直近の訪問では、誰と訪問しましたか。該当するものを全て選択してください。
 (複数回答)
 (訪問有りのみ・n=515)

- 来園の際の同行者は家族が多く、配偶者や子供との来園が半数以上を占める。

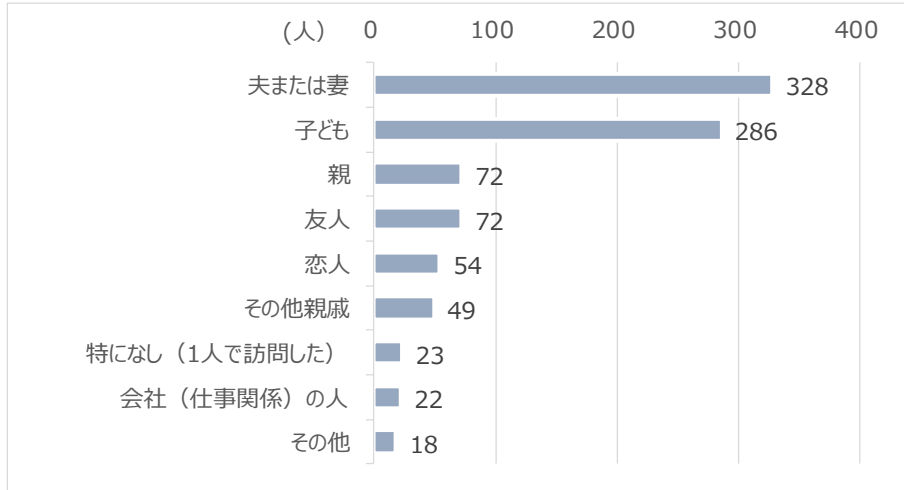


図 27 来園の際の同行者

Q5 直近の訪問では、何人で訪問しましたか。
 (訪問有りのみ・n=515)

- 2~4 人での来園が多く、これらで来園者のうちの 70%を占める。1 人や 6 人以上での来園は少ない。

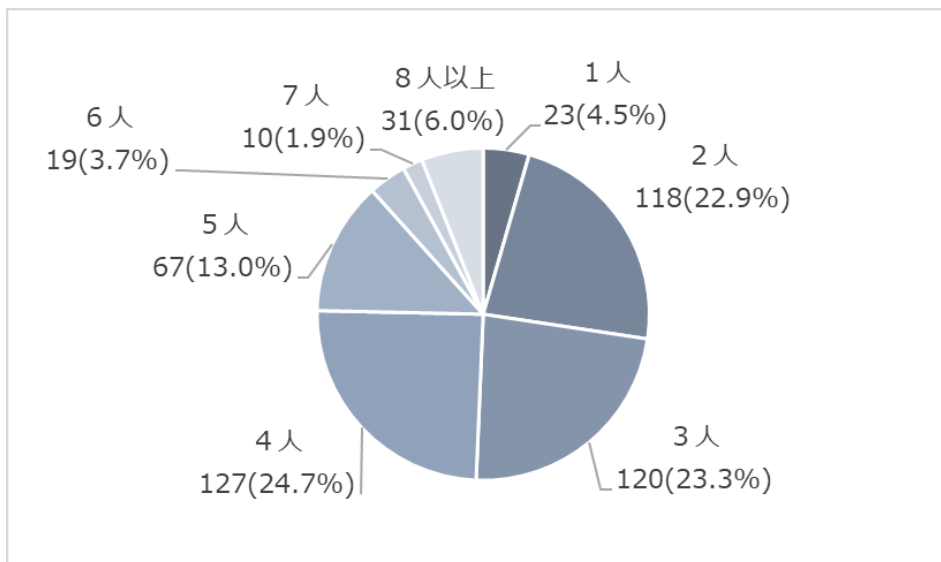


図 28 来園の際の同行人数 (本人を含む)

Q6 直近の訪問で利用した、公園（かつやま恐竜の森）に到着する際の最終交通手段を選択してください。
 （訪問有りのみ・n=515）

- 来園の際の最終交通手段は自家用車が 86%を占め、レンタカーを併せると約 9 割の来園者が車で来園している。新しい生活様式ではバスへの抵抗感が生まれているため、引き続き駐車需要への対応が求められる。

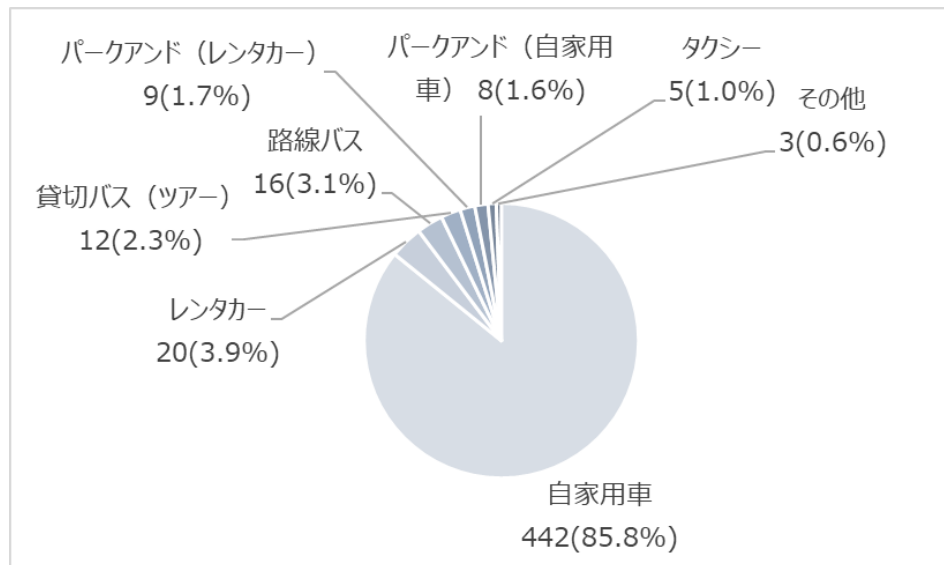


図 29 来園の際の最終交通手段

Q7 かつやま恐竜の森にある各施設をご存知ですか。該当するものを選択してください。

(訪問なしのみ・n=2,060)

- 来園したことがない回答者の中では福井県立恐竜博物館の知名度が最も高いものの、回答者の6割以上は知らないと回答した。

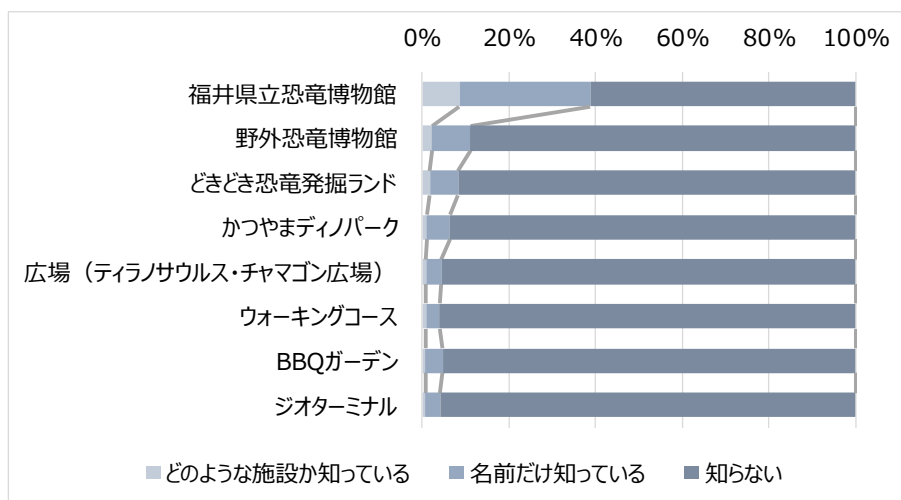


図 30 公園内各施設の知名度

表 8 公園内各施設の知名度 (回答数・割合)

施設名	どのような施設か知っている	名前だけ知っている	知らない
福井県立恐竜博物館	177 8.6%	622 30.2%	1261 61.2%
野外恐竜博物館	43 2.1%	186 9.0%	1831 88.9%
どきどき恐竜発掘ランド	34 1.7%	137 6.7%	1889 91.7%
かつやまディノパーク	19 0.9%	111 5.4%	1930 93.7%
BBQ ガーデン	14 0.7%	81 3.9%	1965 95.4%
広場(ティラノサウルス・チャマゴン広場)	18 0.9%	72 3.5%	1970 95.6%
ウォーキングコース	16 0.8%	66 3.2%	1978 96.0%
ジオターミナル	14 0.7%	71 3.4%	1975 95.9%

Q8 かつやま恐竜の森にある各施設の満足度を選択してください。利用していない場合は「利用していない」を選択してください。
(訪問有りのみ・n=515)

- 福井県立恐竜博物館はほとんどの来園者が訪れているのに対し、他の施設は50～70%の訪問率である。いずれの施設も「不満」の割合は小さいが、BBQガーデンについては「満足である」及び「やや満足である」の合計割合が他の施設に比べ小さい。

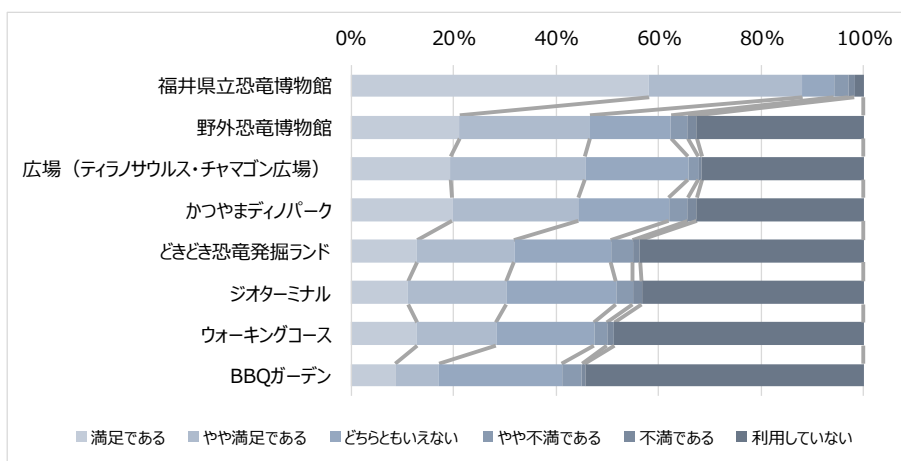


図 31 公園内各施設の満足度

表 9 公園内各施設の満足度 (回答数・割合)

	満足である	やや満足である	どちらともいえない	やや不満である	不満である	利用していない
福井県立恐竜博物館	299 58.1%	154 29.9%	32 6.2%	14 2.7%	7 1.4%	9 1.7%
野外恐竜博物館	109 21.2%	131 25.4%	81 15.7%	17 3.3%	9 1.7%	168 32.6%
広場 (ティラノサウルス・チャマゴン広場)	100 19.4%	135 26.2%	104 20.2%	10 1.9%	3 0.6%	163 31.7%
かつやまディノパーク	102 19.8%	127 24.7%	90 17.5%	19 3.7%	9 1.7%	168 32.6%
どきどき恐竜発掘ランド	66 12.8%	98 19.0%	97 18.8%	22 4.3%	7 1.4%	225 43.7%
ジオターミナル	57 11.1%	99 19.2%	110 21.4%	17 3.3%	9 1.7%	223 43.3%
ウォーキングコース	66 12.8%	80 15.5%	98 19.0%	13 2.5%	7 1.4%	251 48.7%
BBQ ガーデン	45 8.7%	43 8.3%	124 24.1%	20 3.9%	3 0.6%	280 54.4%

- 公園内の各機能についての満足度については、駐車スペースの過不足や交通状況の不満は比較的少ない。その一方で、売店施設や飲食施設は利用していない割合及び不満の割合が共に高い。

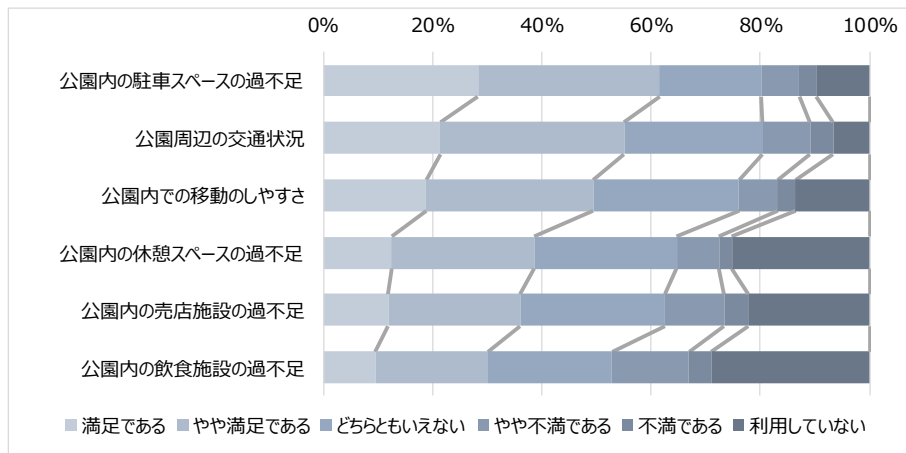


図 32 公園の各機能の満足度

表 10 公園の各機能の満足度（回答数・割合）

	満足である	やや満足である	どちらともいえない	やや不満である	不満である	利用していない
公園内の駐車スペース(スペースの過不足)	146 28.3%	171 33.2%	96 18.6%	36 7.0%	16 3.1%	50 9.7%
公園周辺の交通状況	110 21.4%	174 33.8%	130 25.2%	45 8.7%	22 4.3%	34 6.6%
公園内での移動のしやすさ	97 18.8%	158 30.7%	137 26.6%	36 7.0%	17 3.3%	70 13.6%
公園内の休憩スペースの過不足	64 12.4%	135 26.2%	134 26.0%	40 7.8%	12 2.3%	130 25.2%
公園内の売店施設の過不足	61 11.8%	125 24.3%	136 26.4%	56 10.9%	23 4.5%	114 22.1%
公園内の飲食施設(施設の過不足)	49 9.5%	106 20.6%	117 22.7%	73 14.2%	21 4.1%	149 28.9%

Q9 かつやま恐竜の森に、直近訪問した際の主要な宿泊地を選択してください。宿泊していない場合は「日帰り」を選択してください。
(訪問有りのみ・n=515)

- 日帰りでの来園が半数以上を占め、勝山市内で宿泊した来園者は約1割である。

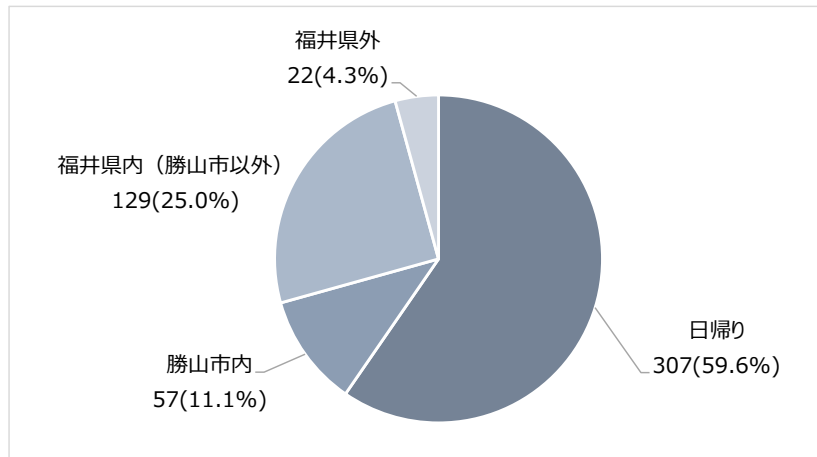


図 33 来園の際の宿泊地

Q10 以下のかつやま恐竜の森周辺の観光スポットに行ったことはありますか。当てはまるものを選択してください。「その他」には、ここには記載のない観光スポットでかつやま恐竜の森とセットで行った場所を記入してください。
(訪問有りのみ・n=515)

- いずれの施設もかつやま恐竜の森と同じ旅行で訪問した来園者は 2 割に満たない一方、別の旅行で訪問したとする回答者が比較的多い。

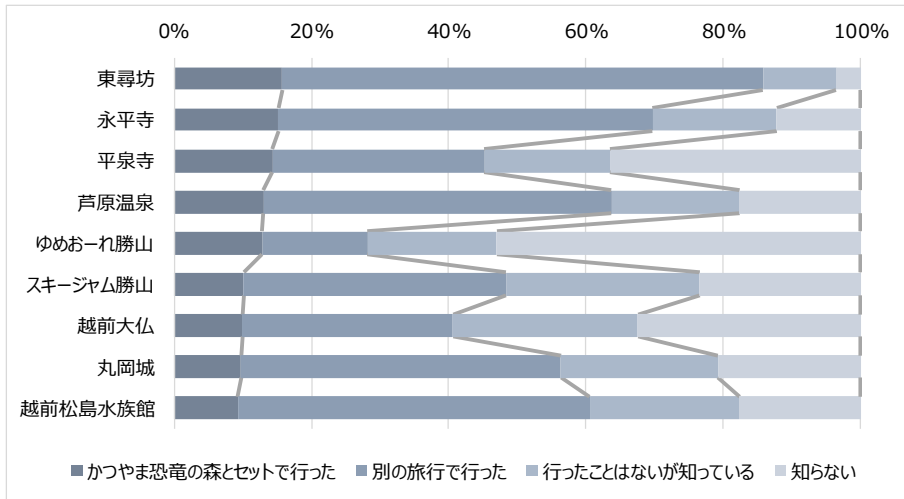


図 34 かつやま恐竜の森周辺の観光地の訪問有無

表 11 かつやま恐竜の森周辺の観光地の訪問有無 (回答数・割合)

	かつやま恐竜の森とセットで行った	別の旅行で行った	行ったことはないが知っている	知らない
ゆめおーれ勝山	66 12.8%	100 19.4%	97 18.8%	273 53.0%
平泉寺	74 14.4%	179 34.8%	94 18.3%	188 36.5%
スキージャム勝山	52 10.1%	208 40.4%	145 28.2%	121 23.5%
越前大仏	51 9.9%	170 33.0%	139 27.0%	167 32.4%
永平寺	78 15.1%	296 57.5%	93 18.1%	63 12.2%
丸岡城	50 9.7%	252 48.9%	118 22.9%	107 20.8%
芦原温泉	67 13.0%	272 52.8%	96 18.6%	91 17.7%
東尋坊	81 15.7%	380 73.8%	55 10.7%	18 3.5%
越前松島水族館	48 9.3%	274 53.2%	112 21.7%	91 17.7%

Q11 以下のインターネットコンテンツを見た・利用したことはありますか。当てはまるものを選択してください。

(n=2,575)

- かつやま恐竜の森 HP や福井県立恐竜博物館 HP については閲覧したと回答した割合が1割程度と他のコンテンツに比べ高いが、定期的に関覧していると回答した割合は小さい。各 SNS 上のコンテンツについては約9割が知らないと回答した。

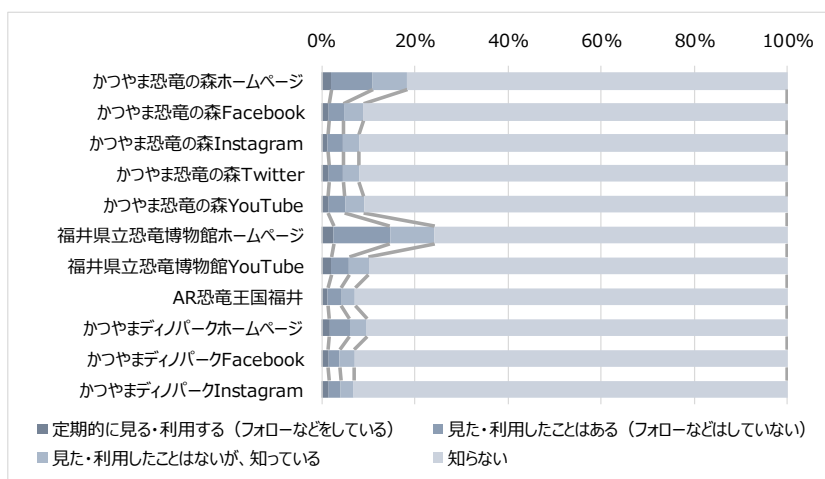


図 35 かつやま恐竜の森に関するインターネットコンテンツの利用割合

表 12 関係するインターネットコンテンツの利用割合 (回答数・割合)

	定期的に見る・利用する(フォローなどをしている)	見た・利用したことはある(フォローなどはしていない)	見た・利用したことはないが、知っている	知らない
かつやま恐竜の森ホームページ	54 2.1%	230 8.9%	189 7.3%	2102 81.6%
かつやま恐竜の森Facebook	40 1.6%	82 3.2%	109 4.2%	2344 91.0%
かつやま恐竜の森Instagram	35 1.4%	84 3.3%	90 3.5%	2366 91.9%
かつやま恐竜の森Twitter	41 1.6%	80 3.1%	86 3.3%	2368 92.0%
かつやま恐竜の森YouTube	39 1.5%	89 3.5%	105 4.1%	2342 91.0%
福井県立恐竜博物館ホームページ	66 2.6%	311 12.1%	246 9.6%	1952 75.8%
福井県立恐竜博物館YouTube	54 2.1%	98 3.8%	110 4.3%	2313 89.8%
AR 恐竜王国福井(アプリ)	33 1.3%	75 2.9%	78 3.0%	2389 92.8%
かつやまディノパークホームページ	43 1.7%	114 4.4%	93 3.6%	2325 90.3%
かつやまディノパークFacebook	36 1.4%	65 2.5%	81 3.1%	2393 92.9%
かつやまディノパークInstagram	42 1.6%	64 2.5%	73 2.8%	2396 93.0%

Q12 2022年度には北陸新幹線や中部縦貫自動車道の延伸が予定されているため、かつやま恐竜の森までのアクセスや福井県内の交通利便性が向上することが期待されており、合わせて福井県立恐竜博物館も増改築される予定となっています。

これらの施設の整備後、新型コロナウイルス感染症の状況が下記「【1】～【3】」の場合における、かつやま恐竜の森への訪問意向について、最も近いものを選択してください。

【1】 ワクチンや治療法などが開発され、以前のように安心していくことができる場合

【2】 現在のように手指消毒やソーシャルディスタンスの確保を徹底する必要がある場合

【3】 感染者数が増加し、都道府県をまたぐ移動の自粛要請が出ている場合
(n=2,575)

- 北陸圏では他の地域に比べて「日帰り旅行で行きたい」という回答が多く、【1】の場合では半数以上が「日帰りで行きたい」と回答した。一方、北陸圏以外の地域ではどの地域も「日帰り旅行で行きたい」に比べ「宿泊旅行で行きたい」の回答が多く、【1】の場合では40%が「宿泊旅行で行きたい」と回答した。
- 感染症に警戒が必要な状況であるほど「行きたい」の回答数は減少している一方で、「行かずにインターネットコンテンツを利用したい」と「行かない、インターネットコンテンツも利用しない」の双方が増加している。

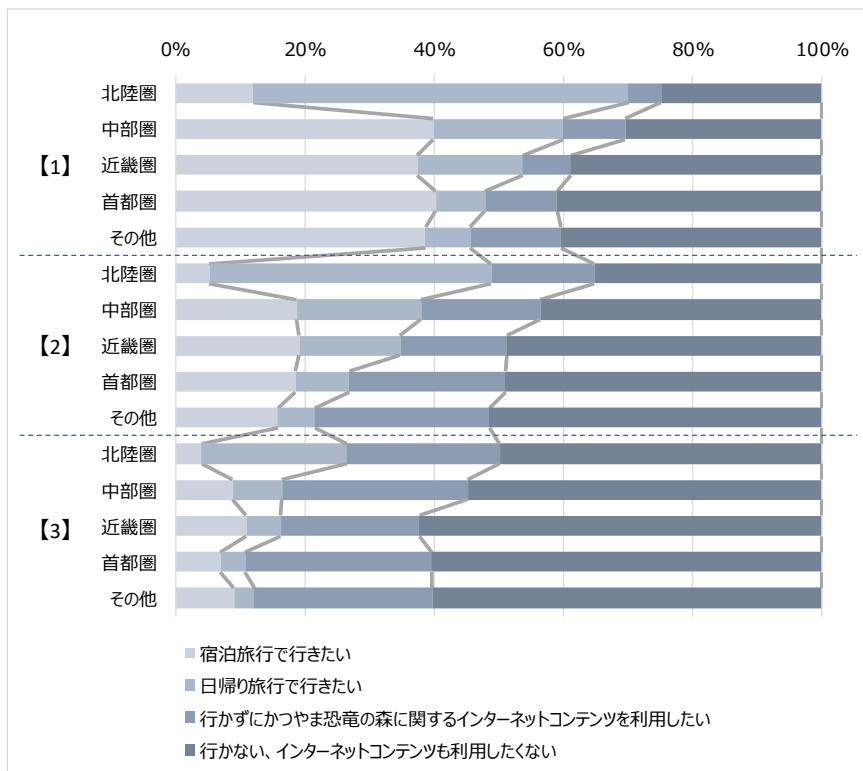


図 36 新型コロナウイルス感染症への警戒レベルごとの訪問意思の有無

表 13 感染症への警戒レベルごとの訪問意思の有無（回答数・割合）

		宿泊旅行で行きたい	日帰り旅行で行きたい	行かずにかつやま恐竜の森に関するインターネットコンテンツを利用したい	行かない、インターネットコンテンツも利用したくない	
【1】	北陸圏	85	414	36	177	
		11.9%	58.1%	5.1%	24.9%	
	中部圏	194	98	47	148	
		39.8%	20.1%	9.7%	30.4%	
	近畿圏	182	79	36	189	
		37.4%	16.3%	7.4%	38.9%	
	首都圏	180	34	50	183	
		40.3%	7.6%	11.2%	40.9%	
	その他	171	31	62	179	
		38.6%	7.0%	14.0%	40.4%	
	【2】	北陸圏	37	311	114	250
			5.2%	43.7%	16.0%	35.1%
中部圏		91	94	90	212	
		18.7%	19.3%	18.5%	43.5%	
近畿圏		93	76	80	237	
		19.1%	15.6%	16.5%	48.8%	
首都圏		83	37	108	219	
		18.6%	8.3%	24.2%	49.0%	
その他		70	25	120	228	
		15.8%	5.6%	27.1%	51.5%	
【3】		北陸圏	28	160	169	355
			3.9%	22.5%	23.7%	49.9%
	中部圏	43	37	140	267	
		8.8%	7.6%	28.7%	54.8%	
	近畿圏	53	26	104	303	
		10.9%	5.3%	21.4%	62.3%	
	首都圏	31	17	129	270	
		6.9%	3.8%	28.9%	60.4%	
	その他	40	14	122	267	
		9.0%	3.2%	27.5%	60.3%	

Q13 2022年度以降にかつやま恐竜の森を訪問する時には、どの交通手段を利用しますか。最も利用する可能性のある、公園（かつやま恐竜の森）に到着する際の最終交通手段を選択してください。

（Q12で1つ以上「宿泊旅行で行きたい」若しくは「日帰り旅行で行きたい」と回答した、訪問意向がある回答者、n=1,494）

- 将来の交通手段利用意向は、現在利用されている交通手段（Q6）に比べて自家用車の割合が小さく、レンタカーや路線バスの割合が大きい。

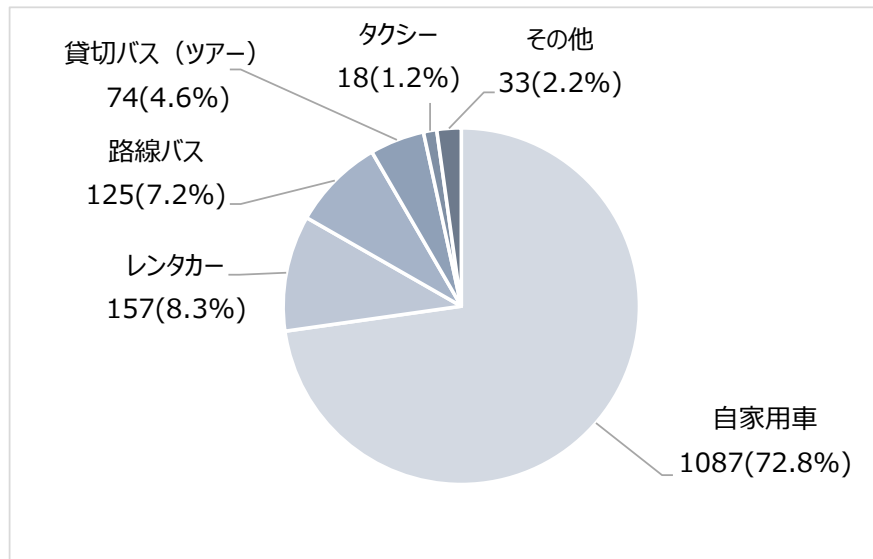


図 37 将来訪問する際の最終交通手段

- 回答者の居住地別に見ると、北陸圏で自家用車の割合が最も高く、中部圏、近畿圏、首都圏、その他の順に、レンタカー等の自家用車以外の割合が大きくなる。

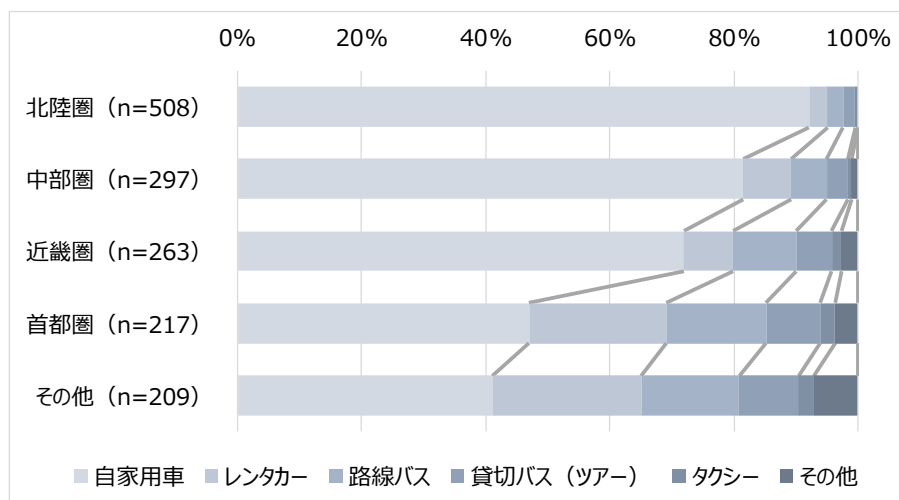


図 38 将来訪問する際の最終交通手段 (居住地別)

表 14 将来訪問する際の最終交通手段 (回答数・割合)

	自家用車	レンタカー	路線バス	貸切バス (ツアー)	タクシー	その他
北陸圏 (n=508)	468 92.1%	15 3.0%	13 2.6%	10 2.0%	2 0.4%	0 0.0%
中部圏 (n=297)	242 81.5%	23 7.7%	17 5.7%	10 3.4%	2 0.7%	3 1.0%
近畿圏 (n=263)	189 71.9%	21 8.0%	27 10.3%	15 5.7%	4 1.5%	7 2.7%
首都圏 (n=217)	102 47.0%	48 22.1%	35 16.1%	19 8.8%	5 2.3%	8 3.7%
その他 (n=209)	86 41.1%	50 23.9%	33 15.8%	20 9.6%	5 2.4%	15 7.2%

Q14 以下の施設やアクティビティを利用したことがありますか。当てはまるものを選択してください。
(n=2,575)

- 「宿泊だけを目的としたホテル」を除いた施設やアクティビティ（再整備案）について、かつやま恐竜の森への訪問経験がある回答者群の方が訪問経験のない回答者群に比べ、各再整備案を利用したことがある割合が高い。
- 知らない回答者が4割以下の再整備案はホテルの他、「自然の中で手軽にキャンプ形式の宿泊ができるグランピング」、「自然の中で、木の上をロープを伝って遊ぶアウトドアパーク」である。

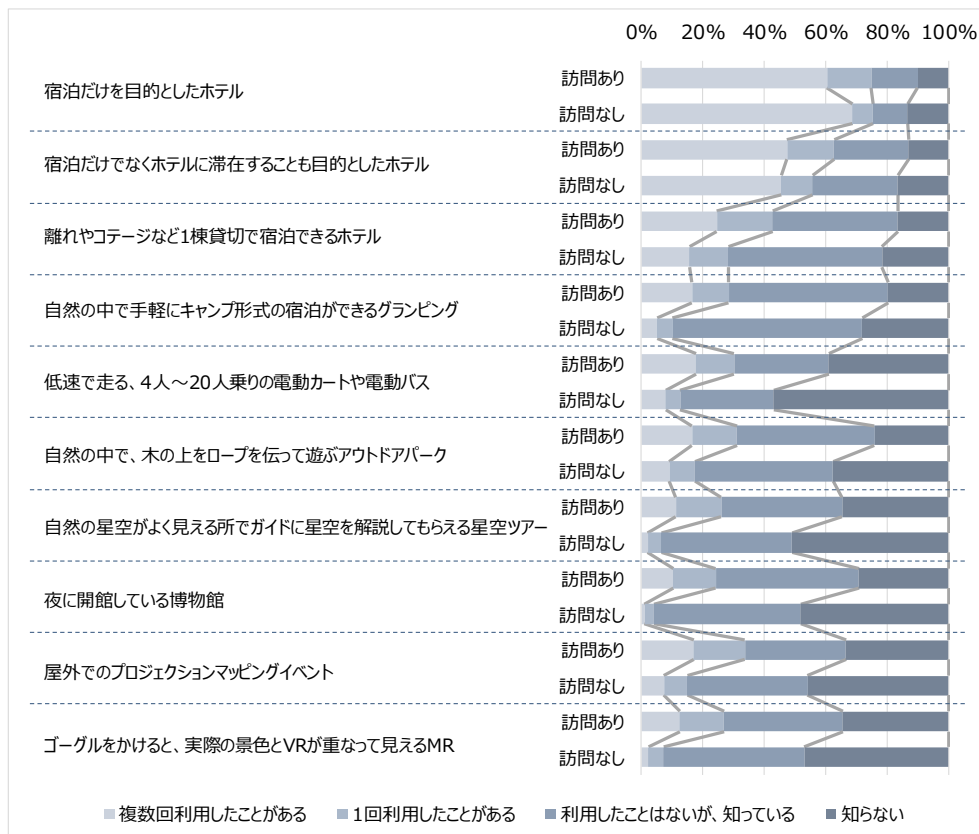


図 39 再整備案の利用経験割合

表 15 再整備案の利用経験割合（回答数・割合）

		複数回利用 したことがあ る	1 回利用した ことがある	利用したこと はないが、知 っている	知らない
宿泊だけを目的としたホ テル	訪問あり	311 60.4%	74 14.4%	78 15.1%	52 10.1%
	訪問なし	1415 68.7%	136 6.6%	234 11.4%	275 13.3%
宿泊だけでなくホテルに 滞在することも目的とし たホテル	訪問あり	244 47.4%	79 15.3%	125 24.3%	67 13.0%
	訪問なし	938 45.5%	210 10.2%	569 27.6%	343 16.7%
離れやコテージなど 1 棟貸切で宿泊できるホ テル	訪問あり	126 24.5%	94 18.3%	210 40.8%	85 16.5%
	訪問なし	321 15.6%	262 12.7%	1032 50.1%	445 21.6%
自然の中で手軽にキャン プ形式の宿泊がで きるグランピング	訪問あり	85 16.5%	61 11.8%	267 51.8%	102 19.8%
	訪問なし	104 5.0%	103 5.0%	1272 61.7%	581 28.2%
低速で走る、4 人～20 人乗りの電動カートや 電動バス	訪問あり	91 17.7%	64 12.4%	159 30.9%	201 39.0%
	訪問なし	163 7.9%	96 4.7%	626 30.4%	1175 57.0%
自然の中で、木の上を ロープを伝って遊ぶア ウトドアパーク	訪問あり	85 16.5%	75 14.6%	231 44.9%	124 24.1%
	訪問なし	188 9.1%	168 8.2%	928 45.0%	776 37.7%
自然の星空がよく見え る所でガイドに星空を解 説してもらえる星空ツア ー	訪問あり	58 11.3%	76 14.8%	202 39.2%	179 34.8%
	訪問なし	43 2.1%	90 4.4%	875 42.5%	1052 51.1%
夜に開館している博物 館	訪問あり	53 10.3%	72 14.0%	239 46.4%	151 29.3%
	訪問なし	21 1.0%	62 3.0%	983 47.7%	994 48.3%
屋外でのプロジェクショ ンマッピングイベント	訪問あり	87 16.9%	86 16.7%	170 33.0%	172 33.4%
	訪問なし	149 7.2%	159 7.7%	807 39.2%	945 45.9%
ゴーグルをかけると、実 際の景色と VR が重な って見える MR	訪問あり	64 12.4%	74 14.4%	199 38.6%	178 34.6%
	訪問なし	47 2.3%	100 4.9%	946 45.9%	967 46.9%

Q15 かつやま恐竜の森に、以下の施設やアクティビティが整備された場合、利用したいと思いますか。当てはまるものを選択してください。「その他」には、かつやま恐竜の森にあれば利用したいと思う施設を記入してください。
(n=2,575)

- どの再整備案についても、訪問経験がある回答者のうち半分以上が「利用したい」若しくは「まあ利用したい」と回答した。「低速で走る、4人～20人乗りの電動カートや電動バス」を除いた再整備案について、訪問経験はないが訪問意向がある回答者のうち半分以上が「利用したい」若しくは「まあ利用したい」と回答した。
- 訪問経験がある回答者と、訪問経験はないが訪問意向がある回答者の双方の60%以上が「利用したい」若しくは「まあ利用したい」と回答した再整備案は、「離れやコテージなど1棟貸切で宿泊できるホテル」、「自然の星空がよく見える所でガイドに星空を解説してもらえる星空ツアー」、「夜に開館している博物館」である。

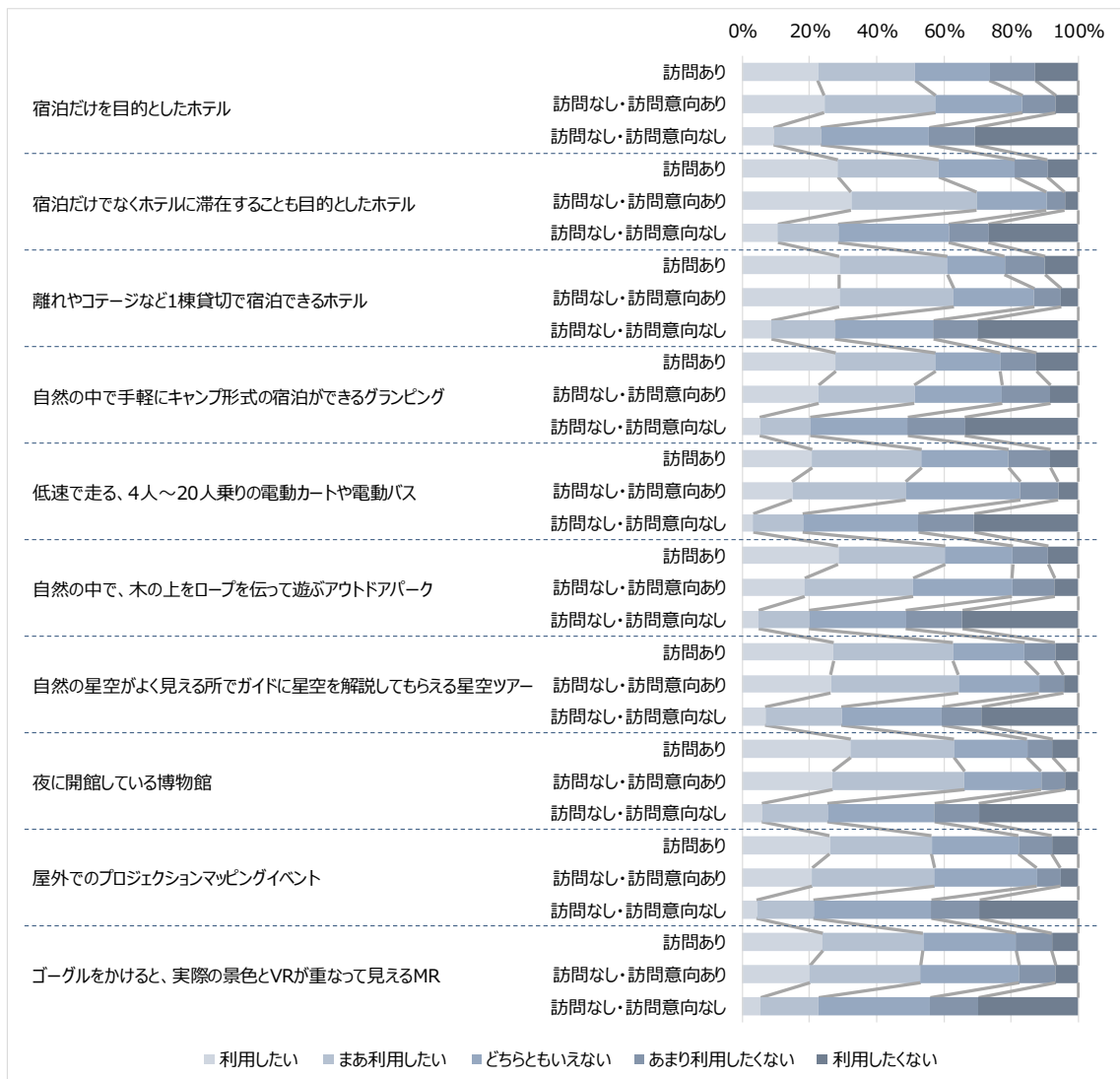


図 40 再整備案の利用意向割合

表 16 再整備案の利用意向割合（回答数・割合）

		利用した い	まあ利用 したい	どちらとも いえない	あまり利 用したくない	利用したく ない
宿泊だけを目的とした ホテル	訪問あり	116	149	114	70	66
		22.5%	28.9%	22.1%	13.6%	12.8%
	訪問なし・訪問 意向あり	252	339	267	103	68
		24.5%	32.9%	25.9%	10.0%	6.6%
訪問なし・訪問 意向なし	97	144	332	142	316	
	9.4%	14.0%	32.2%	13.8%	30.6%	
宿泊だけでなくホテル に滞在することも目的 としたホテル	訪問あり	146	155	117	50	47
		28.3%	30.1%	22.7%	9.7%	9.1%
	訪問なし・訪問 意向あり	333	386	213	57	40
		32.4%	37.5%	20.7%	5.5%	3.9%
訪問なし・訪問 意向なし	108	187	339	122	275	
	10.5%	18.1%	32.9%	11.8%	26.7%	
離れやコテージなど 1 棟貸切で宿泊できるホ テル	訪問あり	149	165	88	62	51
		28.9%	32.0%	17.1%	12.0%	9.9%
	訪問なし・訪問 意向あり	298	349	248	82	52
		29.0%	33.9%	24.1%	8.0%	5.1%
訪問なし・訪問 意向なし	89	195	303	136	308	
	8.6%	18.9%	29.4%	13.2%	29.9%	
自然の中で手軽にキャン プ形式の宿泊ができる グランピング	訪問あり	143	153	100	55	64
		27.8%	29.7%	19.4%	10.7%	12.4%
	訪問なし・訪問 意向あり	233	294	269	147	86
		22.6%	28.6%	26.1%	14.3%	8.4%
訪問なし・訪問 意向なし	54	155	298	176	348	
	5.2%	15.0%	28.9%	17.1%	33.8%	
低速で走る、4 人～20 人乗りの電動カートや 電動バス	訪問あり	107	168	133	64	43
		20.8%	32.6%	25.8%	12.4%	8.3%
	訪問なし・訪問 意向あり	153	348	350	118	60
		14.9%	33.8%	34.0%	11.5%	5.8%
訪問なし・訪問 意向なし	33	153	354	171	320	
	3.2%	14.8%	34.3%	16.6%	31.0%	
自然の中で、木の上を ロープを伝って遊ぶア ウトドアパーク	訪問あり	147	164	104	54	46
		28.5%	31.8%	20.2%	10.5%	8.9%
	訪問なし・訪問 意向あり	191	332	304	130	72
		18.6%	32.3%	29.5%	12.6%	7.0%
訪問なし・訪問 意向なし	49	157	297	173	355	
	4.8%	15.2%	28.8%	16.8%	34.4%	
自然の星空がよく見え る所でガイドに星空を 解説してもらえる星空 ツアー	訪問あり	140	183	110	47	35
		27.2%	35.5%	21.4%	9.1%	6.8%
	訪問なし・訪問 意向あり	271	391	248	75	44
		26.3%	38.0%	24.1%	7.3%	4.3%
訪問なし・訪問 意向なし	71	234	308	122	296	
	6.9%	22.7%	29.9%	11.8%	28.7%	
夜に開館している博物 館	訪問あり	166	159	112	39	39
		32.2%	30.9%	21.7%	7.6%	7.6%
	訪問なし・訪問 意向あり	276	404	236	74	39
		26.8%	39.3%	22.9%	7.2%	3.8%
訪問なし・訪問 意向なし	60	201	329	137	304	
	5.8%	19.5%	31.9%	13.3%	29.5%	

		利用したい	まあ利用したい	どちらとも いえない	あまり利用したくない	利用したくない
屋外でのプロジェクションマッピングイベント	訪問あり	134	156	134	51	40
		26.0%	30.3%	26.0%	9.9%	7.8%
	訪問なし・訪問意向あり	213	375	315	72	54
		20.7%	36.4%	30.6%	7.0%	5.2%
訪問なし・訪問意向なし	44	174	361	149	303	
	4.3%	16.9%	35.0%	14.5%	29.4%	
Google をかけると、実際の景色と VR が重なって見える MR	訪問あり	123	154	143	55	40
		23.9%	29.9%	27.8%	10.7%	7.8%
	訪問なし・訪問意向あり	206	340	303	111	69
		20.0%	33.0%	29.4%	10.8%	6.7%
訪問なし・訪問意向なし	56	177	343	149	306	
	5.4%	17.2%	33.3%	14.5%	29.7%	

Q16 屋内施設では以下の対策が重要だと思いますか。当てはまるものを選択してください。「その他」には、ここに記載がないが重要だと思うものがあれば記載してください。(n=2,575)

- マスク着用や消毒といった、多くの施設で既に行われている対策が重要視される傾向にある。「利用者数の制限」や「利用時間帯の事前予約」についても「重要である」と「まあ重要である」を合わせると70~80%を占める一方で、先端技術を活用したものは重要であるとする回答が比較的少ない。

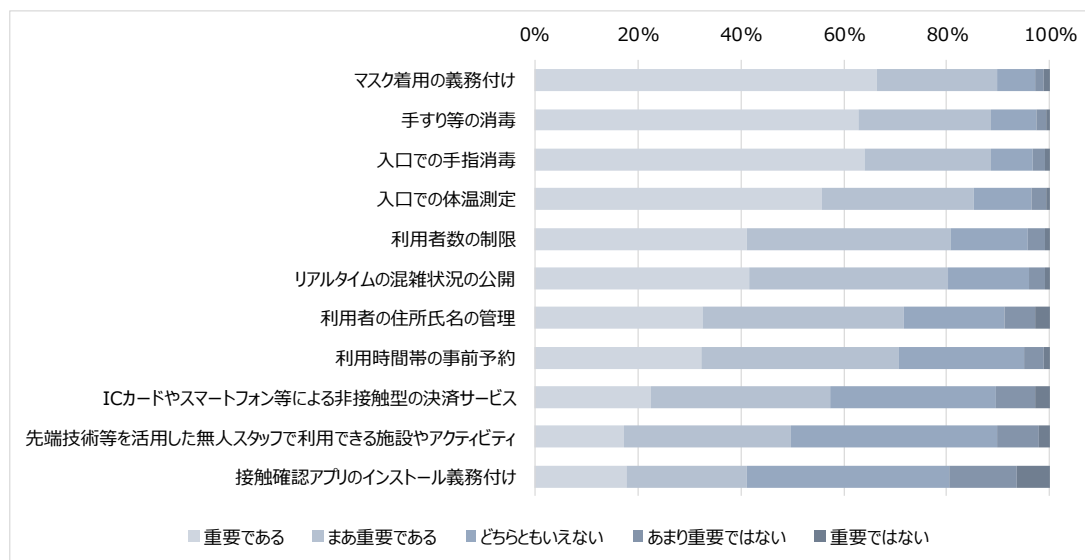


図 41 屋内施設での感染対策の重要度

表 17 屋内施設での感染対策の重要度（回答数・割合）

	重要である	まあ重要である	どちらともいえない	あまり重要ではない	重要ではない
マスク着用の義務付け	1709	605	189	42	30
	73.9%	26.1%	8.2%	1.8%	1.3%
手すり等の消毒	1616	666	227	46	20
	70.8%	29.2%	9.9%	2.0%	0.9%
入口での手指消毒	1652	628	211	57	27
	72.5%	27.5%	9.3%	2.5%	1.2%
入口での体温測定	1432	764	287	71	21
	65.2%	34.8%	13.1%	3.2%	1.0%
利用者数の制限	1060	1018	389	81	27
	51.0%	49.0%	18.7%	3.9%	1.3%
リアルタイムの混雑状況の公開	1073	993	406	79	24
	51.9%	48.1%	19.7%	3.8%	1.2%
利用者の住所氏名の管理	841	1006	499	154	75
	45.5%	54.5%	27.0%	8.3%	4.1%
利用時間帯の事前予約	831	992	625	99	28
	45.6%	54.4%	34.3%	5.4%	1.5%
ICカードやスマートフォン等による非接触型の決済サービス	583	893	831	197	71
	39.5%	60.5%	56.3%	13.3%	4.8%
先端技術等を活用した無人スタッフで利用できる施設やアクティビティ	448	831	1034	205	57
	35.0%	65.0%	80.8%	16.0%	4.5%
接触確認アプリのインストール義務付け	462	596	1017	336	164
	43.7%	56.3%	96.1%	31.8%	15.5%

Q17 屋外施設では以下の感染対策が重要だと思いますか。当てはまるものを選択してください。「その他」には、ここに記載がないが重要だと思うものがあれば記載してください。(n=2,575)

- 各項目について屋内施設に比べわずかに「重要である」と「まあ重要である」を合わせた割合が小さいが、上位4項目についてはいずれも80%を超えている。

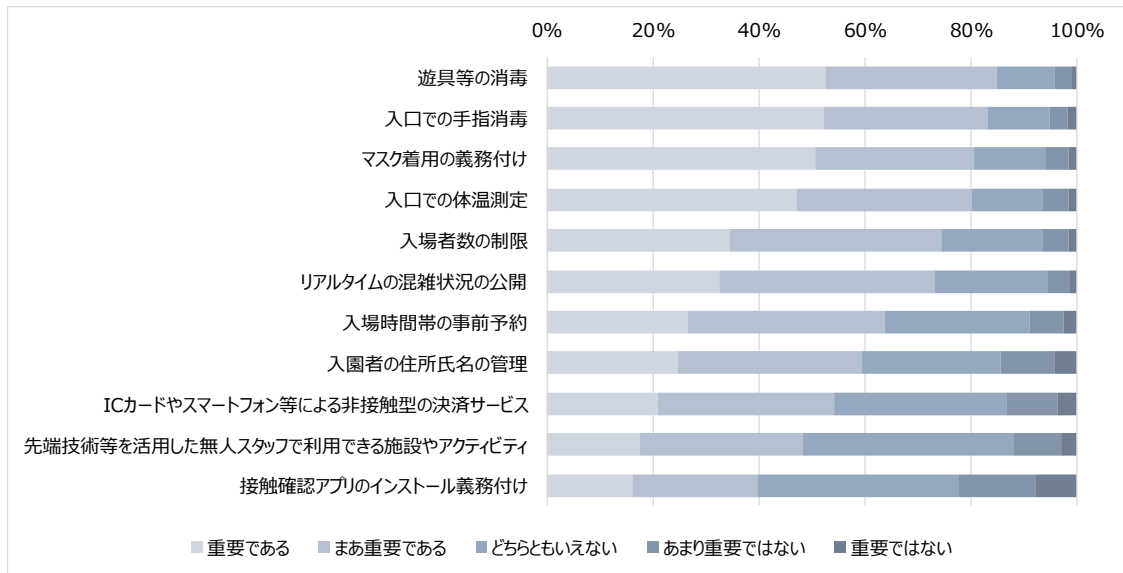


図 42 屋外施設での感染対策の重要度

表 18 屋外施設での感染対策の重要度（回答数・割合）

	重要である	まあ重要である	どちらともいえない	あまり重要ではない	重要ではない
遊具等の消毒	1355	832	284	79	25
	62.0%	38.0%	13.0%	3.6%	1.1%
入口での手指消毒	1347	801	296	90	41
	62.7%	37.3%	13.8%	4.2%	1.9%
マスク着用の義務付け	1308	767	351	112	37
	63.0%	37.0%	16.9%	5.4%	1.8%
入口での体温測定	1215	850	344	126	40
	58.8%	41.2%	16.7%	6.1%	1.9%
入場者数の制限	886	1030	490	130	39
	46.2%	53.8%	25.6%	6.8%	2.0%
リアルタイムの混雑状況の公開	838	1050	545	112	30
	44.4%	55.6%	28.9%	5.9%	1.6%
入場時間帯の事前予約	688	956	706	163	62
	41.8%	58.2%	42.9%	9.9%	3.8%
入園者の住所氏名の管理	635	894	678	263	105
	41.5%	58.5%	44.3%	17.2%	6.9%
ICカードやスマートフォン等による非接触型の決済サービス	539	860	836	250	90
	38.5%	61.5%	59.8%	17.9%	6.4%
先端技術等を活用した無人スタッフで利用できる施設やアクティビティ	453	792	1024	229	77
	36.4%	63.6%	82.2%	18.4%	6.2%
接触確認アプリのインストール義務付け	415	608	979	375	198
	40.6%	59.4%	95.7%	36.7%	19.4%

④ 考察

a. 着目すべき客層

- 現在の来園者の客層は、家族、特に子供連れが多い。恐竜博物館やディノパークの他、広場（ティラノサウルス・チャマゴン広場）の満足度が比較的高く、子供が遊べる空間が重要であると考えられる。再整備計画の策定に当たっては、子供の目線を重視する必要がある。
- 現在の来園者はリピーターが多いことが特徴と言える。引き続きリピーターが訪れる公園とするため、新しいコンテンツを提供し続けることや、創造的な活動ができる場を提供することが考えられる。
- 人数としては2～4人での来園が多いため、宿泊施設の整備を行う場合は、4人程度の家族が宿泊しやすい施設とする必要がある。
- 現在十分に取り込めていない客層として、遠隔地、特に首都圏からの来園者が挙げられる。かつやま恐竜の森で最も知名度の高い福井県立恐竜博物館であっても認知割合は4割にとどまっているため、北陸新幹線延伸に合わせ効果的なPR手法を検討する必要がある。

b. 渋滞対策（ピーク平準化）

- 自家用車とレンタカーを合わせると約9割の来園者が車で来園しており、今後の交通手段利用意向についても車の利用割合が高く、引き続き駐車場需要に注意を払う必要がある。その一方、首都圏などの遠隔地からの来園者は自家用車の利用意向が少ないため、北陸新幹線延伸後は福井駅からのシームレスな移動手段を提供する必要がある。
- 駐車場過不足や公園周辺の道路状況に関する満足度は比較的高い。この要因としては、渋滞が一年のうちの限られた期間に発生していることや、多少の渋滞は許容されていることが考えられる。
- 来園者の行動については、周辺観光地を共に訪問した来園者や勝山市で宿泊した来園者は2割に満たない。かつやま恐竜の森周辺の観光形態はかつやま恐竜の森への一極集中型と言えるため、来園者の目的地を分散させることによりピークを平準化する余地がある。

c. 新しい生活様式への対応

- 「ワクチンや治療法などが開発され、以前のように安心していくことができる場合」は現在の状況に比べて、宿泊旅行で行きたいとする回答者数が約2倍である。現在の状況ではまだ宿泊旅行に抵抗があると言えるため、宿泊施設を整備するに当たっては感染症への不安を与えないという「魅力」を付与する必要がある。
- 現在かつやま恐竜の森に関連するインターネットコンテンツは知名度が余り高くないが、新型コロナウイルス感染症への警戒レベルが高いほどインターネットコンテンツの利用意向が増加する。新型コロナウイルス感染症の今後の状況が不透明であることを考えると、再整備計画の策定に当たってはインターネットコンテンツの強化を並行して行う必要がある。

- 感染拡大対策については、マスク着用や消毒といった一般的な対策が重要視されているため、施設はこれらの対策を着実に行う必要がある。各感染対策の重要度について、屋内施設と屋外施設との差異は小さいため、屋外施設においても十分に感染対策を講じる必要がある。

d. 施設に求められる機能

- 売店施設や飲食施設の利用率及び満足度が比較的低い。繁忙期において飲食施設が不足していると考えられるため、来園者の変動に柔軟に対応できるよう、公園内の施設整備や公園外の飲食店との連携を検討する必要がある。
- アンケートで提示した10の再整備案のうち「宿泊だけを目的としたホテル」を除いた9の再整備案について、利用経験のある割合が来園者は非来園者に比べ大きかったため、これらの再整備案の客層は現在の来園者の客層と近いと考えられる。
- 「離れやコテージなど1棟貸切で宿泊できるホテル」、「自然の星空がよく見える所でガイドに星空を解説してもらえる星空ツアー」、「夜に開館している博物館」の利用意向が比較的高い。これらはいずれも夜に楽しむことができる要素であり、滞在型の観光を目指すに当たっては「泊まることによる付加価値」を提供する必要がある。

(2) 公園再整備・運営方針案の検討

1) 参考事例調査

① 事例調査の概要

a. 調査目的

- アンケート調査の結果を踏まえ、かつやま恐竜の森の再整備・運営方針案の候補となる施設やアクティビティの事例を調査し、参考となる要素を抽出する。

b. 調査対象

- 現況調査・利用者マーケティング調査より、公園再整備に当たっては家族連れが宿泊でき、夜間も楽しめる機能が求められていると言える。
- 宿泊施設については、当公園に福井県立恐竜博物館が位置していること、新しい生活様式において屋外の施設がより密を避けることが可能であることから、以下の施設を対象に事例調査を行った。
 - ✓ 博物館やテーマパークに隣接するホテル
 - ✓ アウトドアパーク併設の宿泊施設
 - ✓ グランピング系施設（テント型の宿泊形態でありながら、食事等のサービスがついた宿泊施設）
- アクティビティについては、かつやま恐竜の森の豊かな自然を活かすこと、夜の集客に寄与するコンテンツを整備する必要があることから、以下のコンテンツを対象に事例調査を行った。
 - ✓ アウトドアパーク
 - ✓ 星空ツアー
 - ✓ ナイトミュージアム
 - ✓ プロジェクションマッピング
- 上記の機能を整備するに当たり、当公園内での移動に課題が生じることが想定される。公園外の観光施設との連携も見据え、公園内外での移動手段確保という観点からグリーンスローモビリティの事例を併せて調査する。

② 事例調査結果

a. 博物館やテーマパークに隣接する宿泊施設

名称	奥出雲多根自然博物館
写真	
施設の概要	<p>出所) 奥出雲多根自然博物館 HP http://tanemuseum.jp/ 2020年10月21日閲覧</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ホテルと博物館が1つになった全国でも珍しい施設。 ・宿泊者に限って19:30~21:00で夜の博物館を見学することができる。
施設の規模	<p>2019年度は4~11月で宿泊客を含み約1万2600人が利用。 客室数：全19室；客室定員：51名</p>
住所・アクセス	<p>〒699-1434 島根県仁多郡奥出雲町佐白236-1 車：高野ICより40分、三刀屋木次ICより20分</p>

出所) 奥出雲多根自然博物館 HP <http://tanemuseum.jp/> 2020年10月21日閲覧
 日経新聞「奥出雲の「泊まれる博物館」、恐竜を前面に来館好調」
<https://www.nikkei.com/article/DGXMZO54949730Y0A120C2962M00/> 2020年10月21日閲覧

名称	変なホテル ラグーナテンボス
写真	 <p>出所) 変なホテル ラグーナテンボス HP https://www.hennahotel.com/lagunatenbosch/news/158/ 2021年2月25日閲覧 https://www.hennahotel.com/lagunatenbosch/news/date/2019/04/ 2021年2月25日閲覧</p>
施設の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・東海地区で初、世界最先端のロボットが働くホテル。フロントでは多言語対応のロボットたちがチェックイン・チェックアウトの手続きを行う。 ・テーマパークエリア ラグナシアに直結(アートシアターの目の前)。ラグナシア入園券付宿泊プランがあり、宿泊者専用ゲートから園内に入れる。宿泊当日は再入場可。
オープン	2017年8月
施設の規模	年間稼働率 61% (インバウンド稼働率 28%、一般稼働率 33% 客室数：全 100 室; 客室定員：310 名
住所・アクセス	〒443-0014 愛知県蒲郡市海陽町 1-4-1 車：JR 蒲郡駅より 15 分、中部国際空港より 95 分

出所) 変なホテル ラグーナテンボス HP <https://www.hennahotel.com/lagunatenbosch> 2021年2月25日閲覧

日本旅行 変なホテル ラグーナテンボス/ 施設情報

<https://www.nta.co.jp/yado/shisetsu/5414-303.htm> 2021年2月25日閲覧

観光庁 特定宿泊利用者シート <https://www.mlit.go.jp/kankocho/content/001385257.pdf> 2021年2月25日閲覧

名称	レゴランド・ジャパン・ホテル
写真	 <p>出所) レゴランド・ジャパン・ホテル HP https://www.legoland.jp/hotel/ 2021年2月25日閲覧</p>
施設の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・パークエントランスのすぐそばにあり、レゴブロックの世界観を存分に楽しめる遊び心満点のホテル。外観から客室、ロビーやエレベーターなどの共有スペースに至るまで様々な仕掛けが用意されている。 ・レゴランド®・ジャパンとシーライフ名古屋のチケットが2日間付いたパックや年間パス取得者割引などもある。
オープン	2018年4月
施設の規模	客室数：全 252 室
住所・アクセス	〒455-8605 愛知県名古屋市港区金城ふ頭 2-7-1 車：名港中央 IC すぐ

出所) レゴランド・ジャパン・ホテル HP <https://www.legoland.jp/hotel/> 2021年2月25日閲覧

HIS 旅プロ HP <https://www.his-vacation.com/theme/legoland/> 2021年2月25日閲覧

日本旅行 レゴランド®ジャパン・ホテル/ 施設情報

<http://www.nta.co.jp/yado/shisetsu/5456-301.htm> 2021年2月25日閲覧


b. アウトドアパーク併設の宿泊施設

名称	ネスタリゾート神戸
写真	 <p>出所) ネスタリゾート神戸ロイヤルスイート HP https://nesta.co.jp/glamping/royal-suite/c https://nesta.co.jp/glamping/royal-suite/a 2020年10月21日閲覧</p>
施設の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・日本初の大自然の冒険テーマパーク内に位置する宿泊施設。 ・約230万m²にもおよぶ広大な敷地に1Dayパスで楽しめる30以上のアクティビティを始め、グランピングや大自然に囲まれた天然温泉など全部で60以上の施設を完備。
オープン	1967年7月
施設の規模	ロイヤルスイートA：定員8名 1,659 m ² ロイヤルスイートB：定員8名 1,355 m ² ロイヤルスイートC：定員6名 1,036 m ²
住所・アクセス	〒673-0703 兵庫県三木市細川町垂穂 894-60 車：三木東ICより車で約2分、吉川ICより車で約30分 電車：緑が丘駅より神姫ゾーンバスにて約20分（土日祝のみ運行）
アクティビティ	<ul style="list-style-type: none"> ・スカイイーグル ・ワイルド・バギー ・ワイルド・カヌー ・ボルダリング等

出所) ネスタリゾート神戸ロイヤルスイート <https://nesta.co.jp/glamping/royal-suite> 2020年10月21日閲覧

名称	PICA さがみ湖	
写真		
	<p>出所) PICA さがみ湖 HP https://www.pica-resort.jp/sagamiko/stay/site/index.html 2020年10月21日閲覧</p>	
施設の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・キャンプやバーベキュー等のアウトドア施設と遊園地を組み合わせた45万坪の雄大な相模湖プレジャーフォレストに併設される宿泊施設。 	
オープン	2012年	
施設の規模	<p>スリーパーエリア：定員6～8名 全12棟 トレーラーハウス：定員5～6名 全29棟 ログキャビン：定員4～15名 全69棟 セットアップテントサイト：55サイト 常設テントサイト：54サイト オートキャンプサイト：100㎡×18サイト</p>	
住所・アクセス	<p>〒252-0175 神奈川県相模原市緑区若柳 1634 番地 車：相模湖東 IC から約7分、相模湖 IC から約10分 電車：JR 中央線・相模湖駅下車バス8分</p>	
アクティビティ	<ul style="list-style-type: none"> ・立体迷路 ・アスレチック ・バギーカート 	

出所) PICA さがみ湖 <https://www.pica-resort.jp/sagamiko/index.html> 2020年10月21日閲覧
 相模湖プレジャーフォレスト HP <https://www.sagamiko-resort.jp/index.html> 2020年10月21日閲覧

名称	ツリーピクニックアドベンチャー いけだ
写真	 <p>出所) ツリーピクニックアドベンチャー いけだ HP https://picnic.ikedakibou.com/ 2021年2月25日閲覧</p>
施設の概要	<ul style="list-style-type: none"> 池田町の志津原エリアの山林に出現した日本最大級の冒険の森。 全長約1kmの「メガジップライン」、樹上を空中散歩できる「アドベンチャーパーク」、足羽川の源流を下る全長2.1kmの「アドベンチャーボード」など、木に触れ森を飛び、川と遊ぶ多彩なプログラムが予約制で楽しめる。冬は「スノージップライン」や「スノーシューハイク」などのプログラムがある。 3月下旬～12月上旬は火曜日定休（GW・夏休み期間は無休）、1月中旬～3月上旬は土・日・祝のみ営業、12月上旬～1月上旬及び3月中旬は休業。
オープン	2016年4月
施設の規模	有料入場者数（2016年）：36,734人 部屋数：8室
住所・アクセス	〒910-2523 福井県今立郡池田町志津原 28-16 車：福井ICから約45分
アクティビティ	<ul style="list-style-type: none"> メガジップライン アドベンチャーパーク アドベンチャーボード BBQ 農村里山プログラム・自然教育体験プログラム

出所) ツリーピクニックアドベンチャー いけだ HP <https://picnic.ikedakibou.com/> 2021年2月25日閲覧
ふくいドットコム HP https://www.fuku-e.com/010_spot/?id=617 2021年2月25日閲覧
旅行と宿のクリップ HP <https://www.clipit.jp/fukui/37478/> 2021年2月25日閲覧
福井県池田町役場 プレスリリース http://www.picnic.ikedakibou.com/w/news/news_file_1_41_1.pdf
地域再生計画 <http://www.kantei.go.jp/jp/singi/tiiki/tiikisaisei/dai47nintei/plan/a257.pdf> 2021年2月25日閲覧

c. グランピング系宿泊施設

名称	里楽巢 FUJINO (リラックス ふじの)
写真	 <p>出所) 里楽巢 FUJINO HP https://www.hibiya-stay.com/relax/ 2021年2月25日閲覧 日比谷花壇プレスリリース https://eco.hibiyakadan.com/releaseUpload/pdf/20200701_pr_hibiyakadan.pdf 2021年2月25日閲覧</p>
施設の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・「ココロもカラダも喜ぶ場所」をテーマとした日比谷花壇が手がける初の宿泊施設であるグランピングサイト。 ・山並みを望む広々としたパノラマデッキを備えた和風 (RURI) と洋風 (ECRU) の2サイト (28㎡)。場内には共用のシャワーとトイレがあり、近隣の温泉施設も利用できる。
オープン	2020年8月
施設の規模	総敷地面積 800㎡ 客室数：2室 (定員1室4名)
住所・アクセス	〒252-0186 神奈川県相模原市緑区牧野 4611-1 藤野倶楽部内 車：相模湖 IC から約7km
アクティビティ	<ul style="list-style-type: none"> ・ヨガ ・大切な人に贈る手紙 ・コーヒー焙煎 ・工房体験 ・ブルーベリー狩り ・フラワーレッスン


出所) 里楽巢 FUJINO HP <https://www.hibiya-stay.com/relax/> 2021年2月25日閲覧
日比谷花壇プレスリリース https://eco.hibiyakadan.com/releaseUpload/pdf/20200701_pr_hibiyakadan.pdf
2021年2月25日閲覧

名称	INN THE PARK
写真	 <p>出所) INN THE PARK HP https://www.innthePark.jp/ 2021年2月25日閲覧</p>
施設の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・静岡県沼津市で30年以上にわたり愛されてきた「少年自然の家」を、現代的にリノベーションした、全く新しいタイプの①宿泊、②飲食、③自然体験アクティビティの3つの要素を組み合わせた複合施設。 ・森にひっそり浮かぶ「球体テント」、雨天でも緑を眺めながらゆったりとした時間が過ごせる「サロンカフェ」などがある。
オープン	2017年9月
施設の規模	敷地面積 9,000 m ² 客室数：宿泊棟4棟、ドームテント3棟、吊テント1棟
住所・アクセス	〒410-0001 静岡県沼津市足高 220-4 車：沼津 IC から約9分
アクティビティ	<ul style="list-style-type: none"> ・星空観察 ・野草・山菜の採取調理 ・昆虫採集 ・写真教室、ヨガ、アロマ、ネイチャークラフトなどワークショップ ・マルシェ ・ケータリングイベントや料理教室

出所) INN THE PARK HP <https://www.innthePark.jp/> 2021年2月25日閲覧

株式会社インザパーク プレスリリース <https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000001.000028618.html>


2021年2月25日閲覧

名称	舞子グランピング (舞子リゾート内)
写真	 <p>出所) 株式会社舞子リゾート HP https://www.maiko-resort.com/summer/glamping.html 1 2020 年 10 月 21 日閲覧</p>
施設の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・新潟県南魚沼市に位置するリゾート施設内のグランピング施設。 ・屋外にグランピングサイトを設け、絶景を眺めながら味わう BBQ と舞子高原ホテルの温泉を提供する。新潟の食材を使ったモーニングブッフェも楽しめる。
オープン	2018 年
施設の規模	サイト：1 サイト 4 名様まで×12 サイト
住所・アクセス	〒949-6423 新潟県南魚沼市舞子 2056-108 車：関越自動車道 塩沢石打 IC から 2 分 新幹線：越後湯沢駅から無料シャトルバスで約 20 分
アクティビティ	<ul style="list-style-type: none"> ・ディスクゴルフ ・グラウンド・ゴルフ ・フォレストアドベンチャー ・マウンテンバイク ・クロスカントリー ・カヤック・SUP ・ノルディックウォーキング ・体験工房 ・ドローンフィールド

出所) 株式会社舞子リゾート HP <https://www.maiko-resort.com/summer/glamping.html> 2020 年 10 月 21 日閲覧

株式会社スマイルリゾート プレスリリース

https://www.smile-resort.com/news/img/20190617_01_gramping.pdf

名称	スカイヒルグランピング
写真	 <p>出所) スカイヒルグランピング HP https://www.kochi-skyhillglamping.com/ 2020年10月21日閲覧</p>
施設の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・高知県四万十町に位置するグランピング施設。 ・グランピング棟やトレーラーハウスに加え、オートキャンプスペースを整備。四万十産の食材にこだわったバーベキューを提供する。
オープン	2019年8月
施設の規模	<p>スタンダードグランピング：定員6名（最大6名）×4張</p> <p>トレーラーハウス：定員4名×2棟</p> <p>オートサイト：定員6名×8区画</p>
住所・アクセス	<p>〒786-0047 高知県高岡郡四万十町八千数 310</p> <p>車：四万十町中央 IC を降りて約 10 分</p> <p>電車：JR 四国 土讃線「窪川駅」または土佐くろしお鉄道 中村線「窪川駅」から車で約 12 分</p> <p>飛行機：高知龍馬空港から車で約 1 時間 30 分</p>
アクティビティ	<ul style="list-style-type: none"> ・ゴルフ ・バーベキュー

出所) スカイヒルグランピング HP <https://www.kochi-skyhillglamping.com/> 2020年10月21日閲覧

d. アウトドアパーク


名称	フォレストアドベンチャー
写真	 <p>出所) フォレストアドベンチャー「フォレストアドベンチャー・別府 オープンのお知らせ」https://foret-aventure.jp/news-media/beppu_open/ 2020年10月25日閲覧</p>
施設の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・フォレストアドベンチャーとは、森の中の空中を渡っていくフランス発祥のアウトドアパーク。15haの森にフォレストアドベンチャーを設置して、ビジネスとして成立させ、その収益の一部を森林整備費に充てる持続可能な森林管理のモデルの実験的施設。 ・森を森のまま環境への負荷を最低限に抑えて利用し、発祥の地である欧州の安全基準を採用。
オープン	2006年8月
施設の規模	現在全国34か所に整備されている。 累計利用者数 175万名（2017年時点）。
住所・アクセス	〒401-0302 山梨県南都留郡富士河口湖町小立999 (株) フォレストアドベンチャー

出所) フォレストアドベンチャー「フォレストアドベンチャーとは」<https://foret-aventure.jp/about/> 2020年10月21日閲覧
 森林資源を活用した観光推進プラン（有限会社パシフィックネットワーク）
http://mori-zukuri.jp/wp_foresapo/wp-content/uploads/2017/11/pacific_network-sp.pdf 2020年10月21日閲覧


名称	アウトドアパークブロンコ
写真	  <p>出所) アウトドアパークブロンコ HP https://www.bronco4x4.net/blank-3 https://www.bronco4x4.net/blank-2 2020年10月21日閲覧</p>
施設の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・四輪駆動車によるオフローディングやキャンプを心ゆくまで満喫できるアウトドア施設。 ・山の南斜面に広がる約18,000坪のオフロードコースは、自然地形による起伏に富み、クロカン走行や4x4トライアルの練習にも最適な環境。本格的なキャンプが楽しめるよう、水場や洗い場などを設置していない。
オープン	2012年
施設の規模	約18,000坪のオフロードコース
住所・アクセス	〒368-0072 埼玉県秩父郡横瀬町横瀬 車：鶴ヶ島ICより約6km

出所) アウトドアパークブロンコ HP <https://www.bronco4x4.net/> 2020年10月21日閲覧

e. 星空ツアー

名称	天空の楽園 日本一の星空ツアー（スタービレッジ阿智誘客促進協議会）
写真	 <p>出所) 天空の楽園 日本一の星空ツアーHP https://sva.jp/night_tour/ 2020年10月21日閲覧</p>
施設の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・自然豊かな信州阿智村にある富士見台高原へブンスそのはらで所要時間約15分のロープウェイで標高1,400m地点までの星空遊覧が楽しめる。 ・ツアーでは、ガイドの星空解説、映像と音楽のエンタメショー、自由散策などが催され、山麓にはスターショップ（土産物屋）、スペースカフェなどを備える。通年開催。 ・他に秋の特別早朝営業「天空の楽園雲海 Harbor」などを提供する。
オープン	2012年8月
施設の規模	<p>無料駐車場7か所 約2,000台</p> <p>ナイトツアー通常は定員1,500名、パラダイスナイトは1部1,500名、2部1,000名</p> <p>2019年11月末まででイベント累計75万人以上が来場</p>
住所・アクセス	<p>〒395-0304 長野県下伊那郡阿智村智里3731-4</p> <p>車：飯田山本ICより約10分、園原ICより約8分</p> <p>電車：飯田駅より車で約30分</p>

出所) スタービレッジ阿智誘客促進協議会 HP <http://info.sva.jp/> 2020年10月21日閲覧
 天空の楽園 日本一の星空ツアーHP <https://sva.jp/> 2020年10月21日閲覧
 富士見台高原ロープウェイ HP <https://mt-heavens.com/> 2020年10月21日閲覧
 阿智☆昼神観光局プレスリリース <https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000095.000018496.html> 2020年10月21日閲覧

名称	CATCH the STAR 星取県 星空観測ナイトツアー
写真	 <p>出所) CATCH the STAR 星取県 HP https://tottori-tours.com/plan/tottorisakyu_stargazing/ 2020年10月21日閲覧</p>
施設の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・環境省が実施する「全国星空継続観察」で1位になった鳥取県では県を挙げて各地で星空観察イベントを行っている。 ・鳥取砂丘、三朝温泉、大山町、日南町、さじアストロパーク、安蔵(あぞう)の森、鳥取市内、米子城などで多数のプログラムを用意。 ・ヨガやグランピングなども同時に楽しめる。
オープン	2017年4月
施設の規模	<p>催行人数：1名～</p> <p>プログラムにより異なる</p>
住所・アクセス	<p>鳥取砂丘ビジターセンター</p> <p>〒689-0105 鳥取県鳥取市福部町湯山砂丘 駐車場内</p> <p>車：鳥取ICより約20分</p> <p>電車：鳥取駅より車で約20分</p> <p>飛行機：鳥取砂丘コナン空港より周遊バスで約20分(土日祝のみ)</p>


出所) CATCH the STAR 星取県 HP <https://www.hoshitori.com/> 2020年10月21日閲覧
 J-タウンネットニュース「鳥取県、また県名を変える(2年半ぶり2度目)」
<https://j-town.net/tokyo/news/localnews/244165.html> 2020年10月21日閲覧

f. ナイトミュージアム

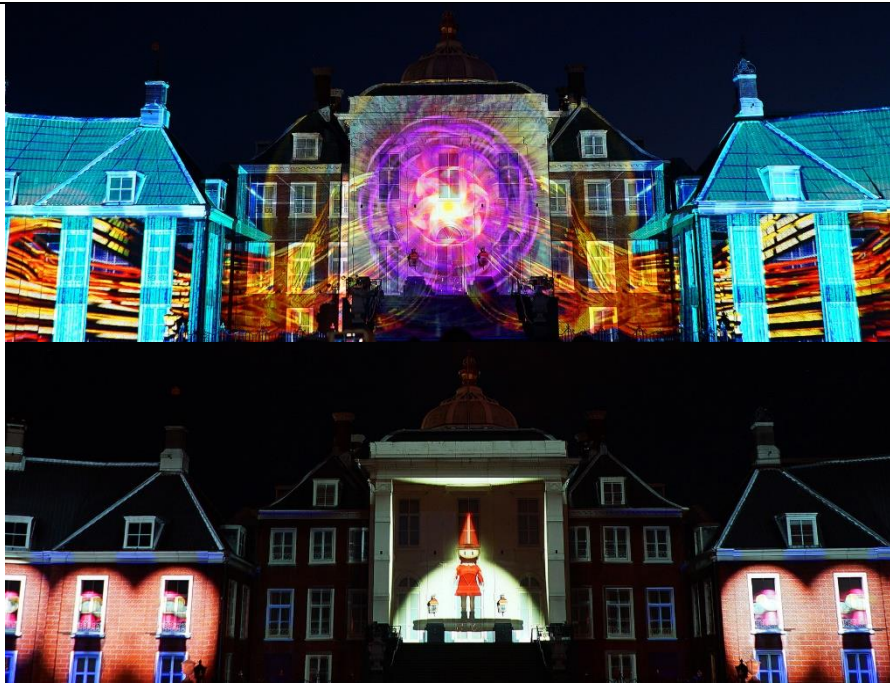
名称	日本科学未来館
写真	 <p>出所) 日本科学未来館 Facebook https://ko-kr.facebook.com/miraikan.jp/photos/a.478476015544499/1442887749103316/?type=3&id=ARBu3LOBUDATxUJ8C14XzkRuKpEdq0PCDTFiRNA5x5JT6sCF3WfHEhrZ55HUyTkiLncPiMBCQF9vW9k&__xts__%5B0%5D=68.ARBgVt-UVuZI44Xeq1Avyy9dcJAnBiJzrLsRz6Dechpcyw i1S14tdbeuAugwFYpSWaa8_Br6Izo417YJdaBcfe8IHAI5OM2faHgGOLf8AnIcb66Bg8bjB36Pnv5ZiJUQzaVTsFAsC56tLAcci-1sXmEbGC13a2ilvp1SDgAEeAWiE6NJ2WtO82O-sqYaS4HUjKavj29hXWInG_UOz63HvTNjLisU1FkI8AlankbwVPbIYQV0TIRcAMvB06Z0Hj9q0ym9SJnCgaBYDQRhfBvOcTroKqlswR9fE81mgZC_ERdeG-rUUgdbdfWfo-pse5bZoiOLkdIJ5ak7mpgK1_abXgpbug&__tn__=EHH-R 2020年10月21日閲覧</p>
施設の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・毎月最終土曜日に特別夜間開館をしているが、年に数回イベントとして演出を加えたテーマ展が開催される。 ・球体ディスプレイに映し出すソフトの美しさを競う「ジオ・コスモス コンテンツ コンテスト」なども開催。
オープン	2001年7月
施設の規模	毎月最終土曜日だけ開催。 VRシアター 定員: 30名 開催時間: 17:00~22:00
住所・アクセス	〒135-0064 東京都江東区青海2丁目3-6 電車: 東京国際クルーズターミナル駅から徒歩5分 テレコムセンター駅から徒歩4分

出所) 日本科学未来館 HP <https://www.miraikan.jst.go.jp/visit/>

g. プロジェクションマッピング

名称	安比ホワイトスノーアクアリウム (安比高原スキー場白樺ゲレンデ内)
写真	 <p>出所) 雪質の魅力増進連携会議 プレスリリース https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000002.000072523.html 2021年2月25日 閲覧</p>
施設の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・安比高原スキー場での雪の水族館をテーマにした、見て、遊んで、学べるプロジェクションマッピングイベント。 ・観光庁「あたらしいツーリズム」の一環として実施し、新型コロナウイルスの影響でインバウンド客を始めとした観光客が減少していく中、八幡平・安比が誇る日本屈指の雪質「アスピリンスノー」を資源に活かした滞在型の新規観光コンテンツ造成を目指した検証事業。
開催期間	2021年2月
来場者数	約1,650人以上(2日間)
住所・アクセス	〒028-7306 岩手県八幡平市安比高原117-1 車：安代ICから約20分、松尾八幡平ICから約20分

出所) 雪質の魅力増進連携会議 プレスリリース <https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000002.000072523.html>
 2021年2月25日閲覧
 安比高原スキー場 HP <https://www.appi.co.jp/access-winter/> 2021年2月25日閲覧

名称	3D プロジェクションマッピング (ハウステンボス内)
写真	 <p>出所) ハウステンボス HP https://www.huistenbosch.co.jp/event/world-projection-mapping/ 2020年10月21日閲覧</p>
施設の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・ 通年アトラクションとして開催。 ・ 日本最大、全長 110m の宮殿 3D プロジェクションマッピング。 ・ 宮殿「パレス ハウステンボス」の前面を巨大スクリーンに、美しい光の物語が繰り広げられる。 ・ 2019年にはプロジェクション世界大会が開催された。
オープン	2013年
施設の規模	152万㎡ 来園者数 272万人 (2018年9月期)
住所・アクセス	〒859-3243 長崎県佐世保市ハウステンボス町 1-1 車：佐世保大塔 IC から約 10 分 電車：長崎駅から約 1 時間 30 分 飛行機：長崎空港からバスで約 50 分

出所) ハウステンボス HP <https://www.huistenbosch.co.jp/guide/map/> 2020年10月21日閲覧
<https://www.huistenbosch.co.jp/event/schedule/19/> 2020年10月21日閲覧
<https://www.huistenbosch.co.jp/event/world-projection-mapping/> 2020年10月21日閲覧
ハウステンボス、「プロジェクションマッピング世界大会」開催へ
<https://www.itmedia.co.jp/news/articles/1802/16/news084.html> 2020年10月21日閲覧

名称	チームラボ 宇部市ときわ公園 2017 グラフィティ ネイチャー - 世界を旅する植物に住まう生き物たち
写真	 <p>出所) チームラボ「チームラボ、山口・宇部市「ときわミュージアム 世界を旅する植物館」にて「チームラボ 宇部市ときわ公園 2017 グラフィティ ネイチャー - 世界を旅する植物に住まう生き物たち」開催。2017/9/15(金)～11/5(日)」 https://www.team-lab.com/news/ube2017-botanical/ 2020年10月25日閲覧</p>
イベントの概要	・普段は夕方に閉館する植物園を特別に夜間に開場し、夜の植物園をデジタルアート空間とした。
開催期間	2017年9月15日(金)～11月5日(日)
来場者数	年間入園者数：78万3000人(公園全体・2019年度)
住所・アクセス	〒755-0003 山口県宇部市則貞三丁目4番1号 車：小郡ICから約35分 電車：常盤駅から徒歩15分 飛行機：山口宇部空港からタクシーで5分

出所) チームラボ「チームラボ、山口・宇部市「ときわミュージアム 世界を旅する植物館」にて「チームラボ 宇部市ときわ公園 2017 グラフィティ ネイチャー - 世界を旅する植物に住まう生き物たち」開催。2017/9/15(金)～11/5(日)」 <https://www.team-lab.com/news/ube2017-botanical/> 2020年10月25日閲覧

ときわ公園「ご来園ガイド」 <https://www.tokiwapark.jp/guide.html?id=2> 2020年10月25日閲覧

宇部日報「2019年度の常磐公園入園者は過去最高の78万3000人【宇部】」

<https://ubenippo.co.jp/2020/05/12/106937/> 2020年10月25日閲覧

名称	阿寒の夜 神秘的なカムイの世界へ KAMUY LUMINA
写真	 <p>出所) 鶴雅グループ「阿寒湖の森ナイトウォーク KAMUY LUMINA」 https://www.tsurugagroup.com/plans/kamuy-lumina/ 2020年10月25日閲覧</p>
イベントの概要	・アイヌの杖をモチーフにした「リズムスティック」を持ち、真っ暗な森の遊歩道 1.2km を歩きながら、カムイ（アイヌの言葉で神の意味）の世界を目指す冒険ツアー。
開催期間	2020年6月26日～2020年11月15日
来場者数	年間入園者数：3万4160人（2019年度）
住所・アクセス	〒085-0467 北海道釧路市阿寒町阿寒湖温泉1丁目5-20 車：北見から約1時間 電車：釧路駅からタクシーで約1時間20分 飛行機：釧路空港からタクシーで約1時間 女満別空港からタクシーで約1時間半

出所) 鶴雅グループ「阿寒の夜 神秘的なカムイの世界へ KAMUY LUMINA」

<https://www.tsurugagroup.com/plans/kamuy-lumina/> 2020年10月25日閲覧

KAMUY LUMINA HP <http://www.kamuylumina.jp/> 2020年10月25日閲覧

ニュー阿寒ホテル HP <https://www.newakanhotel.co.jp/access/> 2020年10月25日閲覧

日経新聞「阿寒の夜の観光「カムイルミナ」、参加者3万4000人」

<https://www.nikkei.com/article/DGXMZO52570320V21C19A1L41000/> 2020年10月25日閲覧

h. グリーンスローモビリティ

市町村	京都府伊根町
観光地の概要 (観光入込客数等)	伊根町は京都府北部、丹後半島の北端に位置し、東から北は日本海に面し、南は宮津市に、西は京丹後市に隣接している。豊かな自然に恵まれ、舟屋と伝説に彩られた町。 ^{※1} 2019年観光入込客数：355,577人 ^{※2}
グリーンスローモビリティ導入の目的 (既存の課題)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 路線バスの運行は1時間に1本。 ・ 主要観光施設間の移動は自家用車が主体。公共交通を利用して来た観光客にとっては、域内交通が不十分。 ・ 観光客の自家用車流入が増加しているが、道路が狭く、歩行者の安全確保が課題
実施期間	2018年11月1日(木)～2018年11月30日(金)
運行主体	一般社団法人 京都府北部地域連携都市圏振興社 伊根地域本部
使用車両・運行形態	<p>6人乗り1台、4人乗り1台 平日：定時定路線デマンド運行、土日祝日：定時定路線運行 料金：500円（地域住民300円、小人200円）</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p>出所) 国交省資料(2019)「京都府伊根町におけるグリーンスローモビリティの取組」 https://www.mlit.go.jp/common/001279719.pdf 2020年9月29日閲覧</p>
取組の流れ	2017年度に運賃無料の実証実験を実施し、2018年度に本格運行を見据えて予約システム、バスロケーションシステム及びキャッシュレス決済等のICT技術を導入した有償での運行を行った。
実績	<ul style="list-style-type: none"> ・ 利用者数 124人（住民24人、住民外100人、うち外国人24人） ・ 運賃収入 57,200円 ・ 支出：1,250,000円（人件費306,900円、広告費216,000円、充電設備・停留所設置、備品等の初期費用347,182円）
実証実験から判明した課題	<ul style="list-style-type: none"> ・ 同区間を運賃150円でコミュニティバスが運行(平日のみ) ・ 個人旅行の観光客数が減少する時期の実施 ・ 予約が必要なことへの抵抗感

出所) 国交省資料(2019)「京都府伊根町におけるグリーンスローモビリティの取組」

<https://www.mlit.go.jp/common/001279719.pdf> 2020年9月29日閲覧

※1：伊根町「地域概要」

<http://www.town.ine.kyoto.jp/i/chosei/chiikigaiyo/1447030283073.html> 2020年9月29日閲覧

※2：京都府「令和元年観光入込客数及び観光消費額について」

<https://www.pref.kyoto.jp/kanko/research/1report.html> 2020年9月29日閲覧

市町村	広島県福山市鞆の浦
観光地の概要 (観光入込客数等)	広島県の最東部、岡山県と広島県の県境。瀬戸内海のほぼ中央に位置し、広島県で2番目に大きい中核都市。鞆の浦は万葉の時代から「潮待ち」の港として栄えた港町。映画やドラマのロケ地、宮崎駿のアニメ「崖の上のポニョ」のモデルとなった町で有名。 2019年観光入込客数：200万人
グリーンスローモビリティ導入の目的 (既存の課題)	<ul style="list-style-type: none"> 観光客の回遊性や滞在時間の拡大。 観光客の増加に伴い、町中に通過交通や観光交通が流入し、住民生活や緊急車両の通行に支障。流入交通の抑制と観光客の散策環境の整備が課題。
実施期間	2018年11月16日(金)～2018年11月29日(木)
運行主体	アサヒタクシー株式会社
使用車両・運行形態	<p>7人乗りゴルフカート2台 (YAMAHA(AR-07))</p> <ul style="list-style-type: none"> 観光ガイドを添乗し、主な観光施設を周遊。 <p>料金：500円 (地域住民300円、小人200円)</p>  <p>出所) アサヒタクシー株式会社「福山市鞆の浦におけるグリーンスローモビリティの活用」http://kinki.env.go.jp/15%2020%E3%80%90HP%E6%8E%B2%E8%BC%89%E7%94%A8%E3%80%91%28%E5%9C%A7%E7%B8%AE%E7%89%882%29%E3%82%A2%E3%82%B5%E3%83%92%E3%82%BF%E3%82%AF%E3%82%B7%E3%83%BC%E8%B3%87%E6%96%99.pdf 2020年9月29日閲覧</p>
取組の流れ	<ul style="list-style-type: none"> 実証調査の結果を経て、走行できるエリアを限定し、「緑ナンバー」でのグリーンスローモビリティ運行を実現 全国初の緑ナンバーとしての導入と運行を向けての車両開発
実績	<ul style="list-style-type: none"> 利用者数 702人 (1日の平均利用者数は51人/日) 女性の利用者に関心が高く、70代女性による利用が多かった。 最大利用者数は92人 (3連休最終日：11/25)
実証実験から判明した課題	<ul style="list-style-type: none"> 福山市が2019年度にグリーンスローモビリティ事業の予算として780万円をかけたが、乗車定員数が少ないことから、収益性を担保することに課題がある。

出所) 国交省資料(2019)「グリスロで全国初のタクシー事業が始まります～日本遺産の福山市鞆の浦をゆっくりおもてなし～」https://www.mlit.go.jp/report/press/sogo10_hh_000185.html 2020年9月29日閲覧
日経BP総合研究所「第15回 広島県福山市：住民の足としてグリーンスローモビリティを営業運転」<https://project.nikkeibp.co.jp/atclppp/PPP/052500076/111000024/> 2021年2月24日閲覧

③ 考察

a. 宿泊機能について

- 博物館やテーマパークに隣接する宿泊施設の場合、両者の間で連携して価値を提供している事例が見られた。具体的には、入場券を含む宿泊パックの販売、宿泊者限定の夜間の開館、テーマパークのコンテンツに特化した空間の提供である。
- 宿泊機能と子供が楽しめるアクティビティを組み合わせるに当たっては、プロモーションにおける相互の連携、宿泊者への特別な価値提供、一貫したコンセプトが必要であると考えられる。

b. アクティビティについて

- 自然を活用したアクティビティは、事業者によっては全国的に展開している。小規模なアスレチックからバギーを利用したものまで、幅広い年齢層が楽しめる施設とすることが可能である。
- 福井県池田町に地上高・日本最大級³のジップラインがあり競合施設となり得るため、当公園独自のアクティビティを検討する必要がある。
- 夜間のアクティビティについては、屋外で開催できるものとしてはプロジェクションマッピングが考えられるが、積雪のある地域では夏季のみの開催若しくは雪をテーマにした開催となっている。積雪のある年とない年がある勝山市においては、冬季は屋内のコンテンツで集客力を補うことも考えられる。

c. グリーンスローモビリティについて

- 観光客の自家用車流入が課題となっている観光地において、観光客の利用を想定したグリーンスローモビリティの実証実験が行われた。
- 他の公共交通との兼ね合いの他、収益性が大きな課題であるため、当公園においては(株)ワックのトラムとの連携などを検討する必要がある。

³ ツリーピクニック アドベンチャー いけだ HP, <https://www.picnic.ikedakibou.com/about/#m1>, 2021年2月24日閲覧

2) 関係主体へのヒアリング調査

当公園の指定管理者である NPO、ジオターミナルの管理運営を行うとともに施設の一部を所有している DMO 及び、ディノパークの運営を行っている(株)ワックにヒアリング調査を行った。

① NPO

a. 当公園の課題について

- 公園内のステークホルダー間でマネジメントレベルの連携ができていない。
- 繁忙期に周辺道路で渋滞が発生している。
- 公園内でのクマの出没が多い。このため、現在公園内の森林部分は閉鎖されている。
- 冬季は降雪があるために来園者が少なく、4 か月程度は収益を上げられない。
- 規模の大きな施設を新たに整備する場合、上下水等のインフラについては増強が必要である。
- 公園外の観光施設とのネットワーク形成は、人手に余裕がないために対応できていない。

b. 公園再整備について

- 民間事業者と共に何らかの取組を行うことについては非常に関心がある。
- 宿泊施設を整備する場合は、来園者の安全を夜も担保しなくてはならない点が課題である。24 時間体制の管理は現在の指定管理料では賄えない可能性がある。
 - ✓ 以前に車中泊などの簡易的な宿泊施設の検討は行ったが、夜間の管理の課題から実現できていない。
 - ✓ テント型の宿泊施設については冬季に営業ができないことも課題である。
- 公園の駐車場利用を有料にするという案があるため、今後の再整備に併せて取り入れたい。

c. スキームについて

- 現在 NPO では掃除、植栽の維持管理、発掘体験の運営を一体的に行っているが、公園全体の管理を一体的に行うことが理想である。
- ディノパークのスキーム（事業者が整備運営し、管理を NPO に委託するスキーム）は Park-PFI に近いスキームであり、このスキームが広がることが理想と考えている。
 - ✓ ホテルやアクティビティなど、それぞれ独自に民間施設を入れて運営していく形が良いと考えている。全体で協議会を作り、合意を取りながらそれぞれ独自に運営するのが良い。
 - ✓ 複数の事業者が参画した際の公園全体の取りまとめ及び、事業者と市との窓口を NPO が担保できるとよい。
- DMO が公園全体をオペレーションし、維持管理等について NPO が DMO から受託することもあり得るが、以下の課題がある。
 - ✓ 対応の中で毎度 DMO に対応を確認するという手間が発生する懸念がある。
 - ✓ DMO で上げた収益が公園外に還元される懸念がある。

② DMO

a. 当公園の課題について

- 勝山市において、かつやま恐竜の森があるエリアは最も観光客が来ているにもかかわらず、観光消費額が少ない。
 - ✓ 周辺の観光施設に誘導できていないことが課題である。
 - ✓ 公園の指定管理者である NPO は収益を上げることが目的ではないため、観光消費額を増やすことが目的である DMO とはコンセプトが異なる。
- 公園での滞在時間が短いことは長年の課題であり、現状の来園者の滞在時間は 2 時間程度である。
- 飲食の選択肢が少ないことが課題である。ジオターミナルの飲食施設においても特徴あるものを提供できていない。
- 現在恐竜博物館の正面は駐車場が広がっているが、子供が安心して遊べるスペースが恐竜博物館前にあるとよい。
- 来園者のうち市内の宿泊は 25%のみであり、宿泊施設が不足している。
 - ✓ 福井県を訪れる旅行は 1 日目に勝山、2 日目に芝政ワールドに行くルートが一般的であり、宿泊需要は高い。
- インフラ設備については、上下水設備の容量に課題がある。
- クマの出没が課題である。
- 恐竜博物館を管理運営する福井県と、公園を所有する勝山市で考え方が異なるため、県と市の方向性をそろえる必要がある。

b. 公園再整備について

- アウトドア系であれば市内の事業者が参入することが可能と考えている。地元の人材を活かした事業を行いたい。
 - ✓ ただし、大野市にアウトドア事業者が参入し、池田町にジップラインのアクティビティが整備されているため、かつやま恐竜の森独自のアクティビティを検討する必要がある。
- 造園の観点で、芝生、花等を整備すべきである。
- 公園内に温泉を掘ることは維持管理にコストがかかるために非現実的である。

c. スキームについて

- DMO はかつやま恐竜の森の統合的なマネジメントをしたいと考えている。
 - ✓ NPO とのコンセプトの違いを解消できるスキームとする必要がある。
- SPC などでは他社と組み出資することは想定しているが、株主等から了承が得られるかは現時点では不明である。

③ (株)ワック

a. ワックの当公園での事業について

- ディノパークはワックが投資をして整備したが、運営は NPO に委託している。
- ترامについてはディノパークの範囲外を運行しているため、別の設置管理許可を受

けている。

- ✓ コースの変更にも申請が必要など、手続きの煩雑さがあるため、機敏に変更できないという課題がある。

b. 公園再整備について

- ワックでは、新たに整備する遊戯施設について、継続的に提案している。これらの提案は設置管理許可制度の利用を想定している。
- 公園内のどの場所にどのような展開をするかについては、一元的に管理するスキームがないと検討は難しい。
- ✓ 公園を一元的に管理している団体があれば、事業者としては相談がしやすい。
- 宿泊施設の整備については、ディノパークではナイトディノパーク（お盆のみ・2,000人來場）を開催しているため、相乗効果を生むことができる。
- 宿泊者は福井県立恐竜博物館に早く入館できるなど、福井県との連携が取れば宿泊に価値が生まれる。
- アクティビティについては、公園内の立地が重要である。事業者としては、現時点で人が集まっている所の近くに整備できるとよい。

c. スキームについて

- 地域からすると外部の立場であるワックにとって、地元のステークホルダーがまとまっているスキームに加わることが望ましい。
- SPC を設立する場合であっても、投資判断は個々の事業で行うべきである。
- ✓ ワックは人気があれば追加投資する事業スタイルであるため、SPC に投資判断を委ねた場合は投資判断のスピードが遅くなるのが懸念される。
- 一体的に管理する場合には業務をどう分担するかという点が重要である。インフラだけでなく娯楽施設の維持管理業務が想定されるため、全てを一つの団体で行うとなると相当な体力が必要である。
- 駐車場の有料化は必須である。
- ✓ 公園維持管理の財源とした上で、整備投資に回せる可能性がある。

3) 公園再整備の方向性の検討

① 再整備方針の検討

勝山市及びかつやま恐竜の森の地域資源を図 43 上段に示す。勝山市街には絹織物産業の歴史を伝えるゆめおーれ勝山や、かつて勝山藩が置かれたことを今に伝える勝山城跡、境内が苔で覆われた平泉寺などが位置し、長い時間をかけて人々の文化が形成されてきたことを物語っている。一方、かつやま恐竜の森の周辺は自然豊かな環境が広がり、当公園は前述のとおり貴重な自然が保全されている他、冬の自然を楽しめる環境もスキー場としてスキージャンプ勝山に整備されている。そして、この雄大な自然の下において恐竜の発掘が進められており、福井県立恐竜博物館は人々を過去に導く仕掛けと言える。

こうした地域資源を持つ勝山市において当公園の再整備を進めるに当たっては、人間と自然、時の流れという2つの軸を意識した上で、新たな文化、新たな経験を生み出していく場とすることが相応しいと言える。

これらを踏まえ、公園再整備・運営方針のコンセプトとして、以下の3つを定めた。

- 体を動かす、自然に親しむ

自然に触れながら創造的な活動ができる場として、ハード面としては参考事例調査のアウトドアパークに示すような森のアスレチックの整備が、ソフト面としては自然について学ぶことができるワークショップの開催が考えられる。

- 宿泊できる公園

勝山の文化、自然、恐竜に幅広く触れながら滞在ができる場として、ハード面としてはホテルやコテージなどの滞在場所の整備が、ソフト面としては公園外の施設と連携し周遊できるイベントの開催が考えられる。

- 少人数でゆったり過ごす。

身近な人と共に、時を忘れる滞在ができる場として、ハード面としては家族で団らんできる場の整備、ソフト面としては家族だけの時間が楽しめるためのサービス提供が考えられる。

勝山市及びかつやま恐竜の森の地域資源を踏まえた再整備方針（案）

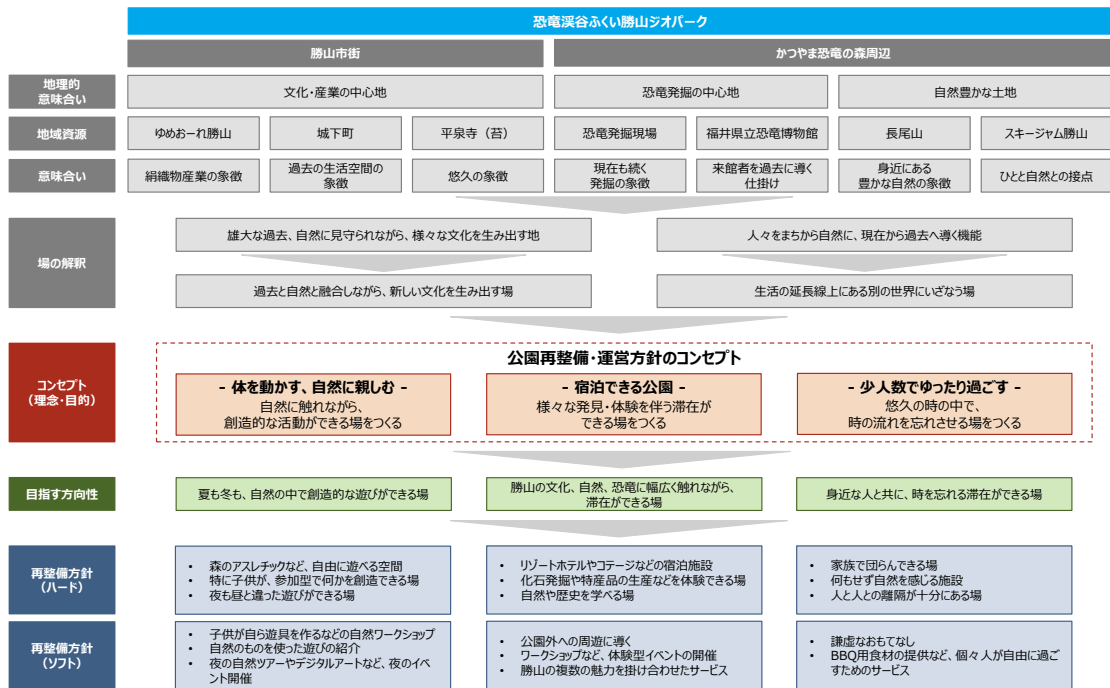


図 43 再整備方針（案）

出所) 三菱総合研究所作成

再整備方針（案）を踏まえた事業展開例を図 44～図 46 に示す。

事業展開例 1（図 44）は自然を楽しむことに重点を置き、公園内にコテージ型の滞在拠点及び森のアスレチックを整備するとしたものである。かつやま恐竜の森に今ある観光資源を最大限に活かした形であり、自然環境を守るとともに持続的な管理運営が可能である。

再整備方針を踏まえた事業展開例 1（自然を活かしたアクティビティの提供）



図 44 事業展開例 1

出所) 下記資料より三菱総合研究所作成

※1 北軽井沢スイートグラス HP <https://sweetgrass.jp/> 2020 年 11 月 17 日取得

※2 野外恐竜博物館 HP <https://www.dinosaur.pref.fukui.jp/visit/fieldstation> 2020 年 11 月 17 日取得

※3 かつやま恐竜の森 HP <https://kyoryunomori.net> 2020 年 11 月 17 日取得

事業展開例 2 (図 45) は当公園を滞在拠点とした上で、現在の課題である公園周辺への誘客、夜の誘客、冬の誘客に重点を置いたものである。これにより現在ゴールデンウィークや夏休みに突出している来園者のピーク平準化を図るとともに、経済効果を公園周辺に波及させることが可能になる。

再整備方針を踏まえた事業展開例 2 (閑散期や夜間の魅力創出によるピーク平準化)



図 45 事業展開例 2

出所) 下記資料より三菱総合研究所作成

※1 白山平泉寺 HP <http://heisenji.jp/gallery/1/> 2020年11月17日取得

※2 公益社団法人福井県観光連盟 勝山城博物館 https://www.fuku-e.com/010_spot/?id=169 2020年11月17日取得

※3 長野県公式観光サイト ログコテージキーストン https://www.go-nagano.net/topics_detail6/id=13722 2020年11月17日取得

※4 鶴雅グループ HP 神秘的なカムイの世界へ <https://www.tsurugagroup.com/plans/kamuy-lumina/> 2020年11月17日取得

※5 国立科学博物館恐竜博 2016HP <https://www.kahaku.go.jp/exhibitions/ueno/special/2016/dino2016/> 2020年10月21日取得

※6 かつやま恐竜の森 HP <https://kyoryunomori.net/guide/asobu/#gcont691> 2020年11月17日取得

※7 スキージャム勝山 HP <https://skijam.jp/winter/lp/miryoku/> 2020年11月17日取得

事業展開例 3 (図 46) は「体験」に注目し、当公園を滞在拠点とした上で様々なワークショップを開催する、ホテルという大きな滞在拠点にソフト施策を組み合わせたものである。これにより、創造的な活動ができる場となるため繰り返し訪れたいと思える場にすることができるとともに、経済効果を公園周辺に波及させることが可能になる。

再整備方針を踏まえた事業展開例 3 (「勝山体験」拠点とした市内全体への誘客)

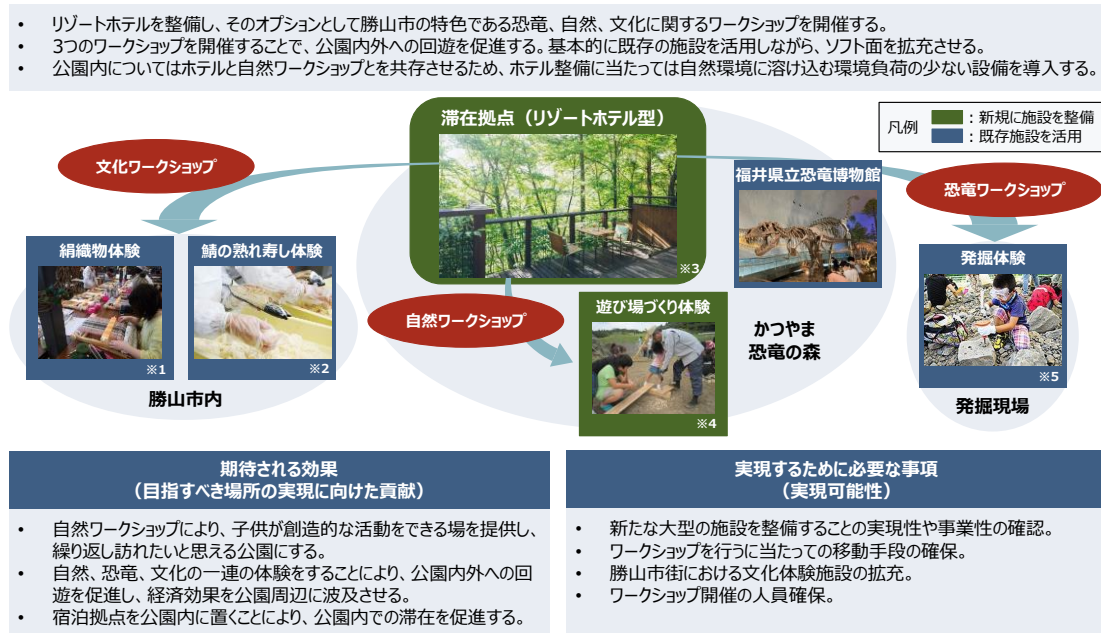


図 46 事業展開例 3

出所) 下記資料より三菱総合研究所作成

※1 ゆめおーれ勝山 Facebook

https://www.facebook.com/yumeole/?ref=nf&hc_ref=ARQxaYiL9EpNxWfD2MoSLYBQ1W6BZv_ogPH8QUnBW_vqYsC0DyF_qsnmJa670djN3bQ 2020年11月17日取得

※2 勝山市観光まちづくり株式会社 ぶらりかつやま 鯖の熟れ煮し

<https://katsuyama-navi.jp/burakatsu/eat/174/> 2020年11月17日取得

※3 軽井沢ホテルプレストンコート HP <https://www.blestoncourt.com/stay/terracevilla/> 2020年11月17日取得

※4 NPO 法人子育てふれあいグループ自然花 <http://jinenka.jp/blog/2010/11/post-38.html> 2020年11月17日取得

※5 野外恐竜博物館 HP <https://www.dinosaur.pref.fukui.jp/visit/fieldstation> 2020年11月17日取得

② 再整備に当たり留意すべき事項

a. グリーンスローモビリティ

公園内に滞在拠点を整備するに当たっては、公園内の施設間の移動が課題になる。宿泊施設の整備に当たっては駐車場を併せて整備し、宿泊客は宿泊施設の駐車場に車を停めた上で、グリーンスローモビリティ等の園内交通機関に乗車し博物館やアクティビティ施設等を回ることが考えられる。

b. 多様性のある自然環境の保全

当公園内では、多くの動植物を確認しており、特に保全エリアを指定しているオオタカや、サクラバハノキなどの稀少動植物については、環境省レッドリスト並びに福井県レッドデータブックに記載されている。本事業の実施に当たっては、環境影響評価調査を行い、自然環境に与える影響を検討、対策する必要がある。

c. 新しい生活様式

アンケート調査からも感染症対策は重要視されていることが分かり、ハード整備においても密にならない空間を意識した空間設計となっているかが重要である。

4) 地域への波及効果の整理

関係者へのヒアリング調査からも、現在の当公園においては周辺地域への経済波及効果に課題があることが分かった。改善策としては、来園者を公園外に誘客する方策と、公園内で地域にお金が落ちる仕組みを作る方策の2通りがある。前者についてはグリーンスローモビリティ等を活用して移動手段を確保することや、施設間で連携して恐竜スタンプラリー等を開催すること、後者については公園内での飲食物やお土産の販売に地元産品を活用することや、地元の雇用を促進することが考えられる。

来園者を公園外に誘客した場合は、各施設の入場料やお土産代、食事を摂った場合は食事代が地域に還元されることとなる。公園内での収益が地域に還元される仕組みを整えた場合は、飲食物の原材料費、お土産の原価及び人件費が地域に還元されることとなる。

(3) 民間事業者サウンディング調査

1) サウンディング調査の実施概要

民間事業の成立の可能性を把握することを目的として、本事業への関心を有すると考えられるアクティビティ事業者、宿泊施設事業者、建設・造園会社等を対象として、主に下記についての民間事業者の意向を把握することを目的としてサウンディング調査を実施した。

- かつやま恐竜の森の解決すべき課題
- 想定される具体的な事業内容
- 想定される事業スキーム
- 参画に必要となる事業条件

本調査では、令和2年度第1回ふくい地域プラットフォームにおいて事業紹介を行った上で、事業に関心のある事業者を対象に個別対話を実施した。

① ふくい地域プラットフォーム

ふくい地域プラットフォームは(株)福井銀行、(株)福邦銀行、財務省北陸財務局、(株)日本政策投資銀行、福井県及び福井市が主催する地域プラットフォームであり、令和2年度第1回は12月10日(木)及び11日(金)に動画配信形式で実施した。自治体を除く参加企業数は96社であり、そのうち勝山市内の事業者が10社、勝山市を除く福井県内の事業者が34社である。

プログラムは国土交通省 PPP サポーター町田誠氏による講演(60分)、勝山市による「かつやま恐竜の森(長尾山総合公園)における整備運営事業」についての紹介(30分)及び、福井市による「美山森林温泉みらくる亭 譲渡先事業者募集概要」についての説明(10分)から構成された。

勝山市による事業紹介は勝山市の観光資源、かつやま恐竜の森の概要、勝山市としての方向性(案)及び事業化スケジュールの紹介から構成され、最後に個別対話の周知を行った。

② 個別対話

個別対話は、ふくい地域プラットフォームに参加した上で申し込みがあった事業者を対象に、2020年12月から2021年1月にかけて実施した。事業者と株式会社三菱総合研究所の2社間での対話形式を基本とし、当公園で指定管理業務を請け負っている事業者に対しては、3社間での対話形式で実施した。また、事業者からの要望に応じて、別途勝山市との個別対話についても実施した。配付資料として下記資料を用意した。

- 個別対話チラシ
- ふくい地域プラットフォームでの説明資料
- 公園再整備方針(案)
- かつやま恐竜の森の航空写真

個別対話に参加した事業者（予定を含む）は表 19 に示す 26 社であり、そのうち勝山市内の事業者が 1 社、勝山市を除く福井県内の事業者が 4 社である。

表 19 個別対話参加事業者

	所在地	
	福井県	勝山市
アウトドア・イベント事業者 A 社		
アウトドア・イベント事業者 B 社		
アウトドア・イベント事業者 C 社		
アウトドア・イベント事業者 D 社		
グランピング・キャンプ事業者 A 社		
グランピング・キャンプ事業者 B 社		
グランピング・キャンプ事業者 C 社		
グランピング・キャンプ事業者 D 社		
グランピング・キャンプ事業者 E 社		
ホテル事業者 A 社		
ホテル事業者 B 社		
ホテル事業者 C 社	○	
建設・造園会社 A 社		
建設・造園会社 B 社		
建設・造園会社 C 社		○
建設・造園会社 D 社	○	
建設・造園会社 E 社		
建設・造園会社 F 社		
建設・造園会社 G 社		
建設・造園会社 H 社		
建設・造園会社 I 社		
その他 A 社		
その他 B 社		
その他 C 社	○	
その他 D 社		
その他 F 社	○	

2) 調査結果

個別対話で得られた民間事業者の意向を以下に整理する。

① 想定される具体的な事業内容

a. 宿泊施設

ア) 考えられる宿泊施設

- 2期エリアへの展開を考えると、リゾートホテル等の箱物を整備した方が良い。ただし、公募する場合は宿泊事業者から応募がない可能性があるため、事前に事業者と話をつける必要がある。（その他 F 社）
- 「かつやま恐竜の森に泊まる」ことに価値を付けるべきであるため、恐竜ホテルなど、ホテルそのものをアトラクションにできればよい。（ホテル事業者 B 社）
 - ✓ 規模が小さい場合は固定費がかさみ採算が取れない可能性があるため、120～150室程度（最低 100 室）が適正である。（ホテル事業者 B 社）
 - ✓ 博物館の入館者が少ない冬季に集客コンテンツとなることが必要であるため、100 室以下の箱物の宿泊施設を整備することが考えられる。ただし、恐竜の時代をテーマにし、発掘体験の脇にテント型の宿泊施設を検討することもあり得る。（建設・造園会社 F 社）
- 100 室規模のリゾートホテルなど、箱物の施設をかつやま恐竜の森に整備することは公園に相応しくない。林の中に点在するコテージが良い。（建設・造園会社 D 社）
- キャンプ・グランピング事業のメリットは低コストであること、増設が可能であることである。（グランピング・キャンプ事業者 A 社）
 - ✓ テント型のグランピング施設であれば 1 棟 200 万円程度、2,000 万円程度であればトイレ、シャワー、ジェットバス、サウナなども棟ごとに付く。（グランピング・キャンプ事業者 A 社）
 - ✓ 徐々に増設できるグランピング施設のメリットを活かするとよい。初期に整備するサイト数は、15～20 程度必要である。（グランピング・キャンプ事業者 A 社）
- グランピングやコテージのスタイルならば部屋数は 20 室程度を想定している。（ホテル事業者 C 社）
 - ✓ ジオターミナルの東側の森林（2～3ha）に、温浴施設、レストランを含めたテント型の宿泊施設（30～50 室）を整備する想定である。（グランピング・キャンプ事業者 E 社）
 - ✓ グリーンパーク山東では、3 万平米のグランピング敷地（池などを含む）に 15 棟の建物を建てた。（その他 D 社）
 - ✓ グランピング施設では、宿泊施設の他に炊事場、温水洗浄便座、管理棟が必要である。（グランピング・キャンプ事業者 C 社）
- キャンプ場の場合最低限のサイト数は 100 サイト（建屋等はうち 2 割）を想定している。1 サイト当たり 10m×10m であり、道路等も考え、全体で 3ha 程度あるとよい。（グランピング・キャンプ事業者 C 社）
 - ✓ キャンプ場の敷地規模は 1ha～2ha あればよい。場所によってキャンプの形態を

変える、段階的に整備することが考えられる。(グランピング・キャンプ事業者 D 社)

- グランピング施設はテントも考えられるが、雪が降るため建屋が現実的である。この場合は開発許可が必要である。(グランピング・キャンプ事業者 B 社)
 - ✓ 建屋には電源があるため、電気毛布を持参する宿泊者もいる。(グランピング・キャンプ事業者 C 社)
- キャンプ場はかつやま恐竜の森への来園が多いファミリー層もターゲットになり得る。(グランピング・キャンプ事業者 D 社)
- 豊かな森林を利用したツリーハウスが考えられる。(建設・造園会社 C 社)
- 宿泊者が自らコテージのような家を建てて宿泊する形態の宿泊施設を検討している。(その他 C 社)

イ) 宿泊施設整備に当たって留意すべき事項

- 宿泊施設の立地については、施設の拡張性を考える場合は公園東側の森が良いが、施設との連携を考えた場合は駐車場付近の方が良い。(ホテル事業者 C 社)
- 箱物の施設については、20年での投資回収は難しい。(建設・造園会社 G 社)
- グランピング施設の投資回収期間は10年を見込んでいる。(グランピング・キャンプ事業者 A 社)
 - ✓ 10年以上でないと投資を回収できないため、契約期間は10年以上、20年程度が良い。(グランピング・キャンプ事業者 C 社)
 - ✓ テントは破損や汚れ、トレンドにより交換の必要があるため、上物の投資回収は2年半～3年(土地の取得費を除く)を想定している。(グランピング・キャンプ事業者 B 社)
 - ✓ 年間で3億円程度の収入が必要であり、ランニングコスト(減価償却を除く)は年間収入のうち60%程度を想定している。(グランピング・キャンプ事業者 E 社)
- グランピング施設の稼働率について、損益分岐点は20%程度であり、稼働率の実績は50%強である(グランピング・キャンプ事業者 B 社)
 - ✓ 土日と平日で繁閑差があるが、20～25%の稼働率を見込んでいる。テントより建物に近い宿泊施設の方が稼働率が高い。(グランピング・キャンプ事業者 C 社)
- グランピングについては、参入障壁が低く競合が多いこと、冬場の需要が少ないこと、商圈である大都市から遠いことが課題である。(ホテル事業者 B 社)
 - ✓ 冬場の需要については、ホテルに近いグランピングであれば比較的落ち込みは小さい。(グランピング・キャンプ事業者 A 社)
 - ✓ 地元の誘客も重要である。(その他 B 社)
- グランピングとキャンプサイトやアクティビティを併設することにより顧客層を拡大できるとよい。(ホテル事業者 A 社)
 - ✓ 現在グランピングは人気である。キャンピングカー業界も絶好調であり、展示会は年々会場規模を大きくしている。(アウトドア・イベント事業者 B 社)

- 獣害対策について、グランピング施設にクマ避けのネットや高圧フェンスが整備されている事例もあるが、その対策は自治体が行っている。(グランピング・キャンプ事業者 A 社)
 - ✓ イノシシやシカが出る地域にあるグランピング施設は多いが、施設を作ると動物は来なくなることが一般的である。(グランピング・キャンプ事業者 B 社)
- グランピング等の分散型の宿泊施設の場合は、除雪のコスト負担や、想定外の積雪に関する契約の条件が重要である。(その他 A 社)

b. アクティビティ

ア) 考えられるアクティビティ

- 池田町のピクニックアドベンチャーは県内の利用者も多いため、こういったアウトドア施設があるとよい。(その他 B 社)
 - ✓ 森の中のアスレチックや木工体験のような、場の特長を活かしながら初期投資を小さくできるものを検討している。(その他 D 社)
- ナイトミュージアムやデジタルアートなど、泊まらないと体験できない、冬でも夜でも通年でできることを考えるべき。(建設・造園会社 D 社)
 - ✓ 施設内で VR 体験ができるような施設が整備できるとよい。(建設・造園会社 C 社)
- 冬場の 1 月～2 月は稼働率が低いため、冬に呼べるコンテンツ (温泉や雪遊び) に投資した方が冬に集客できる。(グランピング・キャンプ事業者 B 社)
 - ✓ 冬は外に出なくても楽しい施設にする必要がある。(アウトドア・イベント事業者 C 社)
 - ✓ 温泉は集客力があり、年間を通して振れ幅の少ない収益が得られることが利点である。福井県では芝政ワールドのひとり勝ちであり、プール施設が少ないことが差別化につながる。(アウトドア・イベント事業者 B 社)
- 花は年配の方を引き付けることができるとともに、ライトアップにより夜の集客にも結び付けることができる。(アウトドア・イベント事業者 B 社)

イ) アクティビティ整備に当たって留意すべき事項

- 昼と夜に楽しめるアクティビティをセットで整備する必要がある。(ホテル事業者 B 社)
 - ✓ 夜の集客については、常設というよりはイベントで夜のにぎわいを作るとよいのではないか。(アウトドア・イベント事業者 C 社)
 - ✓ 夜については、キャンプファイヤーなど裸火を使えることが魅力である(その他 C 社)
- アウトドアアクティビティは冬場の需要がない。(アウトドア・イベント事業者 A 社)
- 池田町と似た施設を整備した場合は飽きられてしまうため、地域独自のアクティビティを整備する必要がある。(その他 C 社)

- クマ対策として貴重な自然を伐採することで、アウトドアパークとして活用できる森がなくなってしまうことが懸念される。(アウトドア・イベント事業者 A 社)
- 福井県立恐竜博物館の増設では体験型・テーマパーク型を検討しているため、そこを重複せず、かつ相乗効果が生まれる施設を整備する必要がある。(ホテル事業者 B 社)
- 温泉がないようであれば自前で整備することを検討するが、掘削や温泉の下水への排水が規制されているなどがあれば参入を辞める可能性がある。(グランピング・キャンプ事業者 B 社)
 - ✓ 温泉はあるに越したことはないが、総投資額の優先順位を考えた時に温泉に投資するか、企画に投資するか判断するのは難しい。(ホテル事業者 C 社)
- 近くに魅力的な温泉地及び小京都があるため、サイトスペシフィック(その場でしか体験できない価値)が必要である。アートと恐竜をコラボしたアクティビティも考えられる(アウトドア・イベント事業者 C 社)

c. その他

- 公園内には飲食施設が不足しているが、恐竜博物館のリニューアルでも飲食施設が余り増えないため、飲食施設の増設を検討する必要がある。(建設・造園会社 G 社)
 - ✓ フードコートを設置しテナントを誘致することが考えられる。フードコート内の 1 店舗は地元の業者が交代で入れるようにするべきである。(アウトドア・イベント事業者 D 社)
 - ✓ 農産物の直売所を整備し、公園内のキャンプ場で調理して食べるという流れができるとよい。(その他 C 社)
- 勝山市の繊維産業を活かすなど、地域独自の産業を活かした施設を整備できるとよい。(建設・造園会社 H 社)
- 冬季は来園者が少ないため、夏季に十分に稼ぐスタイルにするべきである。(アウトドア・イベント事業者 D 社)
- リピーターを増やす必要があるため、商圏として北陸圏、東海圏など比較的近い所を視野に入れるとよい。(その他 F 社)

② 想定される事業スキーム

a. 事業実施体制(全体管理の方針)

- 全体をマネジメントする企業が必要である。(グランピング・キャンプ事業者 A 社)
 - ✓ 公園内の各企業が別個に事業を行った場合は失敗している事例が多い。(アウトドア・イベント事業者 B 社)
 - ✓ NPO や DMO がそういった役割を果たすことは困難。スキームを整えたとしても実行性がない。(アウトドア・イベント事業者 D 社)
 - ✓ テーマパーク等を運営している事業者であれば公園全体のマネジメントが可能と考えられるが、グランピング事業者が公園全体を管理することは難しい。(その他 D 社)
 - ✓ 様々な企業を巻き込みながら進める企画会社と事業会社とファンドが連携でき

- るとよい。(ホテル事業者 C 社)
- ✓ トータルコーディネーターを選定する公募とすることも考えられる。(建設・造園会社 F 社)
 - USJ を V 字回復させた森岡氏のようなマーケターが再整備に入るとよい。(アウトドア・イベント事業者 D 社)
 - 地元の企業がコーディネーターに入るとよい。(その他 F 社)
- 全体を事業範囲として公募するのではなく、施設及び区域を区切って公募すべきである。(ホテル事業者 C 社)
- ✓ スキームについては、事業者が選定された後に議論すべきである。(その他 F 社)
 - 各事業者が担当する事業範囲を定めた上で、事業者間で協議会等を設立し、協力体制を築いていくべきである。(グランピング・キャンプ事業者 E 社)
- ✓ 出資規模が大きいのであれば SPC を設立し、SPC が母体になることが考えられるが、出資規模が小さいのであれば SPC ではなく DMO が中心になることが考えられる。(建設・造園会社 C 社)
- ✓ 特定の企業を協力企業として入れることや、協議会を設立することを条件とすることが考えられる。(建設・造園会社 D 社)
- 既存のステークホルダーが多く、パワーバランスの調整が課題であるため、SPC の設立は難しい。(建設・造園会社 F 社)
 - ✓ 一度に統合的なマネジメント体制に組み替えることは不可能である。シナジー効果が発現する中で SPC を設立する構想が生まれるなど、徐々に変化していくのが良い。(グランピング・キャンプ事業者 D 社)
 - ✓ 2 期エリアの整備と同時に行った方が、SPC の設立など新たなスキームへの移行も容易である。公園全体を管理する体制を整えられれば公園全体の方針が明確になるため、今後の 2 期エリアの整備についても理解が得られやすい。(建設・造園会社 E 社)
- NPO や DMO といった地域に根差した団体を活かすことが重要である。ただし、経済的に合理的かは検討する必要がある。(建設・造園会社 H 社)
 - ✓ 将来的に NPO や DMO と組むことを前提条件とした公募を行い、実際に組むのは事業者選定後でよい。(その他 F 社)
 - ✓ 事業者選定後に NPO と組む場合であっても、NPO と費用負担などを合意した上でないと提案できない。(建設・造園会社 I 社)
 - ✓ NPO、ワック、DMO を始めとする現場の意見を反映できるスキームを整えてほしい。(アウトドア・イベント事業者 D 社)
 - ✓ NPO、ワック、DMO で SPC を設立し、そこから協力会社に委託するのが良い。(建設・造園会社 D 社)

b. 事業実施体制 (その他)

- 自社事業としてグランピング施設を整備、運営することの他、地元の会社がグランピング施設を整備、運営し、グランピング事業者が集客に関わることも考えられる。(グランピング・キャンプ事業者 B 社)

- ✓ グランピング等の小規模な施設を整備する場合は、地元の企業のみで体制を組んだ方が良いのではないか。（その他 A 社）
- 新たなコンテンツを提供する場合は、それに関するノウハウを持っている企業と組む必要がある。（建設・造園会社 C 社）
- 地元の土木、建設、造園の各分野の企業が組むことが考えられる。（建設・造園会社 C 社）
- 事業会社を設立するスキームも考えられる。（グランピング・キャンプ事業者 C 社）
 - ✓ 合弁会社を設立し、合弁会社を中心となり宿泊施設を運営することを想定している。（ホテル事業者 C 社）

c. 業務分担

- 公園の維持修繕、害獣対策、渋滞対策、除雪について一括して SPC に任せるのが一体的なマネジメントという観点でよい。（建設・造園会社 D 社）
 - ✓ 公園全体の一体管理を民間事業者の事業範囲に含めた場合は、民間企業としては参入しづらい。（建設・造園会社 B 社）
 - ✓ 公園自体の管理を引き受けたことはなく、公園全体の管理に携わることは考えていない。（グランピング・キャンプ事業者 C 社）
 - ✓ 公園の指定管理を事業者が受け、事業者から公園管理を再委託するスキームが良い。（グランピング・キャンプ事業者 D 社）

d. 活用する制度・資金調達

- 資金が必要である場合は、地域創生のファンドと協力するのが良い。（ホテル事業者 A 社）
- 公園管理者側の目線として、指定管理を受けることで事業の安定性を担保した上で、グランピングの投資運営ができるとよい。（建設・造園会社 I 社）
- 収入源として、駐車場を有料化することは運営者にとってやりがいにつながる。条例では臨機応変に駐車料金を変更できるよう定めるとよい。（建設・造園会社 E 社）
 - ✓ スキージャム勝山への有料道路のように、除雪費として冬季に駐車料金を増額することも考えられる。（その他 B 社）

e. その他

- 事業者としては、受託業務はリスクが少ないというメリットがある。（アウトドア・イベント事業者 C 社）
 - ✓ グランピング施設の整備運営のみの受注であれば可能であるが、他の施設との連携は難しい。（グランピング・キャンプ事業者 B 社）

③ 参画に必要となる事業条件

a. 必須条件

- 勝山市がどのような施設やコンテンツを望んでいるのかを明示してほしい。（建設・造園会社 A 社）

- 勝山市が公園の一貫した計画を策定する必要がある。（アウトドア・イベント事業者 A 社）
 - ✓ 公園の指定管理の要件に協議会を立ち上げやエリアマネジメントを入れることや、指定管理料（駐車場収入を含む）を値上げすることについて検討が進むのであれば、参画を検討する。（建設・造園会社 E 社）
- 一定規模の整備が事業に含まれていない限り、参画は難しい。（建設・造園会社 A 社）
 - ✓ 宿泊施設の規模により、付随する施設に大きな影響が出るため、宿泊施設の方針を勝山市に示してほしい。（ホテル事業者 B 社）
 - ✓ 2期エリアを含めた公園全体の PFI 事業などの別事業に携われるものであれば参入の魅力が出る。（建設・造園会社 E 社）
 - ✓ 夜間利用のための公園全体の改修等ハードの整備を含めた事業とすれば、ソフト面での企画にもコストをかけられる。（建設・造園会社 E 社）
- インフラ整備は勝山市に負担してほしい。（グランピング・キャンプ事業者 C 社）
 - ✓ 必要最低限の負担として勝山市にお願いしたいのは、整地、切土及び盛土、ライフライン（上下水、電気の基幹部、浄化槽、公共部分のトイレ）の整備である。（グランピング・キャンプ事業者 D 社）
 - ✓ インフラ設備について、上下水道や電気、ガスは整備されていないと参入は難しい。インフラ整備を含めた時点で、初期投資が少なくて済むというグランピングの良さが消えてしまう。（ホテル事業者 A 社）
 - ✓ インフラが整っていることが参入の条件である。電気や上下水のインフラ整備は勝山市が行い、造成等の投資は民間の負担でよい。（グランピング・キャンプ事業者 A 社）
 - ✓ 造成については費用面と開発許可申請の煩雑さから、勝山市の負担でないと参入できない。（グランピング・キャンプ事業者 B 社）
 - ✓ 自社負担での駐車場やトイレ等のインフラ整備は行わない。（アウトドア・イベント事業者 A 社）
- インフラ整備費については運営期間の中で公園使用料として返していくことが可能である。（グランピング・キャンプ事業者 C 社）
 - ✓ イニシャルコストに加え、公園使用料等のランニングコストが二重にかかることは避けたい。（ホテル事業者 C 社）
 - ✓ 公園使用料は駐車場等の設備を使用しているために支払うものであり、インフラを含め民間事業者が整備する場合は民間事業者側にメリットがない。（アウトドア・イベント事業者 A 社）
- 除雪は相当なランニングコストがかかるため、ある程度は市の負担が必要である。（建設・造園会社 D 社）
 - ✓ 公園入口から宿泊施設までの道路については勝山市に除雪してほしい。（グランピング・キャンプ事業者 A 社）
- 時間的な制約により NPO 等の既存のステークホルダーと組んで提案することはできない。勝山市が仲介する必要がある。（その他 A 社）

- ✓ 全体一括で公募することは、既存の NPO や DMO などのステークホルダーが存在している以上は難しい。(グランピング・キャンプ事業者 C 社)
- グランピング施設整備に当たっての許認可手続きを支援してほしい。前例のない地域では許認可が難航する場合が多い。(グランピング・キャンプ事業者 A 社)
- 駐車場を移転した際の、シャトルバスを無料で運行する場合のバス代金など、公共性の強いものについては勝山市の協力が必要である。(建設・造園会社 F 社)

b. 望ましい条件

- 段階的に整備し、その後の整備方針を柔軟に変更できる提案をさせてもらえるとよい。(アウトドア・イベント事業者 B 社)
- 事業期間が 10 年以上になるのであれば、人件費の高騰や物価の変動は見通しづらいため、5 年ごとの経費の見直しや、見直しの条件が示されていれば参画しやすい。(建設・造園会社 E 社)
- 施設整備後、施設の所有権を勝山市に移転することが望ましい。(建設・造園会社 A 社)
 - ✓ Park-PFI で施設を市の所有とし、社会資本整備総合交付金をもらうことも考えられるのではないかと。(その他 A 社)
 - ✓ 役所の物件であれば開発許可を取らなくてもよいため、手続きは容易になる。(グランピング・キャンプ事業者 B 社)
- 稼働率のリスクを抱えるため、事業期間と解約条件について勝山市と事前に意見交換をしたい。(ホテル事業者 C 社)
- いわゆる上物の整備やその後の管理運営については補助金や助成金を支援いただきたい。(ホテル事業者 C 社)

④ その他

- ホテル事業者として、新型コロナウイルス感染症の拡大による影響で新規の出店は考えていないが、運営のみを引き受けることなどは考えられる。(ホテル事業者 A 社)
 - ✓ 宿泊事業は新型コロナウイルス感染症の影響で新規の宿泊施設整備はハードルが上がっているため、公募期間の見直しも必要である。(建設・造園会社 E 社)
- 月別の上場者数や周辺の観光施設の上場者数についてのデータをいただきたい。(建設・造園会社 F 社)
- インフラの現状及び、どの程度のインフラの拡充を検討しているかの 2 点を明確にしてほしい。(グランピング・キャンプ事業者 E 社)
- 公募の中に地域(市民)と共生する仕組みをどう考えているかという項目を盛り込むべきである。(建設・造園会社 D 社)
 - ✓ 事業者と地元の住民との対話の機会を作してほしい。(その他 C 社)
- 自治体が民間に全て任せるのではなく、自治体側も一緒に考えるというスタンスの自治体の事業を受けている(アウトドア・イベント事業者 A 社)
- 2 期エリアを整備する場合は園内移動手段を整備するのではなく、車でそのまま 2 期エリアに入れるようにすべきである。(アウトドア・イベント事業者 A 社)

- 公募前に、勝山市を含めた対話の場を設定してほしい。（建設・造園会社 F 社）

3) 調査結果の要点と公募設置等指針の方針

① 想定される具体的な事業内容

- リゾートホテル等のいわゆる箱物の宿泊施設を整備すべきという意見と、グランピング等の個々のテント等に宿泊する宿泊施設を整備すべきという意見がある。前者については参入を検討している事業者が限られているが、後者については積極的な事業者が多く、一部事業者は施設規模等の検討を既に行っている。
 - ✓ 客室数を 100 以上などと条件を設定すると、参入できる事業者が限られるため、グランピング施設でも可能である公募とする。また、冬季の集客が課題であるため、冬季に運営できることを条件とする。
 - ✓ 施設の機能を義務付けるのではなく、公園再整備・運営方針のコンセプトに基づいた機能を入れることを条件とし、コンセプトへの貢献度が高いものを評価する。
- アクティビティ施設について事業者は冬の稼働率に課題認識を持っている。
 - ✓ 年間を通じての運営義務付けは難しいため、通年営業を必須要件とはせず、通年営業を高く評価する評価基準とする。
- 地元の企業と連携できる体制を整えるべきという意見があった。
 - ✓ 勝山市の観光消費額を増加させるという観点から、地元の企業との連携する、地元の食材を活用するなどといった、地域に経済効果をもたらす提案を評価する。
- 集客や施設間の連携という観点から、第一駐車場に新たな施設を整備できればよいという意見があった。
 - ✓ 既存施設（駐車場等）を使う場合は代替施設の提案を必須とした上で、駐車場等を移設する場合は NPO 等と協議することが望ましい。

② 想定される事業スキーム

- グランピング等の事業者は公園管理のノウハウを持っておらず、事業者が公園管理に加わることは難しいという意見があった。
 - ✓ 今回の提案事業者に対しては公園管理者と連携することを求めるものとする。
- NPO 及び DMO と協力体制を築く必要はあるが、事業者と NPO が組んで応募することは公募までの期間を考えると難しいという意見があった。
 - ✓ かつやま恐竜の森に関する現在の指定管理の契約及び設置管理許可については期間終了まで継続するため、事業者のみを公募し、選定後に NPO 及び DMO と公園全体管理等について協議する方針とする。
- 長期にわたる事業を想定している事業者は少ない。
 - ✓ 2 期エリアを含む長期的なビジョンの提案を必須要件とはしないが、長期的な視点での事業運営の提案については評価することについて検討する。
- 一部の事業者は、公園管理の収入源として駐車場を有料化すべきとした。
 - ✓ 新施設整備による公園管理費増加分は新施設の収益から賄うことを想定しているため、公募の段階で条例の改正を前提とした検討は行わない。

③ 参画に必要となる事業条件

- ほとんどの事業者が造成及びインフラ（上下水、電気）について市の負担を求めた。
- ✓ インフラについては特定公園施設として勝山市が整備費を一部負担することは考えられるため、市がどの程度の負担を想定しているかの考え方及び、負担割合に関する協議の進め方を募集要項に記載する。

(4) 事業スキームと収支シミュレーションの検討

1) 事業スキームの検討

① 公園一元管理に向けた移行のプロセス

現況調査及び関係主体へのヒアリング調査等から、当公園のステークホルダーが多く協働ができていないことが課題であることが明らかになった。事業スキームの検討においては、宿泊機能やアクティビティ機能の導入のために新規事業者が参入しつつも、既存のステークホルダーを含めた一元的な公園管理体制を構築することが求められる。

公園管理及び恐竜化石発掘体験については NPO との指定管理協定、ジオターミナルのうち観光交流施設については DMO との指定管理協定に基づいている。ジオターミナルのうち飲食物販施設及びディノパークの運営についてはそれぞれ DMO、(株)ワックへの設置管理許可に基づき行われている。これらの協定及び許可の有効期間は表 20 に示すとおりであり、それぞれで期間が異なることが公園一元管理化に向けた課題である。

表 20 指定管理及び設置管理許可の期間

		管理主体	期間
指定管理	公園維持管理	NPO	2023 年度末まで
	ジオターミナル(観光交流施設)	DMO	2022 年度末まで
設置管理許可	ジオターミナル(飲食物販施設)		2027 年度末まで
	ディノパーク	(株)ワック	2026 年度末まで

将来的に、それぞれの管理主体が別個に施設を管理しながらも管理主体間で協定を結ぶこと、共同企業体を組む若しくは SPC を設立することにより組織的に一元管理することが考えられるため、一元管理への移行のステップを含め 4 つのシナリオを検討した。それぞれの概要、メリット及び課題を表 21 に、スキーム移行の概念図を図 47～図 50 に示す。

契約の見直しは当該事業者の合意形成や議会の承認を得る必要がある等課題が多いため、シナリオ 1～3 が現実的と考えられる。これらのシナリオの差異は JV や SPC といった一体的な組織をどの範囲で組むかという点にあるが、これについては、ホテル事業者であるかグランピング事業者であるかといった新規事業者の業種や、どの程度の出資が可能かという新規事業者の規模によって最適な形が異なる。

公園管理の指定管理期間が 2023 年度までは続くことから、事業者決定から 2023 年度までの間に新規事業者と既存のステークホルダーとの間で協議を行い、協議の中で最適なスキームを模索することにより理想のスキームを構築していくことが現実的なシナリオであると想定される。

以上を踏まえ、公募の段階ではシナリオ 1～3 のいずれにも対応できる公募要項とし、NPO や DMO を含めた公園一元管理について最適なスキームの提案を求めることとした。

表 21 公園一元管理への移行のシナリオ

	概要	メリット	課題
シナリオ 1	組織の再編は行わず、協定により一元管理を行う。	<ul style="list-style-type: none"> 既存の契約の見直しが不要 事業者と既存の公園関係者との調整事項が少なく、参入が容易。 	<ul style="list-style-type: none"> 収益の公園管理費への充当が難しい。 勝山市はそれぞれの事業者と契約を結ぶため、業務の煩雑さは変わらない。
シナリオ 2	NPO の指定管理期間が終了すると同時に、新規事業者と NPO で一元管理する組織を立ち上げる。	<ul style="list-style-type: none"> 既存の契約の見直しが不要 SPC を設立した場合は公募対象公園施設の収益を公園管理費に充当することが可能。 一体的な組織となることで、業務分担の再検討が可能。 	<ul style="list-style-type: none"> 新規事業者が NPO と一体的な組織となることに抵抗がある可能性がある。 新事業に関心のある DMO が一体的な組織に入っていない。
シナリオ 3	NPO の指定管理期間が終了すると同時に新規事業者と NPO で一元管理する組織を立ち上げ、DMO や(株)ワックも順次加わる。	<ul style="list-style-type: none"> 既存の契約の見直しが不要。 SPC を設立した場合は公募対象公園施設の収益を公園管理費に充当することが可能。 新事業に関心のある DMO が一体的な組織に加わる。 一体的な組織となることで、業務分担の再検討が可能。 勝山市は最終的に 1 本の契約を事業者と結ぶため、業務の煩雑さが解消される。 	<ul style="list-style-type: none"> 新規事業者が NPO や DMO 等と一体的な組織となることに抵抗がある可能性がある。
シナリオ 4	NPO の指定管理期間が終了すると同時に既存の設置管理許可契約等を見直し、新規事業者、NPO、DMO 及び(株)ワックで一元管理する組織を立ち上げる。	<ul style="list-style-type: none"> SPC を設立した場合は公募対象公園施設の収益を公園管理費に充当することが可能。 新事業に関心のある DMO が一体的な組織に加わる。 一体的な組織となることで、業務分担の再検討が可能。 勝山市は最終的に 1 本の契約を事業者と結ぶため、業務の煩雑さが解消される。 	<ul style="list-style-type: none"> 既存の契約の見直しに伴う調整が必要。 新規事業者が NPO や DMO 等と一体的な組織となることに抵抗がある可能性がある。

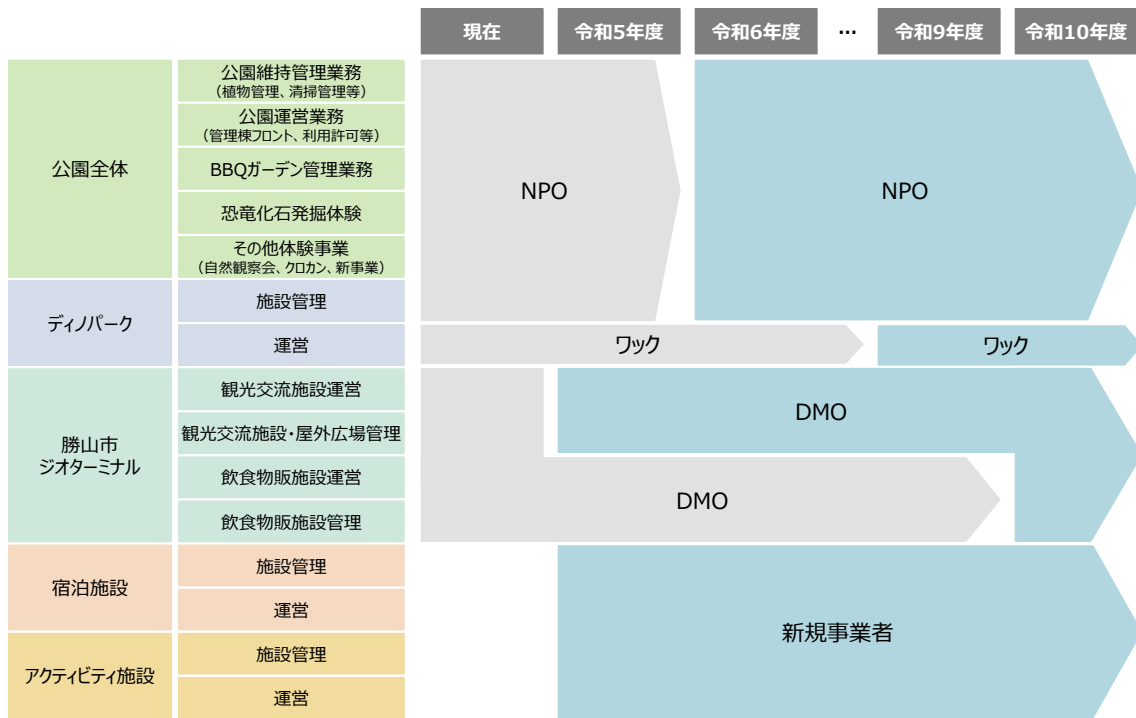


図 47 シナリオ 1

出所) 三菱総合研究所作成

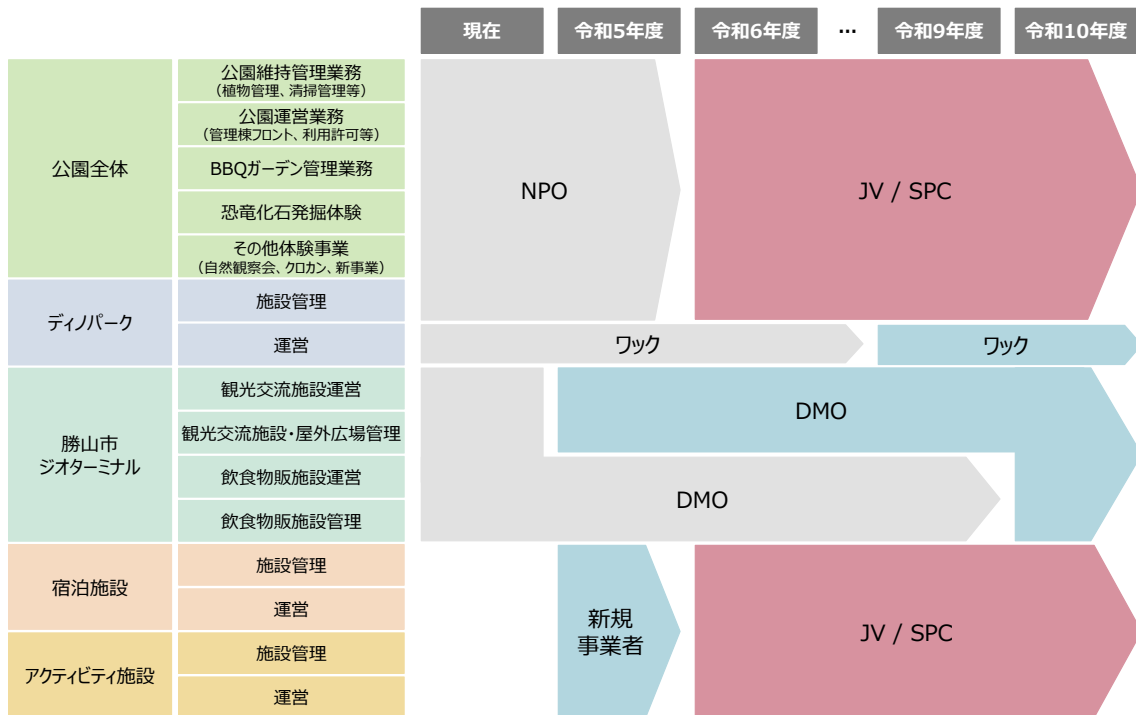


図 48 シナリオ 2

出所) 三菱総合研究所作成

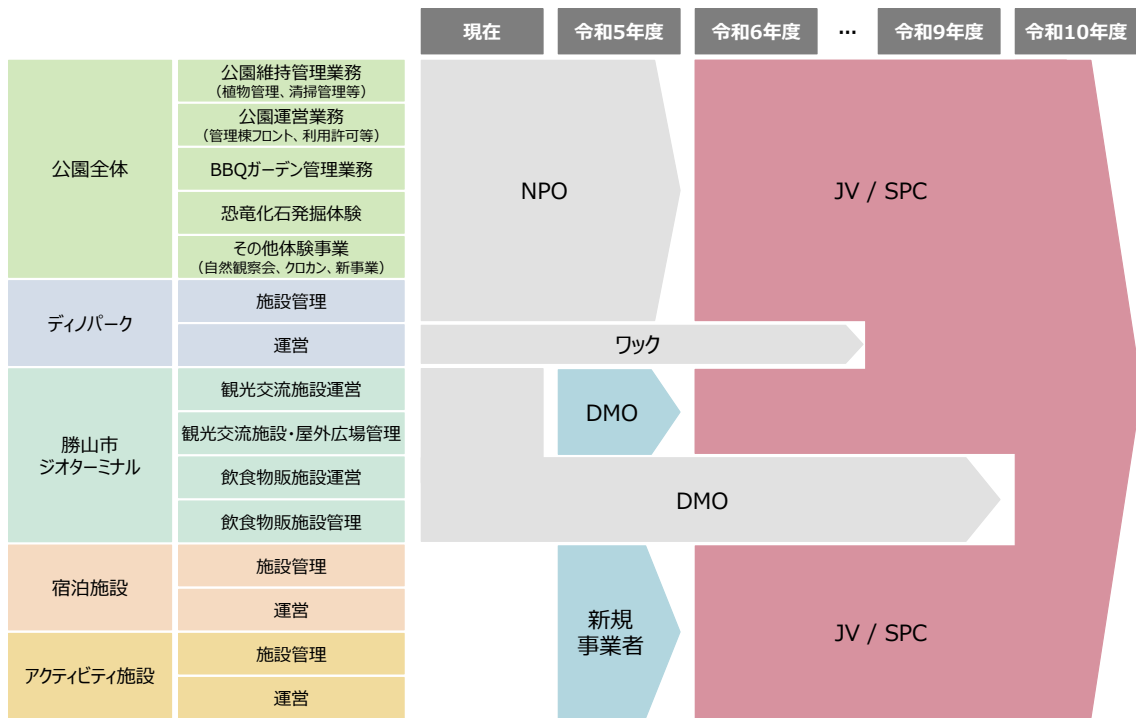


図 49 シナリオ 3

出所) 三菱総合研究所作成

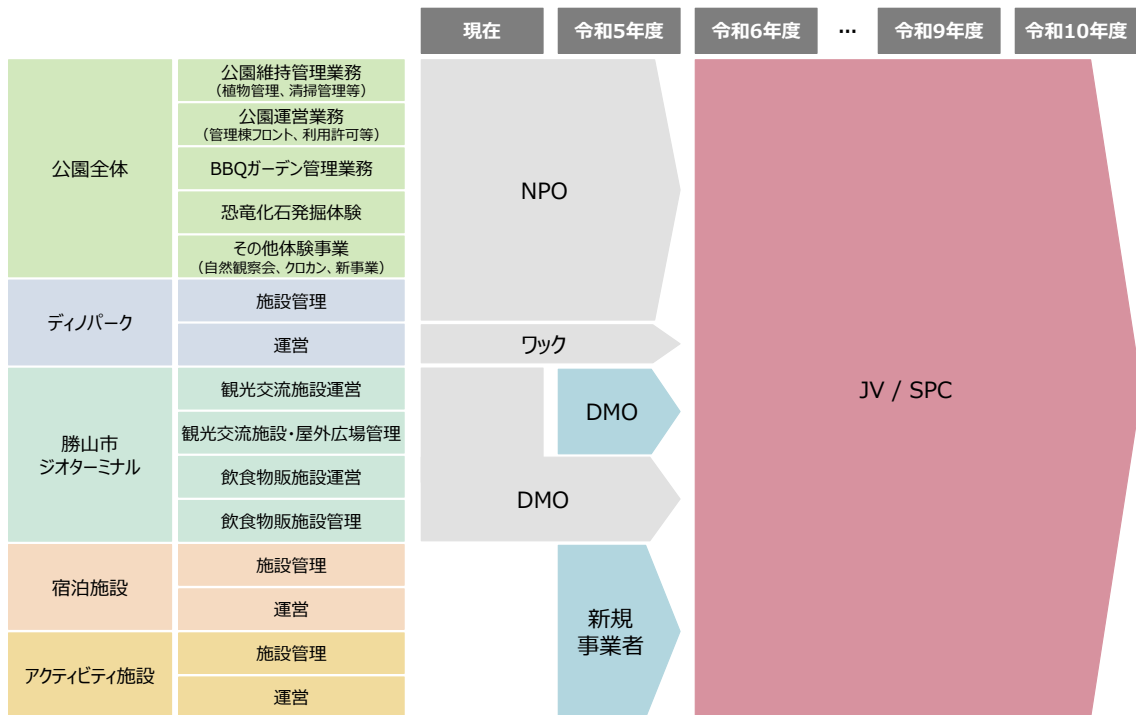


図 50 シナリオ 4

出所) 三菱総合研究所作成

② 将来の一元管理スキーム

前項シナリオ3のように最終的にSPCまたはJVにより公園が一元管理されるような体制構築を想定した上で、将来想定される事業スキームを検討した。なお、検討に際しては以下の前提を置いている。

- 2024年度以降の公園指定管理者に対して、勝山市都市公園条例に基づき、公園施設の設置・管理の使用料、占用の使用料について、自らの収入として収受できる権限を与える。

想定される事業スキームのパターンとしては、以下のパターンを想定した。

表 22 想定される事業スキームのパターン

a. NPO、DMO、ワック、認定計画提出者の全事業者でSPCまたはJVを組む場合
ア SPCを設立する場合
イ 共同事業体(JV)を組み、収入を一元化する場合
ウ 共同事業体(JV)を組み、収入は各事業者の収入とする場合
b. 認定計画提出者以外(NPO、DMO、ワック)でSPCまたはJVを組む場合
ア SPCを設立する場合
イ 共同事業体(JV)を組み、収入を一元化する場合
ウ 共同事業体(JV)を組み、収入は各事業者の収入とする場合

a. NPO、DMO、ワック及び認定計画提出者の4者がSPC若しくはJVを設立する場合

ア) SPCを設立する場合

- スキームを図51に、各事業者の役割を表23に示す。
- SPCは、公園・ジオターミナルの指定管理者、ディノパーク・宿泊アウトドア機能の設置管理許可権者として、事業全体をマネジメントする。
- SPCは、指定管理料、利用料金及び入場料等の収入を原資に各事業者に業務委託する。
- 委託費等は業績に連動した額とすることが考えられる。

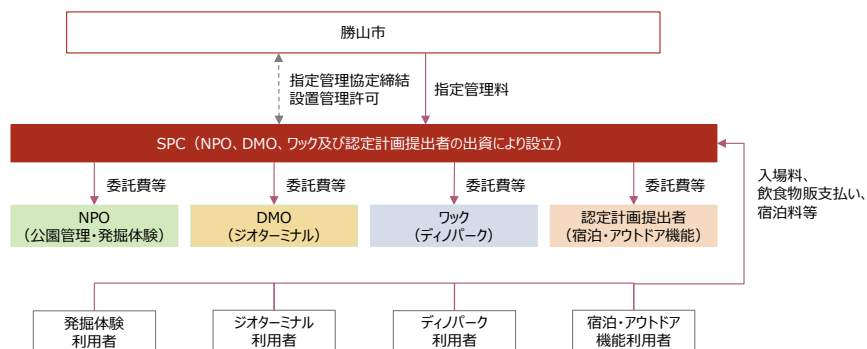


図 51 4者がSPCを設立するスキーム

出所) 三菱総合研究所作成

表 23 4 者が SPC を設立するスキームでの各事業者の役割

NPO	SPC からの委託費を原資に、公園管理を行う。
DMO	SPC からの委託費を原資に、ジオターミナルの運営を行う。
ワック	SPC からの委託費を原資に、ディノパークの運営を行う。
認定計画提出者	SPC からの委託費を原資に、宿泊・アウトドア機能の運営を行う。

イ) 共同事業体 (JV) を組み、収入を一元化する場合

- スキームを図 52 に、各事業者の役割を表 24 に示す。
- JV 各社は、公園・ジオターミナルの指定管理者、ディノパーク・宿泊アウトドア機能の設置管理許可権者として、JV 間協定に基づき自らが担当する事業のマネジメントを行う。
- 指定管理協定や設置管理許可に基づく事業全体の履行義務は、JV 各社が連帯責任を負う。
- 指定管理料、利用料金及び入場料等の収入は、JV 間協定で定めた配分ルールに従い、各事業者に配分する。

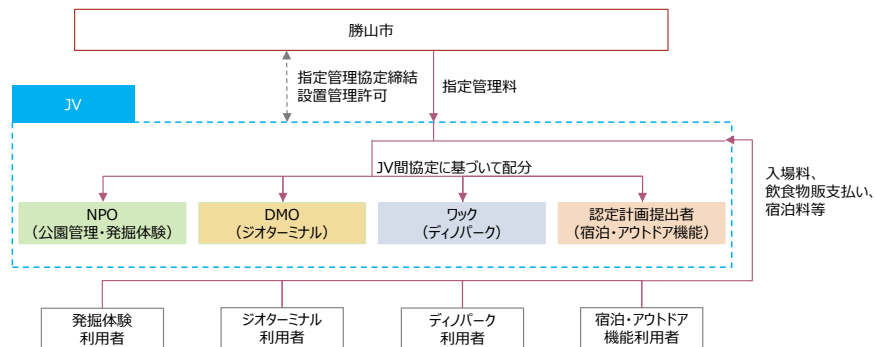


図 52 4 者が JV を設立し、収入を一元化するスキーム

出所) 三菱総合研究所作成

表 24 4 者が JV を設立し、収入を一元化するスキームでの各事業者の役割

NPO	JV 全体での収入のうち、JV 間協定で定められた配分を原資に、公園管理を行う。
DMO	JV 全体での収入のうち、JV 間協定で定められた配分を原資に、ジオターミナルの運営を行う。
ワック	JV 全体での収入のうち、JV 間協定で定められた配分を原資に、ディノパークの運営を行う。
認定計画提出者	JV 全体での収入のうち、JV 間協定で定められた配分を原資に、宿泊・アウトドア機能の運営を行う。

ウ) 共同事業体 (JV) を組み、収入は各事業者の収入とする場合

- スキームを図 53 に、各事業者の役割を表 25 に示す。
- JV 各社は、公園・ジオターミナルの指定管理者、ディノパーク・宿泊アウトドア機能の設置管理許可権者として、JV 間協定に基づき自らが担当する事業のマネジメントを行う。
- 指定管理協定や設置管理許可に基づく事業全体の履行義務は、JV 各社が連帯責任を負う。
- 指定管理料及び入場料等の収入は、JV 間協定で定めた配分ルールに従い、各事業者に配分する。

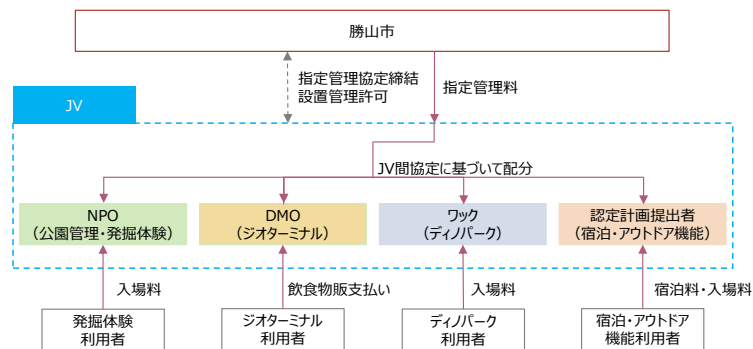


図 53 4 者が JV を設立し、収入は各事業者の収入とするスキーム

出所) 三菱総合研究所作成

表 25 4 者が JV を設立し、収入は各事業者の収入とするスキームでの各事業者の役割

NPO	公園の指定管理料、発掘体験での収入等を原資に、公園管理を行う。
DMO	ジオターミナルでの指定管理料、飲食物販収入等を原資に、ジオターミナルの運営を行う。
ワック	ディノパークの入場料等の収入を原資に、ディノパークの運営を行う。
認定計画提出者	宿泊料・入場料等の収入を原資に、宿泊・アウトドア機能の運営を行う。

b. NPO、DMO 及びワックの 3 者が SPC 若しくは JV を設立する場合

ア) SPC を設立する場合

- スキームを図 54 に、各事業者の役割を表 26 に示す。
- SPC は、公園・ジオターミナルの指定管理者、ディノパークの設置管理許可権者として、宿泊・アウトドア機能以外の事業全体をマネジメントする。
- SPC は、指定管理料、利用料金及び入場料等の収入を原資に各事業者に業務委託する。
- 委託費等は業績に連動した額とすることが考えられる。
- 認定計画提出者は、宿泊・アウトドア機能の許可権者として、同事業をマネジメントする。

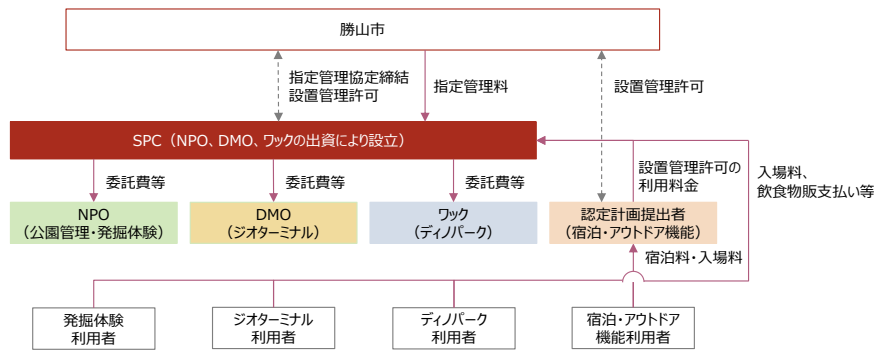


図 54 3者がSPCを設立するスキーム

出所) 三菱総合研究所作成

表 26 3者がSPCを設立するスキームでの各事業者の役割

NPO	SPCからの委託費を原資に、公園管理を行う。
DMO	SPCからの委託費を原資に、ジオターミナルの運営を行う。
ワック	SPCからの委託費を原資に、ディノパークの運営を行う。
認定計画提出者	宿泊料・入場料等の収入を原資に、宿泊・アウトドア機能の運営を行い、SPCに利用料金を支払う。

イ) 共同事業体 (JV) を組み、収入を一元化する場合

- スキームを図 55 に、各事業者の役割を表 27 に示す。
- JV 各社は、公園・ジオターミナルの指定管理者、ディノパークの設置管理許可権者として、JV 間協定に基づき自らが担当する事業のマネジメントを行う。
- 指定管理協定や設置管理許可に基づく事業全体の履行義務は、JV 各社が連帯責任を負う。
- 指定管理料、利用料金及び入場料等の収入は、JV 間協定で定めた配分ルールに従い、各事業者に配分する。
- 認定計画提出者は、宿泊・アウトドア機能の許可権者として、同事業をマネジメントする。

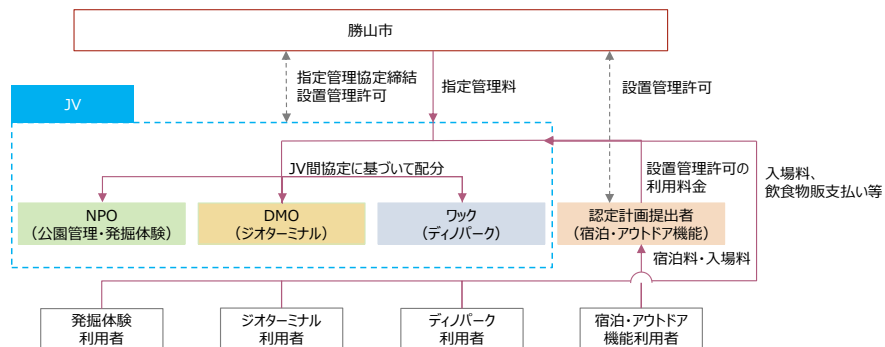


図 55 3者がJVを設立し、収入を一元化するスキーム

出所) 三菱総合研究所作成

表 27 3者がJVを設立し、収入を一元化するスキームでの各事業者の役割

NPO	JV全体での収入のうち、JV間協定で定められた配分を原資に、公園管理を行う。
DMO	JV全体での収入のうち、JV間協定で定められた配分を原資に、ディノパークの運営を行う。
ワック	JV全体での収入のうち、JV間協定で定められた配分を原資に、ジオターミナルの運営を行う。
認定計画提出者	宿泊料・入場料等の収入を原資に、宿泊・アウトドア機能の運営を行い、JVに利用料金を支払う。

ウ) 共同事業体 (JV) を組み、収入は各事業者の収入とする場合

- スキームを図 56 に、各事業者の役割を表 28 に示す。
- JV 各社は、公園・ジオターミナルの指定管理者、ディノパークの設置管理許可権者として、JV 間協定に基づき自らが担当する事業のマネジメントを行う。
- 指定管理協定や設置管理許可に基づく事業全体の履行義務は、JV 各社が連帯責任を負う。
- 指定管理料及び入場料等の収入は、JV 間協定で定めた配分ルールに従い、各事業者に配分する。
- 認定計画提出者は、宿泊・アウトドア機能の許可権者として、同事業をマネジメントする。

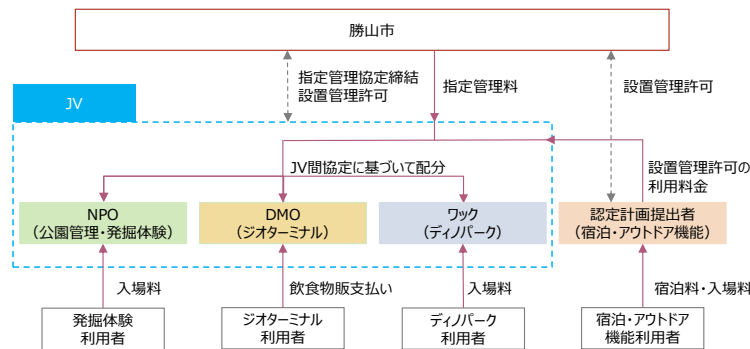


図 56 3者がJVを設立し、収入は各事業者の収入とするスキーム

出所) 三菱総合研究所作成

表 28 3者がJVを設立し、収入は各事業者の収入とするスキームでの各事業者の役割

NPO	公園の指定管理料、発掘体験での収入等を原資に、公園管理を行う。
DMO	ジオターミナルでの指定管理料、飲食物販収入等を原資に、ジオターミナルの運営を行う。
ワック	ディノパークの入場料等の収入を原資に、ディノパークの運営を行う。
認定計画提出者	宿泊料・入場料等の収入を原資に、宿泊・アウトドア機能の運営を行い、JVに利用料金を支払う。

c. 各スキームの特徴及び課題の整理

各スキームの特徴及び課題を表 29 に整理した。

SPC を設立する場合は包括的なマネジメントができることや責任を明確化できることが特徴であるのに対し、マネジメントスキルや企業間での調整が必要となり、民間事業者にとってのハードルは高い。

JV を組む場合は、体制構築面でのハードルは下がるのに対し、構成員の一部に信用不安がある場合 JV を組みにくくなる可能性がある。収入を一元化しない場合、各事業者のインセンティブが高まるのに対し、事業全体での最適な資金運用はしにくくなる。

SPC または JV を、認定計画提出者を除く事業者で組む場合は、下表の青色部分に加えて、緑色部分の特徴・課題も加わり、体制構築面でのハードルは下がる一方、事業全体での最適な資金運用がしにくくなることが課題である。

表 29 各スキームの特徴及び課題

	特徴	課題
ア SPCを設立する場合(ペーパーカンパニーではなく実態のあるSPCを想定)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業全体を包括的にマネジメントできる。 ・ 事業全体の経営責任は SPC が負い、責任が明確化する。 ・ 利用料金、飲食物販収入、宿泊料等の収入を SPC が一元管理し、事業全体を俯瞰して最適な資金運用ができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ SPC 自体に事業全体のマネジメントスキルが求められる。 ・ 異業種・多企業間で、経営方針・利益分配方針の調整が必要となり、SPC 設立のハードルは高い。 ・ 宿泊事業のアップサイド収益は SPC に帰属するため、ホテル事業者に対するインセンティブは低下する。
イ JV を組み、収入を一元化する場合	<ul style="list-style-type: none"> ・ JV 各社が連携して事業全体をマネジメントする。 ・ 基本的に、各事業の経営責任は各事業者が負い、得意分野のマネジメントに専念でき、体制構築面でのハードルは下がる。 ・ 利用料金、飲食物販収入、宿泊料等の収入は、JV 間協定に基づき各事業者に配分する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 収益は JV 間協定に基づき各社に配分するため、事業全体での最適な資金運用を行うには、JV での口座管理や JV 間協定での出納ルールの取り決めなどの工夫が必要となる。 ・ 事業全体の履行義務は JV 各社が連帯責任を負うため、構成員の一部に信用不安がある場合、JV を組みにくくなる可能性がある。
ウ JV を組み、各事業者の収入とする場合	<ul style="list-style-type: none"> ・ JV 各社が連携して事業全体をマネジメントする。 ・ 基本的に、各事業の経営責任は各事業者が負い、得意分野のマネジメントに専念でき、体制構築面でのハードルは下がる。 ・ 各事業から得られる収入は、各社自らの収入として収受するため、各事業者の収益向上のインセンティブは高まる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ JV 各社の収益は基本的に各社が管理するため、事業全体での最適な資金運用はしにくくなる。 ・ 事業全体の履行義務は JV 各社が連帯責任を負うため、構成員の一部に信用不安がある場合、JV を組みにくくなる可能性がある。
※SPC または JV を認定計画提出者を除く事業者で組む場合	<ul style="list-style-type: none"> ・ 認定計画提出者は、SPC または JV と連携して宿泊・アウトドア事業に当たる。 ・ 宿泊・アウトドア事業の経営は独立して行われることから、公園・ジオターミナル等の経営と、相互に影響を受けにくいいため、体制構築面でのハードルは下がる。 ・ 認定計画提出者は、SPC または JV が行う事業の履行責任を負わないため、事業参画しやすい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 宿泊・アウトドア事業から得られる収益は、基本的に認定計画提出者が管理するため、事業全体での最適な資金運用はしにくくなる。 ・ 公園・ジオターミナル・ディノパーク等の各事業と、宿泊・アウトドア事業が、うまく連携していくためには、運営協議会などの組成と適切な運用などの工夫が必要となる。

2) 収支シミュレーションの検討

公園再整備・運営方針として整理した「宿泊できる公園」としての再整備方針や、民間事業者サウンディング調査で得られた意見等を踏まえ、本事業の提案事業者から、公募設置管理制度（Park-PFI）における「公募対象公園施設」として宿泊機能の提案がされるものと仮定した上で、事業採算を確保するためにはどの程度の客室稼働率（及び宿泊者数）が必要になるのか収支シミュレーションを実施した。

① 施設規模等の仮定

本事業では、長期的な視点での事業運営を期待したいという考え方を踏まえ、宿泊機能として整備する施設として、グランピングのような小規模な施設ではなく、年間を通じて家族連れが宿泊することができるリゾートホテルタイプの宿泊施設を想定した。

a. 想定される施設規模

リゾートホテルタイプの宿泊施設で、2名～4名程度の家族連れが宿泊できる施設として一般的と考えられる、1室あたり50㎡、客室数100室、レントラブル比（延床面積に対する客室面積の割合）60%と仮定し、延床面積8,333㎡と想定した。

b. 想定される概算事業費

「Japan Building Cost Information（一般財団法人建設物価調査会）」のデータベースより、直近の5年間（2015年～2019年）に着工したリゾートホテルの工事費平均値を参考として建設単価450千円/㎡とし、建設工事費は37.5億円と想定した。

また、ホテルの階層を地上3階建、建ぺい率40%と仮定し、敷地面積6,944㎡と設定した上で、長尾山総合公園第4駐車場の造成工事費を参考とし、造成工事費は約2千万円と想定した。

以上を踏まえ、初期投資として必要な概算事業費を約37.7億円と想定した。

② 売上高及び経費の算定方法

a. 売上高の算定方法

宿泊機能については、年間営業日数を365日、1室あたりの平均宿泊者数を3人、1人1泊あたりの宿泊料を2万円と仮定して売上高を算定した。

また、宿泊機能に付随する機能として、飲食機能も提供されるものと想定した。

飲食機能については、宿泊者数の30%の方が利用するとともに、かつやま恐竜の森への来園者数90万人のうち10%の方が利用するものと仮定し、1人あたり客単価を2千円として売上高を算定した。

b. 経費の算定方法

宿泊部門及び飲食部門の営業費用や、その他の費用（一般管理費、広告宣伝費、維持管理費、水光熱費等）については、「ホテルの適性質料算出と収益分析実務資料集（総合ユニコム）」P49（アジア主要諸都市におけるホテルの収益構造）を参考に算定した。

また、その他の経費として、概算事業費の減価償却費、初期投資の資金調達にかかる支払

利息を想定した。

なお、宿泊機能については、都市公園法における便益施設に該当することから、勝山市都市公園条例に従い、収入額（年間総売上高）の5%を設置管理許可使用料として見込むこととした。

③ 収支シミュレーションの実施

宿泊施設を整備運営する場合に想定される売上高と経費を想定した上で、客室稼働率などの程度の場合に適正な利益率が得られるのか、収支シミュレーションを実施した。

一般的に宿泊施設の利益率としては、最低 10%程度は必要とされており、事業計画段階では 20%程度の利益率を見込むことができる水準が望ましいとされている。

収支シミュレーションの結果、利益率 10%を見込むためには、少なくとも 45%程度の客室稼働率（年間宿泊者数 4.9 万人程度）、利益率 20%を見込むためには 70%程度の客室稼働率（年間宿泊者数 7.7 万人程度）が必要と試算される。

以上を踏まえると、仮に本シミュレーションで想定した宿泊施設を、公募設置管理制度（Park-PFI）の「公募対象公園施設」として整備運営する場合、かつやま恐竜の森への来園者数年間 90 万人程度の 9%程度の宿泊が見込まれれば、事業化可能性（民設民営での事業化可能性）が期待できるものと想定される。

一方、完全な民設民営での事業採算性確保は期待できないと民間事業者が判断した場合、本シミュレーションで想定したような宿泊施設の提案を引き出すためには、例えば、初期投資として整備する公園施設の一部を公募設置管理制度（Park-PFI）の「特定公園施設」と位置付ける等により、市が費用の一部を負担することが求められるものと想定される。

なお、本シミュレーションでの試算によると、仮に客室稼働率 70%が期待できる場合、設置管理許可使用料は約 88 百万円と試算される。飽くまで本シミュレーションでの想定であるが、現状、市が負担している年間約 69 百万円の負担を軽減できる可能性は認められる。

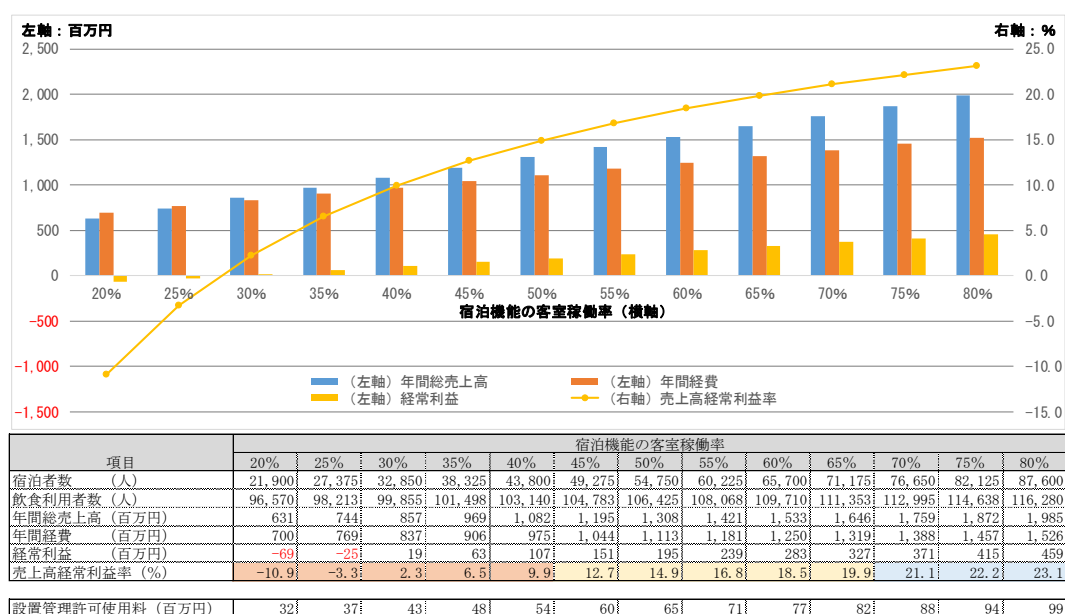


図 57 宿泊機能の収支シミュレーション結果

出所) 三菱総合研究所作成

3) 経済波及効果

宿泊機能が整備され、勝山市での宿泊観光客が増加した際は、観光消費額が増大することが見込まれる。観光庁の旅行・観光消費動向調査での観光消費額は下表のとおりであり、日帰りに対し宿泊旅行は4倍程度の消費額であることが分かる。

表 30 観光消費額単価（観光・レクリエーション目的）

	宿泊旅行	日帰り
参加費	8,129	1,174
交通費	12,676	4,690
宿泊費	14,090	—
飲食費	7,197	2,075
買い物代	7,593	3,918
娯楽等サービス費・その他	4,458	2,488
合計 [円/人]	54,144	14,344

出所) 旅行・観光消費動向調査(2019)より三菱総合研究所作成

2018年の勝山市の観光入込客数（2,107,863人）及び旅行消費額（6,821,536千円）から、アンケート調査より現在勝山市内で宿泊している来園者は1割程度、表30より宿泊者の観光消費額は日帰り客の4倍と想定した場合、観光消費額の単価は表31のとおりであり、統計に比べて金額が小さいことが分かる。この要因として地域を限定していることもあるが、日帰り客については福井県立恐竜博物館入館料と飲食費程度の金額である。

表 31 勝山市における観光消費額単価の現状（推定）

	宿泊旅行	日帰り
観光消費額単価 [円/人]	9,958	2,489

出所) 勝山市資料、国土交通省資料より三菱総合研究所作成

本事業では宿泊機能、飲食機能、アクティビティ機能を必須としているため、表30の項目のうち参加費、宿泊費、飲食費の合計が勝山市での観光消費額単価になると仮定し、観光消費額を推計する。勝山市の年間観光入込客数数を260万人とし⁴、宿泊者割合は現状と同じ10%とした時、試算結果は下表のとおりである。観光入込客数は現在に比べ約1.5倍ながら、観光消費額は2018年時点に対して2倍以上の金額となることが分かる。

表 32 宿泊需要が増加した場合の想定観光消費額（試算）

	宿泊旅行	日帰り	合計
観光消費額単価(統計調査より) [円/人]	29,416	3,249	—
観光客入込客数 [人/人]	260,000	2,340,000	2,600,000
想定観光消費額 [千円/年]	7,648,160	7,602,660	15,250,820

⁴ 福井県立恐竜博物館が現在に比べ50万人増の140万人の来館者を目標としているため、2018年の入込客数に50万人を加えた。

(5) PPP 導入可能性評価

1) 公園再整備・運営方針の整理

① 体を動かす、自然に親しむ

- かつやま恐竜の森の自然を活かし、自然に触れながら、創造的な活動ができる場をつくる。
- 冬に来園者が少ないという課題を解決するため、冬にも自然の中で楽しめる場をつくる。

② 宿泊できる公園

- 恐竜に関する発見・体験にとどまらず、勝山の文化や自然に関する様々な発見・体験を伴う滞在ができる場をつくる。
- 公園での滞在時間が短く、観光消費額が少ないという課題を解決するため、滞在拠点となる場をつくる。

③ 少人数でゆったり過ごす

- 既存の来園者にファミリー層が多いことを踏まえ、身近な人と共に、悠久の時の中で時の流れを忘れさせる場をつくる。
- 新しい生活様式において「密」が避けられる傾向にあることを踏まえ、身近な人と「密」を避けて過ごすことができる場をつくる。

2) 公募設置等指針の作成

① 公園管理スキームについて

- 応募する事業者によって最適なスキームは大きく異なるため、事業の内容の節に、公園指定管理者との協議により公園全体の連携が図れるように施設を事業を行うことと記載した。
- 公募対象公園施設の管理運営においても、公園指定管理者と連携し、公園の魅力向上に努めることを求めた。
- 事業の実施体制だけでなく、将来的な一元管理に向けた体制構築の考え方を評価項目に加えた。
- 将来の2期エリアへの展開を見据え、より一層本公園の魅力を向上させるために望ましいと考える施設や機能等の提案を参考提案として提案できることとした。

② 公募対象公園施設について

- 「体を動かす、自然に親しむ」のコンセプトを実現するため、自然を活かしたアウトドアの体験を提供する機能を必須条件とした。
- 「宿泊できる公園」のコンセプトを実現するため、必須条件として宿泊機能を記載した。キャンプ場等の宿泊機能の提案を可能とするため、宿泊施設を必須条件とはしていない。
- 園内の飲食施設が不足している観点から、飲食機能を持たせることを必須条件とした。

- 冬の来園者が少ないという課題から、宿泊機能及び飲食機能の営業は、通年営業とすることを必須条件とした。
- 第一駐車場を除く既存施設に公募対象公園施設を整備することも可能とし、その場合は代替機能を確保することを求めた。
- 公募対象公園施設の立地については事業者の柔軟な発想を得るために事業区域内で任意の場所を提案できるものとするが、園内のアクセス手段を確保する提案を評価するとした。

③ 特定公園施設について

- 公募対象公園施設の周辺に設置することが、公園利用者の利便の向上に寄与すると認められる公園施設の整備を求めるとした。
- 特定公園施設の例として、広場、園路、駐車場、ネットワーク関連施設、鳥獣害対策としての防護柵を記載したが、具体的には提案によるものとした。

④ 地域への経済波及について

- 地産地消に貢献する提案については評価の対象とすることとし、物販機能を整備することも可能であるとした。

⑤ 自然との共生について

- 公園内に保全エリアを指定しているオオタカや、サクラバハノキなどの稀少動植物を確認していることから、公募対象公園施設の建設に先立ち、環境影響評価を実施することとした。
- 公園内は林が広がり迷子になる危険性や、クマが出没するなどの獣害が課題であるため、安全対策及び獣害対策の提案を求めた。一般の公園利用者にも資する対策については、特定公園施設として提案できるものとした。

3) PPP 導入可能性の評価

本調査では、かつやま恐竜の森（長尾山総合公園）において、都市公園法における公募設置管理制度（Park-PFI）を活用した上で、民設民営による宿泊機能及び飲食機能等の実現可能性について検討した。

事業者サウンディング調査においては、本事業への参画について関心を有する事業者は複数存在しており、敷地造成工事やインフラ敷設等の事業費を一定程度市が負担する条件であれば、公募対象公園施設の整備運営は民設民営での実現可能性はあるとの感触が得られた。

また、宿泊機能や飲食機能の事業者提案があるものと仮定した収支シミュレーションの結果を踏まえると、70%程度の客室稼働率が確保できるのであれば、事業化可能性は期待できるものと想定される。

以上を踏まえると、本事業において公募設置管理制度（Park-PFI）の活用可能性は認められるものと評価できるが、実現に当たっては、民間事業者だけでは負担しきれない事業費等について、市側においても一定程度負担する等、庁内や議会での合意形成も含めて事業条件を整えていくことが求められる。

4. 今後の進め方

(1) 事業化に向けてのスケジュール

事業化に向けてのスケジュールを下表に示す。2021 年度に事業者の公募、事業者の決定及び調査・詳細設計を開始し、2022 年度に建設を開始する。2023 年度の福井県立恐竜博物館リニューアルオープンに併せて部分的に供用を開始し、2024 年度に全面供用開始とする。

表 33 事業化に向けてのスケジュール

年度	予定
2021 年度	・公募設置等指針の公表 ・事業者公募 ・事業者決定 ・調査・詳細設計開始
2022 年度	・公募対象公園施設及び特定公園施設の建設開始
2023 年度	・部分開業
2024 年度	・全面開業

(2) 今後の検討課題等

今後の検討課題として、以下の点が挙げられる。

- 新事業者の公募に先立ち、既存管理者間で公園全体の管理運営体制構築に関する認識をそろえる必要がある。
- 将来的な一元管理に向け、事業者の提案を基にスキームを構築するに当たっては、勝山市がステークホルダー間の協議に参加し、公園一元管理の方向性を整える必要がある。
- 宿泊機能を備えるに当たっては公園の夜間の管理等、公園維持管理においても業務内容に変更が生じ、追加のコストがかかることが想定される。増加した公園管理費用の分担について、勝山市が一部負担することも含めて検討する必要がある。
- 特定公園施設の整備費の一部は勝山市の負担となることが想定されるため、事業者提案を受けた後に、庁内での予算措置など要求できるよう手続きの検討を進める必要がある。